

学修システム

平成26(2014)年度以降入学生

授業の開講について

- (1) 学期
本学では、1つの学年を前期と後期に分け、学期ごとに単位を修得し、8学期(4年間)を積み重ねて卒業要件を満たす、セメスター制をとっています。
- (2) 授業の開講形式
各授業科目は、次の3つのうち、いずれかの開講形式をとっています。
 - ・半期開講：前期または後期の半年間で授業が完結される。
 - ・集中(不定期)開講：前期又は後期に集中的(不定期)に授業が計画される。

授業科目・単位制について

- (1) 授業科目
本学の授業科目は学則上、必修科目・選択科目・自由科目に分類されています。
授業科目は、【必修科目】【指定科目(必修に準ずる科目)】【選択科目】から構成し、学習目標の確実な積み上げを保証するために、学年により科目を指定しています。
【自由科目】【資格課程必修科目】：教育課程以外として取り扱われる資格課程科目
単位修得があっても卒業要件単位に充当されません。
- (2) 単位制度について
大学における学修は、単位制で行われています。
 - ①単位制
単位制とは、修業年限(最低4年間)中に、卒業に必要な単位数を修得する制度です。
 - ②単位 授業時間
すべての授業科目に、単位数を設定しています。単位とは、科目を修得するために必要な学修量(時間)を数値で表したものです。本学では、1単位の授業科目を45時間の学修(授業時間+自習時間)を必要とする内容をもって構成することとし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間に必要な学修等を考慮して次の基準により計算します。
本学では、本学では、1時限を2時間として計算しています。

授業種別	学 修 量
講義演習 2単位科目	原則として30時間の授業時間と60時間の自習時間を合わせた学修をもって2単位とする
講義演習 3単位科目	原則として45時間の授業時間と90時間の自習時間を合わせた学修をもって3単位とする
実技実習 1単位科目	原則として30時間の授業時間と15時間の自習時間を合わせた学修をもって1単位とする
実技実習 2単位科目	原則として60時間の授業時間と30時間の自習時間を合わせた学修をもって2単位とする

- ③単位の認定
登録した科目を履修し終えた者に対して科目担当者が成績を評価し単位を認定します。
 - 1) 単位は、授業科目を履修し、その試験に合格した者に与えられます。
 - 2) 成績評価及び単位認定は、科目担当者が授業中の学修状況や試験で判断されます。
 - 3) 履修した科目の成績は原則として、次学期の登録期間に発表します。
 - 4) 修得した単位を取り消すことはできません。また、再履修もできません。

履修登録

大学における学修の特徴は、多くの授業科目の中から学生一人ひとりが履修科目を選択できることです。大学での学び方を、自らはっきりと定め、履修要項やシラバスを熟読し、時間割表を活用して履修（学修）計画を立てましょう。

(1) 履修登録について

履修登録は、自らの履修（学修）計画に基づき、授業科目について履修（授業を受ける）の意志表示をすることです。履修登録をしていない場合、その科目の履修が許可されません。履修登録ができていないことに気づかずに受講していた場合、受講は無効となり単位も修得できません。

(2) 履修登録の流れ

履修登録する科目は、自ら決定し、登録します。履修登録に関するガイダンスを、前期と後期の学期始めに年2回実施します。履修登録は定められた期間内で行います。

学修案内(シラバス)・時間割り配布
履修計画の立案(専門科目時間割確認)(選択科目履修計画)(履修相談等)

指定科目の確認(履修科目表・専門科目登録票)
選択科目等の登録・・・履修登録票(OCRシート)

学生支援部門(教務)へ提出

【履 修 登 録】

【履修登録結果発表(個人別履修科目表配布)】

訂正なし
【履修登録確定】

修正が必要な場合のみ
【追加登録】

(3) 履修登録の注意点

- ①必ず本人が責任を持っておこなってください。代理手続きは認めません。所定の期日までに履修手続きをおこなわなかった場合は、その学期の履修を放棄したものとみなします。
- ②履修登録は、原則として学期初めにおこないますが、一部、後期履修科目(集中講義など)の登録を年度初めや学期途中におこなう場合もありますので、注意してください。
- ③履修登録した科目以外の履修・単位認定は認められません。
- ④1つの時限に履修登録できる科目は1科目です。同一時限に重複して履修登録した場合は、重複している全ての科目が登録無効となります。(ただし、隔週開講科目を除く)
- ⑤各領域の受講指定科目は、原則として所定年次に配当された科目を履修するものとし、上級年次に配当された科目を履修することはできません。また、科目の特性により前提となる科目の単位修得を履修条件として定められている科目がありますので、シラバス等で確認してください。
- ⑥共通教育センター科目は、履修年次を記して、その年次に履修することを推奨しています。
- ⑦すでに単位を修得した科目は、再度履修登録はできません。
- ⑧履修登録が確定後の科目の変更、追加、取り消しは原則として認められません
- ⑨1科目の履修希望者が受講可能人数をこえた場合、受講者数を制限します。
- ⑩半期で履修登録する総単位数は前期後期とも各20単位が適性と判断していますが、全学年24単位を上限として登録を認めています。科目の開講形態により、上限単位を超えて登録できる科目もあります。
また、履修指導上必要と認める場合に上限単位数を超えて登録を許可することがあります。
なお、「単位互換事業による他大学開講の科目」「博物館に関する科目」および「教職に関する科目」、「二級建築士受験資格講座科目」はこの単位数に含みません。
- ⑪学芸員課程、教職課程、二級建築士受験資格講座科目を履修登録する場合は、事前に履修の届けと納金の手続きを済ませなければなりません。詳しくは各課程のガイダンスを参考にしてください。
- ⑫履修登録後、所定の日時に「履修登録確認表(個人別履修科目表)」を交付します。各自確認をし、修正が必要な場合は所定の期日までに学生支援部門に申し出てください。この確認と申告を怠ったために生じる事態は、すべて学生各自の責任となります。
- ⑬2年生以上の学生で、所属しているコースや領域以外の専門科目を選択科目として履修を希望する場合は、願い出用紙を各学期の指定された履修登録期間に申し出る必要があります。
- ⑭3年次編入生は、他大学(短期大学などを含む)で修得した単位(既修得単位)のうち62単位を上限に本学で修得した単位として認定します。別に定める【既修得単位の認定に関する事項】に従って申請をしてください。
- ⑮次に該当する場合、他大学(短期大学などを含む)で修得した単位を本学で修得した単位として認定する場合があります。

この場合の認定単位数は、大学コンソーシアム京都・環びわ湖大学連携の単位互換事業における他大学開講授業、および本学の交換留学生制度により留学する外国の大学において修得した単位とあわせて60単位を超えない範囲となります。

- a) 他大学(短期大学などを含む)を卒業し、1年次から本学に入学した場合
b) 他大学(短期大学などを含む)を中途退学し、1年次から本学に入学した場合
別に定める【既修得単位の認定に関する事項】に従って申請をしてください。

⑯次に該当する学生は、履修登録に際して必ず領域(コース)教員に履修相談を受けてください。

- a) 前年度に必修科目の単位を修得できなかったため再履修する場合
b) 過去に修得できなかった必修科目を指定クラス外で履修する場合

⑰その他、履修に関する相談は、学生支援部門に問い合わせてください。

※受講登録した学生は、成績評価対象者となります。登録確定した科目については、確実に学修していきましょう。

(4)履修の取消について

受講した科目の内容やレベルが登録時の予想と違う、健康上の理由で出席できないなどやむを得ない理由で履修中止を希望する場合は、履修取消(中止)届に理由を添えて提出します。

①履修の取消は、所定の期間に手続きをしなければいけません。

前期・・・4月下旬 後期・・・9月下旬

②履修を取り消した科目をその学期中に再登録することはできません。ただし、次学期以降に改めて履修登録することは可能です。

③次の科目は原則履修取消ができません。

・各学年で受講を指定された科目(専門科目を含む)

・単位互換事業科目(大学コンソーシアム京都・環びわ湖地域コンソーシアム)

・資格課程必修科目

・インターンシップ科目

※履修取消科目数が多い学生は、次学期登録時に履修相談をして適正な履修計画について指導を受けてください。

授業

(1)授業時間

本学の授業時間は、年間を通じて下記の通りです。

1時限	2時限	3時限	4時限	5時限	6時限	7時限
9:10～10:30	10:40～12:00	昼休み	13:35～15:05	15:15～16:45	16:45～18:15	18:30～20:00

※有料の資格講座、プロジェクト科目授業等の時間として利用します。

※キャンパスプラザ京都で授業がある科目については、プラザ科目時間となります。

(2)授業教室について

各学期に配布する全体時間割で確認をしてください。

(3)出席

授業は、教員と学生が直接人間的なふれあいを通して学問を教え学ぶ場であり、学生生活の基本になるものです。したがって、授業への出席は重要であり、自主的な学問への探究心なくしてその成果を期待することはできません。

①本学には、「公欠」等の取り扱いはありません。

欠席の場合は、欠席届(学生支援窓口に設置)を担当教員へ提出します。また、欠席分の講義内容・課題は各自で担当者に確認をして補ってください。その科目を受講する意思を確認するものと判断されます。

※学生便覧の教員面談日・連絡先一覧を参照

②欠席が続いた場合、長期にわたって欠席する場合は、授業担当教員および学生支援部門と緊密な連絡をとり、その科目の履修と単位の修得に関して十分に相談してください。

(4)休講・休業・登校禁止・補講について

①授業担当教員や大学の都合により、授業が休講となる場合があります。その場合には、休講掲示で連絡します。また、事情により所定開始時間から30分を経ても授業担当教員が出講しない場合は、「自然休講」となりますが、その場合、必ず学生支援部門に連絡と確認をおこなってください。

②法定伝染病等(別表1)の罹患者が出た場合、大学全体を休講(登校禁止)することがある。

③JRがストライキをおこなっている場合、または、滋賀県大津市南部・北部(両方又はどちらか一方)に気象警報が発令されている場合には、次に示す措置をとります。

気象警報発令時、ストライキによる交通機関不通時の授業の取扱

大学に通学するための交通機関(JR等)がストライキを行っている場合、または滋賀県大津市南部・北部(両方又はどちらか一方)に特別警報、暴風警報、暴風雪警報のいずれかが発令された場合には次の処置をとります。

・午前7時までにストライキが解決又は特別警報、暴風警報、暴風雪警報のすべてが解除された場合→通常どおり実施します。

・午前10時までにストライキが解決又は特別警報、暴風警報、暴風雪警報のすべてが解除された場合

→午前中のみ休講とし、4時限目から通常授業を実施します。

・午前10時の時点でストライキが解決又は特別警報、暴風警報、暴風雪警報のすべてが解除されなかった場合→終日休講とします。

・授業中に特別警報もしくは暴風警報か暴風雪警報が発令された場合→発令以降、休講とします。

- 1)地震等による災害により、緊急事態と大学が判断した場合は、前記にかかわらず別途の措置を講ずる場合があります。
- 2)上記の緊急事態や河川の氾濫、道路の冠水や浸水、また鉄道への影響により大学から自宅への帰宅が困難な場合や「生命・身体に危険が生じる恐れがある」と判断した場合には、学内の安全な場所に避難するなど大学の指示に従ってください。
- 3)これらに関する情報等は成安情報サービス・yahooメールなどでお知らせいたします。
非常時には「命を守る行動」を優先してください。市町村などからの避難勧告・避難指示などの情報に留意し、少しでも安全な場所に移動するなどただちに「命を守る行動」をとってください。
- (5)授業連絡
授業に関する連絡は、授業中に連絡事項を伝えるほかに教学掲示板・成安情報サービスの授業連絡等を通じて情報を提供します。その他、授業担当者の指示に従ってください。

試験・成績について

- (1) 試験について
試験は科目担当者が、筆記試験、レポート試験、課題作品提出、口頭試問等によりおこないます。試験の実施については、科目の到達目標により時期が異なります。

保留該当者試験

保留該当者試験は、やむを得ない理由で単位の修得が困難であると科目担当者が判断した者に対して行われます。

①保留該当者発表（前期は8月下旬・後期は2月中旬）
科目担当者が保留該当【W】となった科目については再度課題を提出することで再評価を受けることができます。学生現住所へ郵送通知・成安情報サービスの掲示板で学籍番号のみ掲載

②保留該当者試験（前期は9月上旬・後期は2月下旬）
各学期1回行われます。受験する場合は、該当科目について教務窓口で手続きをして各担当者に再評価の依頼をおこないます。手続きを済ませないで課題を直接教員に提出した場合は無効となります。
手続き1) 受験願いの提出 及び受験料納付（1科目2000円）
手続き2) 課題提出・試験受験

* 保留該当者試験を受験しても学習目標の最低限の理解が得られていないと担当者が判断した場合は不合格【D】となります。

- (2) 評価
①成績通知書に表示する記号は、次のとおりです。

評価	素点	評価基準の目安
S（秀）	100～90	学習目標の内容を理解し修得したものと認められる特に秀でた成績
A（優）	89～80	学習目標の内容を理解し修得したものと認められる優れた成績
B（良）	79～70	学習目標の根幹的な部分は理解し修得したものと認められる妥当な成績
C（可）	69～60	学習目標の最低限の理解は得られたものと認められる成績
W （保 留）	成績保留	保留該当者試験は、やむを得ない理由で単位の修得が困難であると科目担当者が判断
D （不 可）	59以下	学習目標の最低限の理解が得られていないと認められる成績
N （認 定）	認 定	*既修得単位 認定 *一括認定 *指定した資格検定合格者への単位認定

- (3) GPA制度について
履修指導にいかすためにGPA（Grade Point Average）の制度を導入します。詳細については、最終項目で紹介しします。
- (4) 成績発表
履修科目の成績は、学修状況の記録として単位を修得できなかった科目も含め「成績通知書」に表示され各学期の履修登録期間に配布します。また、学期ごとに保護者(保証人)にも通知します。
成績評価について確認事項がある場合は、次の学期登録期間終了までに所定の様式で申し出ることができます。

進級・卒業について

(1) 進級について

成績単位の修得状況にかかわらず2年次及び3年次へは進級します。ただし4年次に進級するためには別に定める進級判定基準を満たさなければいけません。4年次への進級を不可と判断された場合は、原級(3年次)に留まらなければいけません。

進級判定基準

- ①専門研究課程にすすむ学力を有していること
 - ②総修得単位数が76単位以上であること
 - ③領域の専門科目及び芸術応用科目の修得単位数が54単位以上であること
- ※1①～③の要件を充たさない場合は面接による審査を行う
- ※2但し総修得単位数が51単位以下もしくは領域の専門科目及び芸術応用科目の修得単位数が43単位以下の場合は、書類審査のみで自動的に3年次留年とする

(2) 卒業について

本学に4年以上在学し、卒業に必要な単位数を修得しなければなりません。

(3) 卒業の時期について

- ①卒業の時期は、後期末(3月)または前期末(9月)です。
- ②後期末(3月)：後期終了時において卒業要件を充足した場合、卒業とします。
卒業判定結果については、2月下旬に保証人宛に通知します。
- ③前期末(9月)：前期終了時において卒業要件を充足した場合、卒業とします。
卒業判定結果については、9月上旬に保証人宛に通知します。

卒業見込み証明書発行基準

4年次に進級した学生で一定の科目・単位数の修得要件を満たした者に卒業見込み証明書を発行します。

- ①卒業見込み者とは
卒業見込者とは、在学3年次終了時の修得した単位数および4年次に卒業要件を満たす履修登録をおこなったことが確認された者とする。
- ②判定時期について
本学はセメスター制を採用しているため「卒業見込判定」を4年次の前期及び後期におこなう。
前期の判定では、前期の成績および後期の履修登録が確定していないため暫定的な判定となる。(9月卒業は除く)

判定対象	判定時期	判定対象卒業時期
4年次前期	4月下旬(前期履修登録終了時)	9月卒業・3月卒業
4年次後期	9月下旬(後期履修登録終了時)	3月卒業

■ 成安造形大学GPAについて

GPAとは、Grade Point Average（成績加重平均値）のことで、各科目の評点（100点満点）をグレードポイントに換算しなおし、その合計を科目の総単位数で割り、1単位のグレードポイントの平均値を算出するものです。

高校まではすべての学生が同じ教科・科目を履修しますから、単純に成績を比較できました。大学では、個々の学生の所属領域（コース）や目標に応じて、履修する科目を選択する自由度が高く、異なる科目を修得した様々な学生を単純に比較することができません。多様な学習環境を持つ大学では「学ぶ量」だけでなく「学ぶ質」を端的に評価できる指標が必要であり、GPAはそれを提供する方法です。専門性や就学目標からくる履修状況の違いを吸収し、公平さを与えながら学業成績評価の指標として使われるものであり、現在多くの大学でこのポイントを活用して大学での学びを確かなものにする動きがあります。

①履修登録したすべての科目を対象に算出します。単位を修得できなかった不合格科目も成績に加算されます。従って不合格科目が多いとそれだけGPAが低くなります。ただし、履修を取り消した科目、認定科目並びに卒業要件対象外の資格課程必修科目は、算出対象から除きます。

②GPA算出について

素点	評価	グレードポイント
100～90	S（秀）	4
89～80	A（優）	3
79～70	B（良）	2
69～60	C（可）	1
59点以下	D（不可）	0
認定科目		対象外
資格課程必修科目		対象外

$$GPA = \frac{S \text{ の修得単位数} \times 4.0 + A \text{ の修得単位数} \times 3.0 + B \text{ の修得単位数} \times 2.0 + C \text{ の修得単位数} \times 1.0}{\text{総履修登録単位数（「D」の単位数含む）}}$$

③GPAの利用について

給付奨学生並びに特待生の適正判断審査の資料として利用します。

外国人留学生の授業料減免に関する成績審査の資料として利用します。

就職や進学で成績順位の提示を求められる場合は、学科別学年別でGPAによる成績順位を算出します。

その他 GPAポイントが必要な学生の相談に応じます。

芸術学部芸術学科

平成26(2014)年度以降入学生
カリキュラム

平成25(2013)年度以前入学生

共通教育センター科目

学芸員課程科目

教職課程科目

二級建築士受験資格講座科目

人材育成目的

「芸術による社会への貢献」という基本理念(教育理念)の下、「誠と熱」を持ち、公正さと創造性を兼ね備える、発想力・提案力・技術力に優れた清廉な人材の育成を目的とする。

ディプロマポリシー（学位授与方針）

成安造形大学 教育目標(学士課程の学習成果に関する指針＝学位授与の方針)

- 1 知識・理解(認知的領域)
 - (1)芸術分野における基本的な知識を体系的に理解できる。
 - (2)芸術分野の知識と自己の存在を歴史・社会・自然と関連付けて理解できる。
 - (3)多文化・異文化を理解し、多様性を尊重できる。
- 2 技能(精神運動的領域)
 - (1)日本語や特定の外国語を用いて、読み、書き、聞き、話すことができる。自分の考えを伝えることができる。
 - (2)情報通信技術を利用して、多様な情報を収集し、的確に把握し、発信することができる。
 - (3)専門分野において基礎的な造形能力を身につけている。
 - (4)問題を発見し、解決に必要な情報を収集・分析・整理することができる。
論理的思考力によって、解決のための計画を立案し、実行できる。
- 3 態度・志向性(情動的領域)
 - (1)自らを律して行動できる。指示を待つのではなく、やるべきことに積極的に取り組める。
 - (2)他者と協調して行動できる。他者に方向性を示し、目標の実現のために動員できる。
 - (3)卒業後も自らを律して学習できる。
 - (4)自己の良心と社会の規範に従って、誠意と熱意を持って行動できる。
 - (5)社会の一員としての意識を持ち、義務と権利を理解し、社会に貢献できる。
- 4 創造性(総合的・実践的領域)
 - (1)獲得した知識・技能・態度等を総合的に活かし、研究制作成果を提示できる。
 - (2)専門分野における経験を活かし、自らが立てた課題において創造的提案ができる。

カリキュラムポリシー（教育課程編成方針）

- 1 学修の順次性を明確にし、総合的な造形的基礎と高度な専門性を養成する。
- 2 導入教育を充実させて社会人として必要な基礎力と対課題能力を養成し、それぞれが学ぶ専門分野と有機的にむすびついた高度な社会実践力を確立する。

この教育方針の下に芸術学部芸術学科の教育課程は、1年前期・後期を《専門導入課程》、2年前期・後期3年前期・後期を《専門基盤課程》、4年前期・後期を《専門研究課程》に分けます。また、各科目を「学部共通科目」と「専門科目」で編成します。

「学部共通科目」では、「基礎科目群」、「応用科目群」、「教養科目群」、「社会実践科目群」の4つを大きな柱としています。

「基礎科目群」では、4年間の大学生活を自主的かつ円滑に進めるために必要な基礎的学力を身につけるスタートプログラム科目や芸術に対する認識の基盤となる理論の初歩を幅広く学び、広範な造形活動を支える芸術基礎科目、所属する領域に関係なく、基本的な造形力を幅広く身につけるファウンデーション科目で構成されています。

「応用科目群」では、広範な芸術活動の専門性を理論的、実践的に支え、各領域の専門基盤課程、専門研究課程において必要とされる専門的知識・技能を習得するための芸術応用科目を提供します。

「教養科目群」には多様な知識・教養を学ぶことにより、多角的な視野や豊かな知性、柔軟な思考力を身につけ、各学生が幅広い視点から造形活動を捉えることができる資質を獲得するための教養科目、異文化コミュニケーション能力を身につけることにより、グローバルな視点に基づく思考力や創造力を獲得するための外国語科目があります。また、大学コンソーシアム京都や環びわ湖大学連携による単位互換協定を締結した滋賀県、京都府の大学、短大の科目を受講することもできます。

「社会実践科目群」は、社会との関係のなかで自己を確認し、卒業後の自己実現のために寄与する科目群です。
地域貢献・プロジェクト科目は、「芸術による社会への貢献」を実現する科目として「芸術力」要請をもとに実践的な知識・技術を活用し、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、問題解決能力に優れた社会の即戦力となる人材育成を目的としています。また、キャリアデザイン科目は、キャリア形成を考えるうえで前提となる「自己分析・自己発見」「社会を知る」ということを段階的に学ぶことにより、学生が各々の目標に合わせたキャリアデザインを構築するための科目です。

「専門科目」では、それぞれに「専門導入科目群」、「専門基盤科目群」、「専門研究科目群」の3つを段階で履修します。
「専門導入科目群」では専門分野を修めるために必要不可欠な最低限の知識や技能を養うための必要不可欠な実習科目、演習科目を、「専門基盤科目群」では各自の専門領域の基盤となる知識や技術を修得することで、各自の専門性を深く究めてもらうための実習科目と演習科目を、「専門研究科目群」ではゼミ段階的な履修や選択的な履修をもとに、各自の専門領域にかかわる知識や技術を広く修得することを通して、より高度な表現力や思考力を獲得するとともに、各自の専門性を深く究めてもらうための研究科目、卒業制作を設置しています。

科目の種別及び受講科目の考え方

授業科目は、必修科目・指定科目(必修科目に準ずる)・選択科目から構成しています。また、学習目標の確実な積み上げを保证するために、受講科目を学年で指定しています。

必修科目

卒業するために単位修得が必要な科目です。この科目は、各領域で指定しているスタンダードカリキュラムを学んだのち、最終学年で自分の専門分野の集大成として学びます。

◎専門研究科目群	○専門研究科目	【2科目 10単位】 卒業研究1・2	*履修科目表に印字	履修取消はできません
----------	---------	-----------------------	-----------	------------

指定科目(必修科目に準ずる科目)

芸術学を専門とする本学の学びを確実にするために必要な科目を指定科目としています。この科目は、各領域(コース)の専門性を取得する為に指定している科目及び本学の学びの質を保证する科目から構成されており、各学年で受講が指定されています。

領域受講指定科目

各領域(コース)の専門的な内容をスタンダードカリキュラムとして受講科目を指定して提供しています。領域の専門性を取得するのに必要な科目であるため単位修得を原則とします。単位修得できなかった場合は、必ず領域教員から再履修指導を受けます。

◎専門導入科目群	○専門導入科目	【6科目 12単位】 領域基礎造形実習1～4、領域別演習1・2	*履修科目表に印字	履修取消はできません
◎専門基盤科目群	○専門基盤科目	【16科目 32単位】 コース別実習1～8、 コース別演習1～8	*履修科目表に印字	履修取消はできません
◎応用科目群	○芸術応用科目	【5科目 10単位】 領域別概論、領域が指定する理論科目	*履修科目表に印字	履修取消はできません

学部共通受講指定科目

本学の学びの質を保证する基礎的な要素を[大学入門][学びの基礎][社会貢献]として共通教育センターが受講科目を指定して提供しています。単位修得を原則とします。

◎基礎科目群	○スタートプログラム科目	【6科目 6単位】 大学入門1・2、スタディスキル実習1～4	*履修科目表に印字	履修取消はできません
	○ファウンデーション科目	【6科目 6単位】 ファウンデーション実習A1～A4、 ファウンデーション実習B1・B2	*履修科目表に印字	履修取消はできません
◎社会実践科目群	○地域貢献・プロジェクト科目	【1科目 2単位】 コミュニティデザイン概論	*履修科目表に印字	履修取消はできません
	○キャリアデザイン科目	【2科目 2単位】 キャリアデザイン概論1・2	*履修科目表に印字	履修取消はできません

選択受講指定科目

本学の学びの質を発展的に保証する要素として[芸術基礎][芸術応用][社会貢献]として共通教育センターが下記の科目分類ごとに必要単位数を指定しています。

◎応用科目群	○芸術応用科目	【2科目 4単位以上】 所属する領域で受講指定する 領域別概論、領域論1～4以外に 応用科目群の中から2科目4単位を選択して受講すること
◎基礎科目群	○芸術基礎科目	【1年次に4科目 8単位以上を選択し受講すること】 東洋・日本美術史概説A／B、西洋美術史概説A／B、 デザイン史概説A／B
◎社会実践科目群	○地域貢献・プロジェクト科目	【1科目 2単位以上を選択し受講すること】 コミュニティデザイン論1・2、近江学A・B、琵琶湖の民俗史 プロジェクト演習1A～4E
	○キャリアデザイン科目	【2年次以降の科目より、1科目 2単位以上を選択し受講すること】 キャリアデザイン論A・B、就業力育成論1～4・演習A～D、 ポートフォリオ演習、インターンシップA・B

選択科目

芸術学の専門に関連する科目を自主的に選択して学べる科目です。[幅広い教養][多文化・異文化理解とコミュニケーション][他大学の学び]をカテゴリとして提供しています。

◎教養科目群	○教養科目
	○外国語科目
	○単位互換事業科目

- ＊単位互換事業科目については、受講が許可された場合の[履修取消]は認めません。
- ＊領域・コースが学生の専門分野の学習において推奨する科目は、領域推奨科目として紹介します。
- ＊共通教育センターが学生のめざすものによって推奨する科目は学部共通推奨科目として紹介します。
(キャリアデザイン科目、教職課程科目、学芸員課程科目 等)

卒業に必要な単位数

必修科目	10単位
指定科目(必修科目に準ずる)	114単位以上
選択科目	

1、専門科目

専門科目とは、各領域がその領域に所属する学生に対して提供する科目で、専門導入科目、専門基盤科目、専門研究科目から構成され、各領域・各コースの専門分野を修めるために必要不可欠な科目です。学びの順次性により各学年・各学期に配当され履修します。各領域とも4学年(8学期)で合計54単位となります。

2、共通教育センター科目(学部共通科目)

共通教育センター科目(学部共通科目)とは、基礎科目群、応用科目群、社会実践科目群、教養科目群から構成され共通教育センター所属の教員がこの科目群をバックアップしています。

①基礎科目群

芸術大学に進学した学生が等しく身につけるべき知識や技能を修得するために1年生全員が学ぶ科目で以下の科目で構成されます。

スタートプログラム科目……4年間の大学生活を自主的かつ円滑に進めるために必要な基礎学力を身につけるための科目です。

芸術基礎科目……芸術に対する認識の基盤となる理論の初歩を幅広く学び、広範な造形活動を支えるための科目です。

ファウンデーション科目……所属する領域に関係なく9クラスに編成されて、専門分野の枠を超えた教員組織の指導のもと、美術経験の多少にかかわらず、表現することの面白さを体感することを通して芸術学部共通の造形基礎を学ぶ科目です。「描く」「つくる」「発想する」の3つの基本的なテーマに沿って、実技、講義、ワークショップ、発表、合評などで授業を構成し、表現課程での工夫や発見を通して、視野を広げていく楽しさと柔軟な思考を養う「ファウンデーション実習A」やコンピュータの基礎を学ぶ「ファウンデーション実習B」があります。

②応用科目群

広範な芸術活動の専門性を理論的、実践的に支え、各領域の専門基盤課程、専門研究課程において必要とされる専門的知識・技能を養うために必要不可欠な科目群です。

③社会実践科目群

「芸術による社会への貢献」を実践する科目群で自分の将来の姿を実現に近づけるための、キャリア支援科目と芸術による社会貢献を実現するプロジェクトを単位化する地域貢献・プロジェクト科目があります。

④教養科目群

各学生の専門や志向に有益な学問領域について自主的に学ぶことができる科目群で、教養科目、外国語科目、単位互換事業科目で構成されます。

3、学芸員課程科目

学芸員課程科目は、博物館法をはじめとする関連諸法規にもとづいて開講されています。

「学芸員課程履修届」を提出した学生のみが履修できます。なお、学芸員課程科目を卒業のために必要な単位として算入することはできません。

4、教職課程科目

教職課程科目は、教育職員免許法をはじめとする関連諸法規にもとづいて開講されます。

「教職課程履修届」を提出した学生のみが履修できます。なお、教職課程科目は卒業のために必要な単位として算入することはできません。

5、二級建築士受験資格講座科目

二級建築士、木造建築士の受験資格を得るために必要な本学が指定する科目で、「二級建築士受験資格講座履修届」を提出した学生のみが履修できます。なお、二級建築士受験資格講座科目は卒業に必要な単位として算入することはできません。

総合領域

平成26(2014)年度以降入学生

■ 総合領域人材育成目標について

芸術・文化・社会について、総合かつ横断的に学ぶ中から造形力や広い視野と基礎力を修得し、社会動向に即応しながら「コト」や「モノ」を複合的に「デザイン」することで、あらたな価値の推進ができる人材を育成する。

■ 総合領域の特色・各課程での学びについて

デザインやアートの世界を広く知り、埋もれた価値を見つけ出す。さまざまなモノ・コトをむすびつけ、ことばや視覚情報を駆使しひとつの何かにまとめる。

それを社会に伝えていくのがデザインプロデュースです。制作する「作品」自体に最終目標を置くのではなく、企画やアイデアを練り上げ、コミュニケーションをとりながら、社会に提案していく力、伝えあう力を、4年間で学びます。

● 専門導入課程（1年生）

ことばによるコミュニケーション、プレゼンテーション力を身につける。芸術、教育、地域に連動するアートプロデュースを学ぶ。プログラムレスファイルの役割と活用方法を理解し4年間の履修計画を立てる。

● 専門基盤課程（2～3年生）

デザインプロデュースの基礎と可能性を学ぶ。調査分析をまとめあげるための編集能力を培う。

プロデュース力を深める。仮想ブランド、イベント企画のプランニングなど、与えられたテーマに添ったグループワークによる企画提案ができる。

● 専門研究課程（4年生）

4年間の集大成として各自が選択したテーマにそった企画を立ち上げ、デザインプロデュースを実践研究する。

芸術学科 総合領域 平成26(2014)年度以降入学生

カリキュラム		単位数			授業形態	開講期・年次				特記事項	取得可能ライセンス	受講方法
		必修	指定	選択		1年	2年	3年	4年			
専門導入科目	基礎造形実習1 A		2		実習	○				*学科共通科目 イラストレーション/美術/ メディアデザイン領域開講科目		基礎造形実習1～4 計8単位を修得すること
	基礎造形実習2 A		2		実習	○				*学科共通科目 美術/空間デザイン領域開講科目		
	基礎造形実習3 A		2		実習	○				*学科共通科目 イラストレーション/メディアデザイン/ 空間デザイン領域開講科目		
	基礎造形実習4 A		2		実習	○				*学科共通科目 空間デザイン領域開講科目		
	基礎造形実習2 B		2		実習	○				*学科共通科目 イラストレーション領域開講科目		
	基礎造形実習4 B		2		実習	○				*学科共通科目 イラストレーション領域開講科目		
	基礎造形実習3 C		2		実習	○				*学科共通科目 美術領域開講科目		
	基礎造形実習4 C		2		実習	○				*学科共通科目 美術領域開講科目		
	基礎造形実習2 D		2		実習	○				*学科共通科目 メディアデザイン領域開講科目	写真Cライセンス	
	基礎造形実習4 D		2		実習	○				*学科共通科目 メディアデザイン領域開講科目	映像撮影機材C、 アニメーションスタジオAライセンス	
	基礎造形実習1 E		2		実習	○				*学科共通科目 空間デザイン領域開講科目		
	プロデュース基礎演習1		2		演習	○						各領域の基礎演習を 4単位修得すること
	プロデュース基礎演習2		2		演習	○						
専門基礎科目	プロデュース演習1		2		演習	○						領域の専門分野を選択して 16単位を修得すること
	プロデュース演習2		2		演習	○						
	プロデュース演習3		2		演習	○						
	プロデュース演習4		2		演習	○						
	プロデュース演習5		2		演習			○				
	プロデュース演習6		2		演習			○				
	プロデュース演習7		2		演習			○				
	プロデュース演習8		2		演習			○				
										*受講指定科目		受講指定科目及び デザインプロデュース演習、 各領域専門演習、実習から 16単位を修得すること
										*受講指定科目		
										*受講指定科目		
										*受講指定科目		
	デザインプロデュース演習1～5					○	○	○				
専門 科目	卒業研究1	4			演習				○			領域の専門研究科目を 10単位を修得すること
	卒業研究2	6			演習				○			
芸術 応用 科目												各領域の芸術応用科目を 10単位修得すること

イラストレーション領域

平成26(2014)年度以降入学生

イラストレーション領域人材育成目標について

イラストレーション表現の基礎となる「描写」「技法」と、その展開である「コンテンツ」「デザイン」の4つの系統の学びにより、情報伝達、エンターテインメント、文化活動など「幅広く社会に必要とされる美術表現」＝イラストレーション表現能力を持つ人材を育成する。

イラストレーション領域の特色・各課程での学びについて

現代的な絵画表現であるイラストレーションは、印刷技術などのメディアの発達とともに、独自の進化を遂げてきました。今日ではイラストレーションを

「情報を伝達すること、具体的な意味を説明することを目的とする絵」 (挿絵や図解、広告ポスターなど)
「複製され伝搬されることを目的とし、メディアのために描かれる絵」 (印刷物やWEBなど)
「装飾や娯楽性を目的とする絵」 (装飾絵画や壁画、宣伝キャラクターなど)

と定義できます。

また、現代ではこれらの機能の複合的な応用として、マンガやアニメーション、ゲームといったコンテンツの表現、キャラクターグッズなどの商品としても欠かせないものとなっています。こういった多様性、変化し続ける柔軟性こそ、イラストレーションの魅力といえるでしょう。

イラストレーション領域では、イラストレーションの可能性を探求し、実現する人材を育成するために、以下の4つの学びの系統に分けています。

「描写系の学び」では、対象の特徴や本質を捉え、絵として表現できる技術を学びます。主にデッサンなど写実描写により、観察力と描写力を養いますが、デフォルメなどの誇張表現も含みます。
「技法系の学び」では、画材の特性を活かした表現技術を学びます。今日のイラストレーションは技法を選ばない表現であり、さまざまな技法に精通することで表現力が高まります。
「コンテンツ系の学び」では、複数の図像やイラストレーションを組み合わせることで、意味を表現することを学びます。対比効果や構図構成にはじまり、絵本やマンガといったコンテンツまで含みます。
「デザイン系の学び」では、印刷など様々なメディアを使いこなすことを学びます。イラストレーションは、単独ではなくさまざまな要素と共に成立します。メディアの中で絵を活かしていく方法から、商品展開までを含みます。

この4つの学びの系統すべてを基盤として習得しつつ、徐々にそれぞれの専門性を見出していくカリキュラム構成となっています。

● 専門導入課程 (1年生)

描写と技法の基本を学び、観察力や描写力の基礎を身に付ける。
構図と構成を学び、絵で意味を伝えることを身につける。
グラフィックデザインの考え方と基礎技術を学ぶ。

● 専門基盤課程 (2～3年生)

「描写」「技法」「コンテンツ」「デザイン」の学びの各系統に対する、知識と経験を深め、目的にあわせて構成や応用ができるようになる。またこれらの系統の中から、自分の専門性を模索する。

● 専門研究課程 (4年生)

「描写」「技法」「コンテンツ」「デザイン」いずれかのゼミに1年間所属し、他の系統で学んだことも活かしつつ、より専門性を高めた表現を探求する。卒業研究(制作)としてその成果発表を行う。

芸術学科 イラストレーション領域 平成26(2014)年度以降入学生

カリキュラム		単位数			授業形態	開講期・年次				特記事項	取得可能ライセンス	受講方法
		必修	指定	選択		1年	2年	3年	4年			
専門導入科目	基礎造形実習1A		2		実習	○				*学科共通科目 イラスト領域開講科目		基礎造形実習1～4 計8単位を修得すること
	基礎造形実習2A		2		実習	○						
	基礎造形実習3A		2		実習	○				*学科共通科目 イラスト領域開講科目		
	基礎造形実習4A		2		実習	○						
	基礎造形実習2B		2		実習	○				*学科共通科目 イラスト領域開講科目		
	基礎造形実習4B		2		実習	○				*学科共通科目 イラスト領域開講科目		
	基礎造形実習3C		2		実習	○						
	基礎造形実習4C		2		実習	○						
	基礎造形実習2D		2		実習	○						
	基礎造形実習4D		2		実習	○						
	基礎造形実習1E		2		実習	○						
	イラストレーション基礎演習1		2		演習	○						領域の基礎演習を 4単位修得すること
	イラストレーション基礎演習2		2		演習	○						
専門基盤科目	イラストレーション演習1		2		演習	○						領域の専門基盤科目を 32単位修得すること
	イラストレーション演習2		2		演習	○						
	イラストレーション演習3		2		演習	○						
	イラストレーション演習4		2		演習	○						
	イラストレーション演習5		2		演習			○				
	イラストレーション演習6		2		演習			○				
	イラストレーション演習7		2		演習			○				
	イラストレーション演習8		2		演習			○				
	イラストレーション実習1		2		実習	○						
	イラストレーション実習2		2		実習	○						
	イラストレーション実習3		2		実習	○						
	イラストレーション実習4		2		実習	○						
	イラストレーション実習5		2		実習			○				
	イラストレーション実習6		2		実習			○				
	イラストレーション実習7		2		実習			○				
	イラストレーション実習8		2		実習			○				
専門研究科目	卒業研究1		4		演習				○			領域の専門研究科目を 10単位修得すること
	卒業研究2		6		演習				○			
芸術応用科目	イラストレーション概論		2		講義	○						領域の芸術応用科目を 10単位修得すること
	イラストレーション論1		2		講義	○						
	イラストレーション論2		2		講義	○						
	イラストレーション論3		2		講義			○				
	イラストレーション論4		2		講義			○				

芸術学科 イラストレーション領域 イラストレーションコース
平成26(2014)年度以降入学生 スタンダードカリキュラム

		専門導入課程		専門基盤課程				専門研究課程	
		1年		2年		3年		4年	
		前期または後期		前期または後期		前期または後期		前期	後期
専 門 科 目 ／ 54 単 位	／必 修 単 科 目							卒業研究1 卒業研究2	
	↑ 領 域 指 定 科 目 ／ 54 単 位	基礎造形実習1A 基礎描写1 (明暗表現)	基礎造形実習2B 基礎描写2 (色彩表現)	イラスト実習1 空間描写 (教職/絵画)	イラスト実習2 人体描写応用 (教職/絵画)	イラスト実習5 コンテンツ・演出構成	イラスト実習7 描写 空間描写 人体・動物描写 細密描写		
専 門 科 目 ／ 54 単 位	↓ 芸 術 応 用 科 目 ／ 10 単 位	基礎造形実習3A シンボライズ& デザイン	基礎造形実習4B 色彩	イラスト実習3 技法1 デジタルペイント マチュール	イラスト実習4 技法2 水性技法 乾式技法	イラスト演習5 コンテンツ・演出構成	イラスト演習7 描写 空間描写 人体・動物描写 細密描写		
		イラスト 基礎演習1 構図&挿絵	イラスト 基礎演習2 人体描写基礎 (クロッキー)	イラスト演習1 コンテンツ入門	イラスト演習2 グラフィック デザイン基礎	イラスト実習6 技法 デジタルイメージング タブロー制作	イラスト実習8 デザイン 商品イラストレーション		
				イラスト演習3 情報伝達技術 WEB+発信	イラスト演習4 情報伝達表現 (実用イラストレーション)	イラスト演習6 技法 デジタルイメージング タブロー制作	イラスト演習8 デザイン 商品イラストレーション		
		イラスト概論 歴史と現状		イラスト論1 視覚認知論 美術解剖学	イラスト論2 メディアイラスト論	イラスト論3 形態論 視覚論	イラスト論4 自己プロデュース		

■ 美術領域人材育成目標について

「描くこと」「つくること」「表現すること」を基本に、感性を通して自然の世界や日常生活の環境を見つめ、その中で豊かな想像力を育み、自らのテーマ(目標)を設定し制作した作品を社会に向けて発信できる表現力を持つ人材を育成する。

■ 美術領域の特色・各課程での学びについて

実習や演習を通して様々な「技法」「知識」「表現力」を高め、美術に必要な基礎技術を養い、美術概論や美術論では「なぜ作品を制作するのか」「何を社会に伝えたいのか」など、美術とは何かを修得しながら考える力を培います。このような積み重ねが、卒業後のそれぞれの就職先で幅広く生かされ多くの人材が活躍しています。

● 専門導入課程（1年生）

基礎造形実習科目の学修目標は、一つには平面・立体表現の基礎を学び、そして日本画・洋画・現代アートのそれぞれの専門教育の導入として専門分野の基礎を修得します。また、演習では現代の若手芸術家の活動や作品を通じて紹介しながら「描く」「つくる」「表現する」行為について考察します。

● 専門基盤課程（2～3年生）

演習科目において、様々な「技法」「素材」「表現方法」について知的に学び、さらに専門分野の表現の根幹となる「技術力」「造形力」そして「感性」を磨きます。実習課題は思考しながら自らの作品のテーマを定め、独創性ある表現方法を実践していきます。

● 専門研究課程（4年生）

美術の表現者としての自覚と、人としての生き方を考え、専門分野の研究を更に広げ深めることを目標に、自らの研究試行の段階で指導と助言を受けながら確固たるものにしていく手法を学びます。

芸術学科 美術領域 平成26(2014)年度以降入学生

カリキュラム		単位数			授業形態	開講期・年次				特記事項	取得可能ライセンス	受講方法
		必修	指定	選択		1年	2年	3年	4年			
専門導入科目	基礎造形実習1 A		2		実習	○				*学科共通科目 美術領域開講科目		基礎造形実習1～4 計8単位を修得すること
	基礎造形実習2 A		2		実習	○				*学科共通科目 美術領域開講科目		
	基礎造形実習3 A		2		実習	○						
	基礎造形実習4 A		2		実習	○						
	基礎造形実習2 B		2		実習	○						
	基礎造形実習4 B		2		実習	○						
	基礎造形実習3 C		2		実習	○				*学科共通科目 美術領域開講科目		
	基礎造形実習4 C		2		実習	○				*学科共通科目 美術領域開講科目		
	基礎造形実習2 D		2		実習	○						
	基礎造形実習4 D		2		実習	○						
	基礎造形実習1 E		2		実習	○						
	美術基礎演習1		2		演習	○				領域共通科目		
専門基盤科目	美術基礎演習2		2		演習	○				領域共通科目		領域共通および 各コースの専門基盤科目 32単位を修得すること
	美術演習1		2		演習		○			領域共通科目		
	美術演習3		2		演習		○			領域共通科目		
	美術演習2-a		2		演習		○			日本画コース科目		
	美術演習4-a		2		演習		○			日本画コース科目		
	美術演習5-a		2		演習		○			日本画コース科目		
	美術演習6-a		2		演習		○			日本画コース科目		
	美術演習7-a		2		演習			○		日本画コース科目		
	美術演習8-a		2		演習			○		日本画コース科目		
	美術実習1-a		2		実習		○			日本画コース科目		
	美術実習2-a		2		実習		○			日本画コース科目		
	美術実習3-a		2		実習		○			日本画コース科目		
	美術実習4-a		2		実習		○			日本画コース科目		
	美術実習5-a		2		実習			○		日本画コース科目		
	美術実習6-a		2		実習			○		日本画コース科目		
	美術実習7-a		2		実習			○		日本画コース科目		
	美術実習8-a		2		実習			○		日本画コース科目		
	美術演習2-b		2		演習		○			洋画コース科目		
	美術演習4-b		2		演習		○			洋画コース科目		
	美術演習5-b		2		演習		○			洋画コース科目		
	美術演習6-b		2		演習		○			洋画コース科目		
	美術演習7-b		2		演習			○		洋画コース科目		
	美術演習8-b		2		演習			○		洋画コース科目		
	美術実習1-b		2		実習		○			洋画コース科目		
	美術実習2-b		2		実習		○			洋画コース科目		
	美術実習3-b		2		実習		○			洋画コース科目		
	美術実習4-b		2		実習		○			洋画コース科目		
	美術実習5-b		2		実習			○		洋画コース科目		
	美術実習6-b		2		実習			○		洋画コース科目		
	美術実習7-b		2		実習			○		洋画コース科目		
	美術実習8-b		2		実習			○		洋画コース科目		
	美術演習2-c		2		演習		○			現代アートコース科目		
	美術演習4-c		2		演習		○			現代アートコース科目		
	美術演習5-c		2		演習		○			現代アートコース科目		
	美術演習6-c		2		演習		○			現代アートコース科目		
	美術演習7-c		2		演習			○		現代アートコース科目		
	美術演習8-c		2		演習			○		現代アートコース科目		
	美術実習1-c		2		実習		○			現代アートコース科目		
	美術実習2-c		2		実習		○			現代アートコース科目	写真C(白スタジオ限定)ライセンス	
	美術実習3-c		2		実習		○			現代アートコース科目		
	美術実習4-c		2		実習		○			現代アートコース科目		
	美術実習5-c		2		実習			○		現代アートコース科目		
	美術実習6-c		2		実習			○		現代アートコース科目		
	美術実習7-c		2		実習			○		現代アートコース科目		
	美術実習8-c		2		実習			○		現代アートコース科目		
科研専門 目究門	卒業研究1		4		演習				○			領域の専門研究科目 10単位修得すること
	卒業研究2		6		演習				○			
芸術応用科目	美術概論		2		講義	○						領域の芸術応用科目 10単位修得すること
	美術論1		2		講義		○					
	美術論2		2		講義		○					
	美術論3		2		講義			○				
	美術論4		2		講義			○				

■ 芸術学科 日本画コース 平成26(2014)年度以降入学生 スタンダードカリキュラム

		専門導入課程		専門基盤課程				専門研究課程	
		1年		2年		3年		4年	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
専門科目／54単位	／必修科目 10単位							卒業研究1	卒業研究2
		基礎造形実習1A 絵画・平面表現の基礎 ＊領域共通科目	基礎造形実習3C 3コースの基礎を経験① ＊領域共通科目	美術実習1-a 写生表現	美術実習3-a 静物表現	美術実習5-a 人物表現	美術実習7-a 風景表現		
		基礎造形実習2A 彫刻・立体造形の基礎 ＊領域共通科目	基礎造形実習4C 3コースの基礎を経験 ＊領域共通科目	美術実習2-a 植物表現	美術実習4-a 動物表現	美術実習6-a コスチューム表現	美術実習8-a 各自のテーマによる表現		
		美術基礎演習1 美術入門 ＊領域共通科目	美術基礎演習2 日本・現代・美術Ⅰ ＊領域共通科目 ＜地域貢献＞	美術演習1 古美術研究 ＊領域共通科目 ＜地域貢献＞	美術演習3 日本・現代・美術Ⅱ ＊領域共通科目	美術演習7-a 日本画研究Ⅲ 絵具をつくる	美術演習8-a 日本画研究Ⅳ 現代		
芸術応用科目 10単位	領域指定科目／54単位			美術演習2-a 材料研究Ⅰ 歴史と技法	美術演習4-a 材料研究Ⅱ 箔 絹に描く				
				美術演習5-a 日本画研究Ⅰ 古典	美術演習6-a 日本画研究Ⅱ マテリアルを知る				
		美術概論 美術概論		美術論1 近代日本作家研究	美術論2 比較絵画論	美術論3 近代以降の絵画と 視覚文化の研究	美術論4 現代アート概論 「彫刻」を キーワードに		

■ 芸術学科 洋画コース 平成26(2014)年度以降入学生 スタンダードカリキュラム

		専門導入課程		専門基盤課程				専門研究課程	
		1年		2年		3年		4年	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
専門科目／54単位	／必修科目 10単位							卒業研究1	卒業研究2
		基礎造形実習1A 絵画・平面表現の基礎 ＊領域共通科目	基礎造形実習3C 3コースの基礎を経験① ＊領域共通科目	美術実習1-b 油彩画専門基礎1	美術実習3-b 油彩画専門基礎3	美術実習5-b 方法論の展開	美術実習7-b 自由制作1		
		基礎造形実習2A 彫刻・立体造形の基礎 ＊領域共通科目	基礎造形実習4C 3コースの基礎を経験 ＊領域共通科目	美術実習2-b 油彩画専門基礎2	美術実習4-b 版画技法1 (シルクスクリーン)	美術実習6-b 版画技法2 (リトグラフ・銅版画技法)	美術実習8-b 自由制作2		
		美術基礎演習1 美術入門 ＊領域共通科目	美術基礎演習2 日本・現代・美術Ⅰ ＊領域共通科目 ＜地域貢献＞	美術演習1 古美術研究 ＊領域共通科目 ＜地域貢献＞	美術演習3 日本・現代・美術Ⅱ ＊領域共通科目	美術演習7-b テーマの発見と 研究計画の立案	美術演習8-b 作家作品研究		
芸術応用科目 10単位	領域指定科目／54単位			美術演習2-b ドローイング研究Ⅰ	美術演習4-b ドローイング研究Ⅱ				
				美術演習5-b 油彩画技術と表現1	美術演習6-b 油彩画技術と表現2				
		美術概論 美術概論		美術論1 近代日本作家研究	美術論2 比較絵画論	美術論3 近代以降の絵画と 視覚文化の研究	美術論4 現代アート概論 「彫刻」を キーワードに		

平成26(2014)年度以降入学生
美術領域

平成25(2013)年度以前入学生

共通教育センター科目

学芸員課程科目

教職課程科目

二級建築士受験資格講座科目

■ 芸術学科 現代アートコース 平成26(2014)年度以降入学生 スタンダードカリキュラム

		専門導入課程		専門基盤課程				専門研究課程					
		1年		2年		3年		4年					
		前期 後期		前期 後期		前期 後期		前期 後期					
専 門 科 目 ／ 54 単 位	／必 修 単 位 科 目							卒業研究1 卒業研究2					
		基礎造形実習1A 絵画・平面表現の基礎 ＊領域共通科目		基礎造形実習3C 3コースの基礎を 経験① ＊領域共通科目		美術実習1-c 立体表現		美術実習3-c 素材研究		美術実習5-c 企画・制作・展示		美術実習7-c 自由制作1	
		基礎造形実習2A 彫刻・立体造形の基礎 ＊領域共通科目		基礎造形実習4C 3コースの基礎を 経験 ＊領域共通科目		美術実習2-c 平面表現		美術実習4-c 場と表現		美術実習6-c 展覧会の 広報メディア制作		美術実習8-c 自由制作2	
		美術基礎演習1 美術入門 ＊領域共通科目		美術基礎演習2 日本・現代・美術Ⅰ ＊領域共通科目 ＜地域貢献＞		美術演習1 古美術研究 ＊領域共通科目 ＜地域貢献＞		美術演習3 日本・現代・美術Ⅱ ＊領域共通科目		美術演習7-c ポートフォリオ 制作		美術演習8-c 身体表現	
						美術演習2-c アーティスト研究		美術演習4-c 社会と表現					
					美術演習5-c 自己と表現		美術演習6-c 複合メディア実験						
芸 術 応 用 科 目 ／ 10 単 位		美術概論 美術概論		美術論1 近代日本画家研究		美術論2 比較絵画論		美術論3 近代以降の絵画と 視覚文化の研究		美術論4 現代アート概論 「彫刻」を キーワードに			

■ メディアデザイン領域人材育成目標について

さまざまなメディアについて基礎から学び、応用力を培いながら複数のメディアをまたぐメディアミックスによる表現の可能性を広げる。それとともに社会や文化について思索を深め、次世代に対応した新しいコミュニケーションを創造できる人材を育成する。

■ メディアデザイン領域の特色・各課程での学びについて

メディアデザイン領域では、写真・グラフィックデザイン・映像について基礎から学び、メディアミックスによる表現の可能性を広げていく。情報を発信する人と受信する人をつなぐインタフェースを、より魅力的なものとして提案していくことが「メディアデザイン」の役割。そのために、社会や文化について自分自身で考える力や、コミュニケーション能力を育む。

● 専門導入課程（1年生）

メディアデザイン領域での造形活動の基礎力を身につける。（発想力、知識、描写力、映像、写真、グラフィックデザインによる表現）

● 専門基盤課程（2～3年生）

各コースの専門分野で学ぶための基礎技術の習得及び基礎知識を修得し、独自の自己表現を追究するためのテーマの発展につなげる。また、制作活動を通じて技術力を向上させ、社会への発表活動を通して表現力を充実させる。

● 専門研究課程（4年生）

各自の専門分野表現者としての総合力を研究・制作を行う。また集大成として4年間の学修成果をまとめ上げる。

芸術学科 メディアデザイン領域 平成26(2014)年度以降入学生

カリキュラム		単位数		授業形態	開講期・年次				特記事項	取得可能ライセンス	受講方法
		必修	指定	選択	1年	2年	3年	4年			
専門導入科目	基礎造形実習1 A		2		実習	○			*学科共通科目 メディアデザイン領域開講科目		領域の履修計画に基づき 基礎造形実習1～4 計8単位を修得すること
	基礎造形実習2 A		2		実習	○					
	基礎造形実習3 A		2		実習	○			*学科共通科目 メディアデザイン領域開講科目		
	基礎造形実習4 A		2		実習	○					
	基礎造形実習2 B		2		実習	○					
	基礎造形実習4 B		2		実習	○					
	基礎造形実習3 C		2		実習	○					
	基礎造形実習4 C		2		実習	○					
	基礎造形実習2 D		2		実習	○			*学科共通科目 メディアデザイン領域開講科目	写真Cライセンス	
	基礎造形実習4 D		2		実習	○			*学科共通科目 メディアデザイン領域開講科目	映像撮影機材C、 アニメーションスタジオAライセンス	
専門基盤科目	基礎造形実習1 E		2		実習	○					領域の基礎演習を 4単位修得すること
	メディアデザイン基礎演習1		2		演習	○			領域共通科目		
	メディアデザイン基礎演習2		2		演習	○			領域共通科目		
	メディアデザイン演習1		2		演習		○		領域共通科目	DTPルームライセンス	領域共通専門基盤科目を 8単位を修得すること
	メディアデザイン演習2		2		演習		○		領域共通科目	DTPルームライセンス	
	メディアデザイン演習3		2		演習		○		領域共通科目	DTPルームライセンス	
	メディアデザイン演習4		2		演習		○		領域共通科目	DTPルームライセンス	
	メディアデザイン演習7-a		2		演習			○	領域共通選択科目		領域共通選択科目 を4単位修得すること
	メディアデザイン演習7-b		2		演習			○	領域共通選択科目		
	メディアデザイン演習7-c		2		演習			○	領域共通選択科目		
	メディアデザイン演習7-d		2		演習			○	領域共通選択科目		
	メディアデザイン演習8-a		2		演習			○	領域共通選択科目		
	メディアデザイン演習8-b		2		演習			○	領域共通選択科目		
	メディアデザイン演習8-c		2		演習			○	領域共通選択科目		
	メディアデザイン演習8-d		2		演習			○	領域共通選択科目		
	メディアデザイン演習5-a		2		演習			○	写真コース科目		コース専門の基盤科目を 20単位修得すること
	メディアデザイン演習6-a		2		演習			○	写真コース科目		
	メディアデザイン実習1-ac		2		実習		○		写真コース科目	映像サウンド機材C、映像サウンド機材B、 映像照明機材B、ブロードキャスティングスタジオ(スタジオ/調整室)、 コンピュータスタジオAライセンス	
	メディアデザイン実習2-a		2		実習		○		写真コース科目	DTPルームライセンス	
	メディアデザイン実習3-a		2		実習		○		写真コース科目	写真Bライセンス	
	メディアデザイン実習4-a		2		実習		○		写真コース科目	写真B(備室系、写真コンピュータルム)ライセンス	
	メディアデザイン実習5-a		2		実習			○	写真コース科目		
	メディアデザイン実習6-a		2		実習			○	写真コース科目		
	メディアデザイン実習7-a		2		実習			○	写真コース科目		
	メディアデザイン実習8-a		2		実習			○	写真コース科目		
	メディアデザイン演習5-b		2		演習			○	グラフィックデザインコース科目		
	メディアデザイン演習6-b		2		演習			○	グラフィックデザインコース科目		
	メディアデザイン実習1-b		2		実習		○		グラフィックデザインコース科目	DTPルームライセンス	
	メディアデザイン実習2-b		2		実習		○		グラフィックデザインコース科目	DTPルームライセンス	
	メディアデザイン実習3-b		2		実習		○		グラフィックデザインコース科目	写真B(スタジオ撮影系)、DTPルームライセンス	
	メディアデザイン実習4-b		2		実習		○		グラフィックデザインコース科目		
	メディアデザイン実習5-b		2		実習			○	グラフィックデザインコース科目		
	メディアデザイン実習6-b		2		実習			○	グラフィックデザインコース科目		
	メディアデザイン実習7-b		2		実習			○	グラフィックデザインコース科目		
	メディアデザイン実習8-b		2		実習			○	グラフィックデザインコース科目		
	メディアデザイン演習5-c		2		演習			○	映像・放送コース科目		領域の専門研究科目を 10単位修得すること
	メディアデザイン演習6-c		2		演習			○	映像・放送コース科目		
	メディアデザイン実習1-ac		2		実習		○		映像・放送コース科目	映像サウンド機材C、映像サウンド機材B、 映像照明機材B、ブロードキャスティングスタジオ(スタジオ/調整室)、 コンピュータスタジオAライセンス	
	メディアデザイン実習2-c		2		実習		○		映像・放送コース科目	映像サウンド機材C、コンピュータスタジオAライセンス	
	メディアデザイン実習3-cd		2		実習		○		映像・放送コース科目	写真B(撮影用品)、アニメーションスタジオA、 コンピュータスタジオAライセンス	
	メディアデザイン実習4-c		2		実習		○		映像・放送コース科目	映像撮影機材B、映像照明機材B、 映像サウンド機材B、映像サウンド機材C、 コンピュータスタジオA、 ブロードキャスティングスタジオ (スタジオ/調整室)、シンブルスタジオ、 写真B(撮影用品)ライセンス	
	メディアデザイン実習5-c		2		実習			○	映像・放送コース科目		
	メディアデザイン実習6-c		2		実習			○	映像・放送コース科目		
	メディアデザイン実習7-c		2		実習			○	映像・放送コース科目		
	メディアデザイン実習8-c		2		実習			○	映像・放送コース科目		
	メディアデザイン演習5-d		2		演習			○	アニメーション・CGコース科目		
	メディアデザイン演習6-d		2		演習			○	アニメーション・CGコース科目		
科研専門	卒業研究1		4		演習				○		領域の専門研究科目を 10単位修得すること
	卒業研究2		6		演習				○		
芸術応用科目	メディアデザイン概論		2		講義	○					領域の芸術応用科目を 10単位修得すること
	メディアデザイン論1		2		講義		○				
	メディアデザイン論2		2		講義		○				
	メディアデザイン論3		2		講義			○			
	メディアデザイン論4		2		講義			○			

■ 芸術学科 メディアデザイン領域 写真コース
平成26(2014)年度以降入学生 スタンダードカリキュラム

		専門導入課程		専門基盤課程				専門研究課程		
		1年		2年		3年		4年		
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
専門科目／54単位	／必修科目 10単位							卒業研究1	卒業研究2	
		基礎造形実習1A 描写基礎 ＊領域共通科目	基礎造形実習3A グラフィックデザイン基礎 ＊領域共通科目	メディアデザイン実習1-ac テレビ番組の企画と制作	メディアデザイン実習2-a グラフィックデザイン基礎から応用	メディアデザイン実習5-a 写真の原理と実験	メディアデザイン実習6-a 写真による表現力・技術力の向上			
		基礎造形実習2D 写真基礎 ＊領域共通科目	基礎造形実習4D 映像・アニメーション基礎 ＊領域共通科目	メディアデザイン実習3-a 学内の機材・設備／写真表現技術	メディアデザイン実習4-a 写真作品制作の流れ／テーマの発見	メディアデザイン実習7-a 個々の作品テーマを見つける	メディアデザイン実習8-a 個展に向けた作品制作			
		メディアデザイン基礎演習1 写真・GD ＊領域共通科目	メディアデザイン基礎演習2 シナリオ・絵コンテ ＊領域共通科目	メディアデザイン演習1 Webサイト企画 ＊領域共通科目	メディアデザイン演習2 Webサイト制作 ＊領域共通科目	メディアデザイン演習5-a 作品制作のための作家研究 ＊写真コース必修科目	メディアデザイン演習6-a 写真術の歴史の変遷から将来の予測する力を養う ＊写真コース必修科目			
				メディアデザイン演習3 情報デザイン／創造デザインの応用1 Web制作基礎 ＊領域共通科目	メディアデザイン演習4 情報デザイン／創造デザインの応用2 Web制作応用 ＊領域共通科目	メディアデザイン演習7-a ドキュメンタリーの企画 ＊領域共通選択科目		メディアデザイン演習8-a ドキュメンタリーの実制作 ＊領域共通選択科目		
領域指定科目／54単位						メディアデザイン演習7-b インタフェース研究1 ＊領域共通選択科目		メディアデザイン演習8-b インタフェース研究2 ＊領域共通選択科目		
						メディアデザイン演習7-c モーショングラフィックス ＊領域共通選択科目		メディアデザイン演習8-c インスタレーション（メディアデザインにおける空間展示） ＊領域共通選択科目		
						メディアデザイン演習7-d パース（背景美術） ＊領域共通選択科目		メディアデザイン演習8-d ポートフォリオスケッチ・デッサン ＊領域共通選択科目		
						選択 2科目4単位 選択履修				
芸術応用科目／10単位		メディアデザイン概論1 メディアの歴史	メディアデザイン論1 写真史	メディアデザイン論2 グラフィックデザイン史	メディアデザイン論3 映画史	メディアデザイン論4 アニメーション史				

芸術学科 メディアデザイン領域 グラフィックデザインコース
平成26(2014)年度以降入学生 スタンダードカリキュラム

		専門導入課程		専門基盤課程				専門研究課程	
		1年		2年		3年		4年	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
専攻科目 54単位	必修科目 10単位							卒業研究1	卒業研究2
		基礎造形実習1A 描写基礎 ＊領域共通科目	基礎造形実習3A グラフィックデザイン基礎 ＊領域共通科目	メディアデザイン実習1-b タイポグラフィ・組版	メディアデザイン実習2-b 製版・シルクスクリーン	メディアデザイン実習5-b エディトリアルデザイン	メディアデザイン実習6-b アートディレクション ＜地域貢献＞		
		基礎造形実習2D 写真基礎 ＊領域共通科目	基礎造形実習4D 映像・アニメーション基礎 ＊領域共通科目	メディアデザイン実習3-b グラフィックデザインにおける写真	メディアデザイン実習4-b 広告デザイン	メディアデザイン実習7-b パッケージデザイン ＜地域貢献＞	メディアデザイン実習8-b Web広告		
		メディアデザイン基礎演習1 写真・GD ＊領域共通科目	メディアデザイン基礎演習2 シナリオ・絵コンテ ＊領域共通科目	メディアデザイン演習1 Webサイト企画 ＊領域共通科目	メディアデザイン演習2 Webサイト制作 ＊領域共通科目	メディアデザイン演習5-b インフォメショナルデザイン	メディアデザイン演習6-b ブランディング		
専攻科目 54単位	領域指定科目 54単位			メディアデザイン演習3 情報デザイン/構造デザインへの応用1 Web制作基礎 ＊領域共通科目	メディアデザイン演習4 情報デザイン/構造デザインへの応用2 Web制作応用 ＊領域共通科目	メディアデザイン演習7-a ドキュメンタリーの企画 ＊領域共通選択科目	メディアデザイン演習8-a ドキュメンタリーの実制作 ＊領域共通選択科目		
						メディアデザイン演習7-b インタフェース研究1 ＊領域共通選択科目	メディアデザイン演習8-b インタフェース研究2 ＊領域共通選択科目		
						メディアデザイン演習7-c モーショングラフィックス ＊領域共通選択科目	メディアデザイン演習8-c インスタレーション(メディアデザインにおける空間展示) ＊領域共通選択科目		
						メディアデザイン演習7-d パース(背景美術) ＊領域共通選択科目	メディアデザイン演習8-d ポートフォリオスケッチ・デッサン ＊領域共通選択科目		
				選択 2科目4単位 選択履修					
			メディアデザイン概論1 メディアの歴史	メディアデザイン論1 写真史	メディアデザイン論2 グラフィックデザイン史	メディアデザイン論3 映画史	メディアデザイン論4 アニメーション史		

芸術学科 メディアデザイン領域 映像・放送コース
平成26(2014)年度以降入学生 スタンダードカリキュラム

		専門導入課程		専門基盤課程				専門研究課程	
		1年		2年		3年		4年	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
専門科目／54単位	／必修 10単位							卒業研究1	卒業研究2
		基礎造形実習1A 描写基礎 ＊領域共通科目	基礎造形実習3A グラフィック デザイン基礎 ＊領域共通科目	メディアデザイン 実習 1-ac テレビ番組の 企画と制作	メディアデザイン 実習 2-c サウンド実習	メディアデザイン 実習 5-c ドキュメンタリー 作品制作	メディアデザイン 実習 6-c 映像の実験		
		基礎造形実習2D 写真基礎 ＊領域共通科目	基礎造形実習4D 映像・ アニメーション基礎 ＊領域共通科目	メディアデザイン 実習 3-cd 人形アニメ(カメラ ワーク、絵コンテ)	メディアデザイン 実習 4-c 実写映像の撮影、 編集技法	メディアデザイン 実習 7-c シナリオ制作	メディアデザイン 実習 8-c 自由なテーマスタ イルによる制作		
		メディアデザイン 基礎演習 1 写真・GD ＊領域共通科目	メディアデザイン 基礎演習 2 シナリオ・絵コンテ ＊領域共通科目	メディア デザイン演習 1 Webサイト企画 ＊領域共通科目	メディア デザイン演習 2 Webサイト制作 ＊領域共通科目	メディアデザイン 演習 5-c 映像社会学	メディアデザイン 演習 6-c 作家研究		
				メディア デザイン演習 3 情報デザイン/構造デザインへの応用1 Web制作基礎 ＊領域共通科目	メディア デザイン演習 4 情報デザイン/構造デザインへの応用2 Web制作応用 ＊領域共通科目	メディア デザイン演習 7-a ドキュメンタリーの企画 ＊領域共通選択科目	メディア デザイン演習 8-a ドキュメンタリーの実制作 ＊領域共通選択科目		
芸術応用科目 ／10単位	領域指定科目／54単位					メディア デザイン演習 7-b インタフェース研究1 ＊領域共通選択科目	メディア デザイン演習 8-b インタフェース研究2 ＊領域共通選択科目		
						メディア デザイン演習 7-c モーショ ングラフィックス ＊領域共通選択科目	メディア デザイン演習 8-c インスタレーション(メディア デザインにおける空間展示) ＊領域共通選択科目		
						メディア デザイン演習 7-d パース(背景美術) ＊領域共通選択科目	メディア デザイン演習 8-d ポートフォリオ スケッチ・デッサン ＊領域共通選択科目		
		メディア デザイン概論1 メディアの歴史	メディア デザイン論3 映画史	メディア デザイン論4 アニメーション史	メディア デザイン論1 写真史	メディア デザイン論2 グラフィックデザイン史			

芸術学科 メディアデザイン領域 アニメーション・CGコース
平成26(2014)年度以降入学生 スタンダードカリキュラム

専門導入課程				専門基盤課程				専門研究課程	
		1年		2年		3年		4年	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
専門科目／54単位	／必修 単科目							卒業研究1卒業研究2	
		基礎造形実習1A 描写基礎 ＊領域共通科目	基礎造形実習3A グラフィック デザイン基礎 ＊領域共通科目	メディアデザイン 実習1-d 3DCG基礎	メディアデザイン 実習2-d VFX(After Effects& 3ds Max)	メディアデザイン 実習5-d キャラクター デザイン	メディアデザイン 実習6-d 企画構想 イメージボード		
		基礎造形実習2D 写真基礎 ＊領域共通科目	基礎造形実習4D 映像・ アニメーション基礎 ＊領域共通科目	メディアデザイン 実習3-cd 人形アニメ(カメラ ワーク、絵コンテ)	メディアデザイン 実習4-d 作画基礎(RETAS!)	メディアデザイン 実習7-d 作品制作・ グループワーク <地域貢献>	メディアデザイン 実習8-d 作品制作		
		メディアデザイン 基礎演習1 写真・GD ＊領域共通科目	メディアデザイン 基礎演習2 シナリオ・絵コンテ ＊領域共通科目	メディア デザイン演習1 Webサイト企画 ＊領域共通科目	メディア デザイン演習2 Webサイト制作 ＊領域共通科目	メディアデザイン 演習5-d キャラクター デザイン	メディアデザイン 演習6-d 絵本制作		
				メディア デザイン演習3 情報デザイン/構造デザインの応用1 Web制作基礎 ＊領域共通科目	メディア デザイン演習4 情報デザイン/構造デザインの応用2 Web制作応用 ＊領域共通科目	メディア デザイン演習7-a ドキュメンタリーの企画 ＊領域共通選択科目	メディア デザイン演習8-a ドキュメンタリーの実制作 ＊領域共通選択科目		
専門科目／54単位	領域指定科目／54単位			選択 2科目4単位 選択履修		メディア デザイン演習7-b インタフェース研究1 ＊領域共通選択科目	メディア デザイン演習8-b インタフェース研究2 ＊領域共通選択科目		
		メディア デザイン演習7-c モーショ ングラフィックス ＊領域共通選択科目	メディア デザイン演習8-c インスタレーション(メディア デザインにおける空間展示) ＊領域共通選択科目						
		メディア デザイン演習7-d パース(背景美術) ＊領域共通選択科目	メディア デザイン演習8-d ポートフォリオ スケッチ・デッサン ＊領域共通選択科目						
芸術応用科目 ／10単位		メディア デザイン概論1 メディアの歴史		メディア デザイン論3 映画史		メディア デザイン論4 アニメーション史		メディア デザイン論1 写真史	
						メディア デザイン論2 グラフィックデザイン史			

■ 空間デザイン領域人材育成目標について

生活の基本要素である「衣」・「モノ」・「住」をキーワードに、素材と向き合い、ものごとやしくみを形に表現する力を育み、「発見」から「表現」「構築」、さらには社会に対して多様な価値を提案できる人材を育成します。

■ 空間デザイン領域の特色・各課程での学びについて

空間デザイン領域が対象とする分野は、雑貨・衣服・テキスタイル・機器・家具・住宅など私たちの生活を取り巻くあらゆるものにおよんでいます。公共空間やショップ、プランディング、身体表現、素材づくりからインスタレーションまで空間を創造し表現するための分野を横断的に学ぶことができます。

● 専門導入課程（1年生）

1年次では立体・素材・人体を中心に発想や造形など、2年次以降それぞれの専門を学ぶために必要な共通の基礎を学びます。あらゆるものごとに対する好奇心を大切に、発見から発想につなげることのできる能力を養います。

● 専門基盤課程（2～3年生）

2～3年次では専門の知識や技能を習得し、独自の考え方と視点を獲得します。また社会と自分を深く見つめることで問題や制作に向きあう姿勢を身につけ、4年次での自律的な研究過程に備えます。

● 専門研究課程（4年生）

4年次では、自らの進路を見すえて自律的に研究を行い、社会に対して具体的な提案を行います。自ら企画して行動に起こし成し遂げる、世の中で必要とされる人材をめざします。

芸術学科 空間デザイン領域 平成26(2014)年度以降入学生

カリキュラム		単位数			授業形態	開講期・年次				特記事項	取得可能ライセンス	受講方法
		必修	指定	選択		1年	2年	3年	4年			
専門導入科目	基礎造形実習1 A		2		実習	○						基礎造形実習1～4 計8単位を修得すること
	基礎造形実習2 A		2		実習	○				*学科共通科目 空間デザイン領域開講科目		
	基礎造形実習3 A		2		実習	○				*学科共通科目 空間デザイン領域開講科目		
	基礎造形実習4 A		2		実習	○				*学科共通科目 空間デザイン領域開講科目		
	基礎造形実習2 B		2		実習	○						
	基礎造形実習4 B		2		実習	○						
	基礎造形実習3 C		2		実習	○						
	基礎造形実習4 C		2		実習	○						
	基礎造形実習2 D		2		実習	○						
	基礎造形実習4 D		2		実習	○						
	基礎造形実習1 E		2		実習	○				*学科共通科目 空間デザイン領域開講科目		
	空間基礎演習1		2		演習	○				領域共通科目		
	空間基礎演習2		2		演習	○				領域共通科目		
専門・基盤科目	空間デザイン演習5		2		演習			○		領域共通科目		領域共通および 各コースの専門基盤科目 32単位を修得すること
	空間デザイン演習7		2		演習			○		領域共通科目		
	空間デザイン演習1-a		2		演習		○			住環境デザインコース科目		
	空間デザイン演習2-a		2		演習		○			住環境デザインコース科目		
	空間デザイン演習3-a		2		演習		○			住環境デザインコース科目	プロダクトコンピュータルームライセンス	
	空間デザイン演習4-a		2		演習		○			住環境デザインコース科目	プロダクトコンピュータルームライセンス	
	空間デザイン演習6-a		2		演習			○		住環境デザインコース科目		
	空間デザイン演習8-a		2		演習			○		住環境デザインコース科目		
	空間デザイン実習1-a		2		実習		○			住環境デザインコース科目		
	空間デザイン実習2-ab		2		実習		○			住環境デザインコース科目		
	空間デザイン実習3-a		2		実習		○			住環境デザインコース科目		
	空間デザイン実習4-ab		2		実習		○			住環境デザインコース科目		
	空間デザイン実習5-a		2		実習			○		住環境デザインコース科目		
	空間デザイン実習6-ab		2		実習			○		住環境デザインコース科目		
	空間デザイン実習7-a		2		実習			○		住環境デザインコース科目		
	空間デザイン実習8-a		2		実習			○		住環境デザインコース科目		
	空間デザイン演習1-b		2		演習		○			プロダクトデザインコース科目		
	空間デザイン演習2-b		2		演習		○			プロダクトデザインコース科目	プロダクトコンピュータルームライセンス	
	空間デザイン演習3-b		2		演習		○			プロダクトデザインコース科目		
	空間デザイン演習4-b		2		演習		○			プロダクトデザインコース科目	プロダクトコンピュータルームライセンス	
	空間デザイン演習6-b		2		演習			○		プロダクトデザインコース科目		
	空間デザイン演習8-b		2		演習			○		プロダクトデザインコース科目		
	空間デザイン実習1-b		2		実習		○			プロダクトデザインコース科目		
	空間デザイン実習2-ab		2		実習		○			プロダクトデザインコース科目		
	空間デザイン実習3-b		2		実習		○			プロダクトデザインコース科目		
	空間デザイン実習4-ab		2		実習		○			プロダクトデザインコース科目	プロダクトコンピュータルームライセンス	
	空間デザイン実習5-b		2		実習			○		プロダクトデザインコース科目		
	空間デザイン実習6-ab		2		実習			○		プロダクトデザインコース科目		
	空間デザイン実習7-b		2		実習			○		プロダクトデザインコース科目		
	空間デザイン実習8-b		2		実習			○		プロダクトデザインコース科目		
	空間デザイン演習1-c		2		演習		○			コスチュームデザインコース科目		
	空間デザイン演習2-c		2		演習		○			コスチュームデザインコース科目		
	空間デザイン演習3-c		2		演習		○			コスチュームデザインコース科目		
	空間デザイン演習4-c		2		演習		○			コスチュームデザインコース科目		
	空間デザイン演習6-c		2		演習			○		コスチュームデザインコース科目		
	空間デザイン演習8-c		2		演習			○		コスチュームデザインコース科目		
	空間デザイン実習1-c		2		実習		○			コスチュームデザインコース科目		
	空間デザイン実習2-c		2		実習		○			コスチュームデザインコース科目		
	空間デザイン実習3-c		2		実習		○			コスチュームデザインコース科目		
	空間デザイン実習4-c		2		実習		○			コスチュームデザインコース科目		
	空間デザイン実習5-c		2		実習			○		コスチュームデザインコース科目		
	空間デザイン実習6-c		2		実習			○		コスチュームデザインコース科目		
	空間デザイン実習7-c		2		実習			○		コスチュームデザインコース科目		
	空間デザイン実習8-c		2		実習			○		コスチュームデザインコース科目		
科研専門	卒業研究1		4		演習				○			領域の専門分野を選択して 10単位を修得すること
	卒業研究2		6		演習				○			
芸術応用科目	空間デザイン概論		2		講義	○						空間デザイン概論、 空間デザイン論1を 修得すること
	空間デザイン論1		2		講義		○					
	空間デザイン論2A		2		講義			○				
	空間デザイン論2B		2		講義			○				
	空間デザイン論2C		2		講義			○				空間デザイン論2A～2Fより 3科目6単位を修得すること
	空間デザイン論2D		2		講義			○				
	空間デザイン論2E		2		講義			○				
	空間デザイン論2F		2		講義			○				

芸術学科 空間デザイン領域 住環境デザインコース
平成26(2014)年度以降入学生 スタンダードカリキュラム

		専門導入課程		専門基盤課程				専門研究課程	
		1年		2年		3年		4年	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
専門科目／54単位	／必修科目 10単位 ↑ 領域指定科目／54単位 ↓							卒業研究1	卒業研究2
		基礎造形実習1 E 布の立体造形 ＊領域共通科目	基礎造形実習2 A 群造形(柱・壁・床) ＊領域共通科目	空間デザイン実習1-a 小公園 フォーリー	空間デザイン実習3-a グリッドによるレストラン	空間デザイン実習5-a 子供のための空間/ 福祉空間	空間デザイン実習7-a 住宅の計画～ 非日常／多世代		
		基礎造形実習3 A ワンボード家具／ 型による造形 ＊領域共通科目	基礎造形実習4 A 織・染・バスケットリー・ 空間表現 ＊領域共通科目	空間デザイン実習2-ab 家具 身体を支える	空間デザイン実習4-ab ディスプレイ／ ショップ	空間デザイン実習6-ab 照明器具 照明計画	空間デザイン実習8-a 公共空間／ インテリア		
／応用科目 10単位		空間デザイン基礎演習1 フィールドワーク・ リサーチマッピング ＊領域共通科目	空間デザイン基礎演習2 断面図法と 空間ドローイング ＊領域共通科目	空間デザイン演習1-a ヨシの造形	空間デザイン演習3-a ドローイング 3D	空間デザイン演習5 ブランド プロデュース	空間デザイン演習7 ショップ プロデュース		
				空間デザイン演習2-a 模型・トレース	空間デザイン演習4-a 建築透視図法	空間デザイン演習6-a 建築製図	空間デザイン演習8-a ポートフォリオ		
		空間デザイン概論 空間デザイン入門		空間デザイン論1 マーケティング論	空間デザイン論2A ファッション デザイン論 選択	空間デザイン論2C ユーザー インタフェース論 選択	空間デザイン論2D 現代建築家論 選択		
		選択 1科目2単位 選択履修		空間デザイン論2B 空間表現論 選択	空間デザイン論2E 生産技術論 選択	空間デザイン論2F インテリアデザイン史 選択			

芸術学科 空間デザイン領域 プロダクトデザインコース
平成26(2014)年度以降入学生 スタンダードカリキュラム

		専門導入課程		専門基盤課程				専門研究課程	
		1年		2年		3年		4年	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
専門科目／54単位	／必修 10単位 ↑ 領域指定科目／54単位 ↓							卒業研究1	卒業研究2
		基礎造形実習1E 布の立体造形 ＊領域共通科目	基礎造形実習2A 群造形(柱・壁・床) ＊領域共通科目	空間デザイン実習1-b PD基礎～ 平面レイアウト・見立て・機構	空間デザイン実習3-b 商品企画・ウェブショップ～ 雑貨、アクセサリ／ キャラクターデザイン	空間デザイン実習5-b 生活機器の デザイン	空間デザイン実習7-b パブリックデザイン～ パーソナルトランス ポーション		
		基礎造形実習3A ワンボード家具／ 型による造形 ＊領域共通科目	基礎造形実習4A 織・染・バスケットリ・ 空間表現 ＊領域共通科目	空間デザイン実習2-ab 家具 身体を支える	空間デザイン実習4-ab ディスプレイ／ ショップ	空間デザイン実習6-ab 照明器具 照明計画	空間デザイン実習8-b リサーチ&デザイン ユニバーサルデザイン		
		空間デザイン基礎演習1 フィールドワーク・ リサーチマッピング ＊領域共通科目	空間デザイン基礎演習2 断面図法と 空間ドローイング ＊領域共通科目	空間デザイン演習1-b スケッチ& モデリング	空間デザイン演習3-b 椅子実測図面	空間デザイン演習5 ブランド プロデュース	空間デザイン演習7 ショップ プロデュース		
／応用 10単位				空間デザイン演習2-b 工業製図・CAD	空間デザイン演習4-b ライノセロス 3DCG	空間デザイン演習6-b 先端技術 ワークショップ	空間デザイン演習8-b ユーザー インタフェース		
		空間デザイン概論 空間デザイン入門	空間デザイン論1 マーケティング論	空間デザイン論2A ファッション デザイン論	空間デザイン論2C ユーザー インタフェース論	空間デザイン論2D 現代建築家論	選択 1科目2単位 選択履修		
			空間デザイン論2B 空間表現論	空間デザイン論2E 生産技術論	空間デザイン論2F インテリアデザイン史				

芸術学科 空間デザイン領域 コスチュームデザインコース
平成26(2014)年度以降入学生 スタンダードカリキュラム

		専門導入課程		専門基盤課程				専門研究課程	
		1年		2年		3年		4年	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
専攻科目 54単位	必修科目 10単位							卒業研究1	卒業研究2
	領域指定科目 54単位	基礎造形実習1E 布の立体造形 ＊領域共通科目	基礎造形実習2A 群造形(柱・壁・床) ＊領域共通科目	空間デザイン実習1-c 服飾造形基礎1～ミシン縫製	空間デザイン実習3-c 服飾造形基礎2～オリジナルコスチューム	空間デザイン実習5-c 服飾造形表現1～オリジナルコスチューム	空間デザイン実習7-c 進級制作		
	応用科目 10単位	基礎造形実習3A ワンボード家具／型による造形 ＊領域共通科目	基礎造形実習4A 織・染・バスケットリー・空間表現 ＊領域共通科目	空間デザイン実習2-c 染織造形基礎1～染	空間デザイン実習4-c 染織造形基礎2～織	空間デザイン実習6-c 服飾造形表現1～素材/インスレーション	空間デザイン実習8-c 進級制作		
		空間デザイン基礎演習1 フィールドワーク・リサーチマッピング ＊領域共通科目	空間デザイン基礎演習2 断面図法と空間ドローイング ＊領域共通科目	空間デザイン演習1-c 染織実験	空間デザイン演習3-c 素材加工(ハンドメイキング)	空間デザイン演習5 ブランドプロデュース	空間デザイン演習7 ショッププロデュース		
				空間デザイン演習2-c 服飾芸術演習1～造形表現	空間デザイン演習4-c 服飾芸術演習2～コスチュームアート	空間デザイン演習6-c 舞台芸術演習	空間デザイン演習8-c 市場研究		
		空間デザイン概論 空間デザイン入門		空間デザイン論1 マーケティング論	空間デザイン論2A ファッションデザイン論	空間デザイン論2C 選択 ユーザーインタフェース論	空間デザイン論2D 選択 現代建築家論	選択 1科目2単位 選択履修	
				空間デザイン論2B 空間表現論		空間デザイン論2E 選択 生産技術論	空間デザイン論2F 選択 インテリアデザイン史		

授業の開講について

- (1) 学期
 本学では、1つの学年を前期と後期に分け、学期ごとに単位を修得し、8学期(4年間)を積み重ねて卒業要件を満たす、セメスター制をとっています。
- (2) 授業の開講形式
 各授業科目は、次の3つのうち、いずれかの開講形式をとっています。
- ・ 半期開講：前期または後期の半年間で授業が完結される。
 - ・ 通年開講：前期、後期を継続して授業が行われる。
 - ・ 集中（不定期）開講：前期又は後期に集中的(不定期)に授業が計画される。

授業科目・単位制について

- (1) 授業科目
 本学の授業科目は次のいずれかに指定され、各年次に配当されています。
- 【必修科目】：各領域（コース）専門の学修として修得しなければならない科目
 - 【選択科目】：特定されている科目の中から自由に選んで履修できる科目
 - 【資格課程必修科目】：教育課程以外として取り扱われる資格課程科目
 単位修得があっても卒業要件単位に充当されません。
- (2) 単位制度について
 大学における学修は、単位制で行われています。
- ①単位制
 単位制とは、修業年限（最低4年間）中に、卒業に必要な単位数を修得する制度です。
- ②単位 授業時間
 すべての授業科目に、単位数を設定しています。単位とは、科目を修得するために必要な学修量（時間）を数値で表したものです。本学では、1単位の授業科目を45時間の学修（授業時間＋自習時間）を必要とする内容をもって構成することとし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間に必要な学修等を考慮して次の基準により計算します。
本学では、1時限を2時間として計算しています。

授業種別	学修量
講義演習 2単位科目	原則として30時間の授業時間と60時間の自習時間をもって2単位とする。 (授業2時間＋自習4時間)×15週＝90時間＝2単位
実技実習 2単位科目	原則として90時間の授業時間をもって2単位とする。 (授業6時間)×15週＝90時間＝2単位

- ③単位の認定
 登録した科目を履修し終えた者に対して科目担当者が成績を評価し単位を認定します。
- 1) 単位は、授業科目を履修し、その試験に合格した者に与えられます。
 - 2) 成績評価及び単位認定は、科目担当者が授業中の学修状況や試験で判断されます。
 - 3) 履修した科目の成績は原則として、次学期の登録期間に発表します。
 - 4) 修得した単位を取り消すことはできません。また、再履修もできません。

履修登録

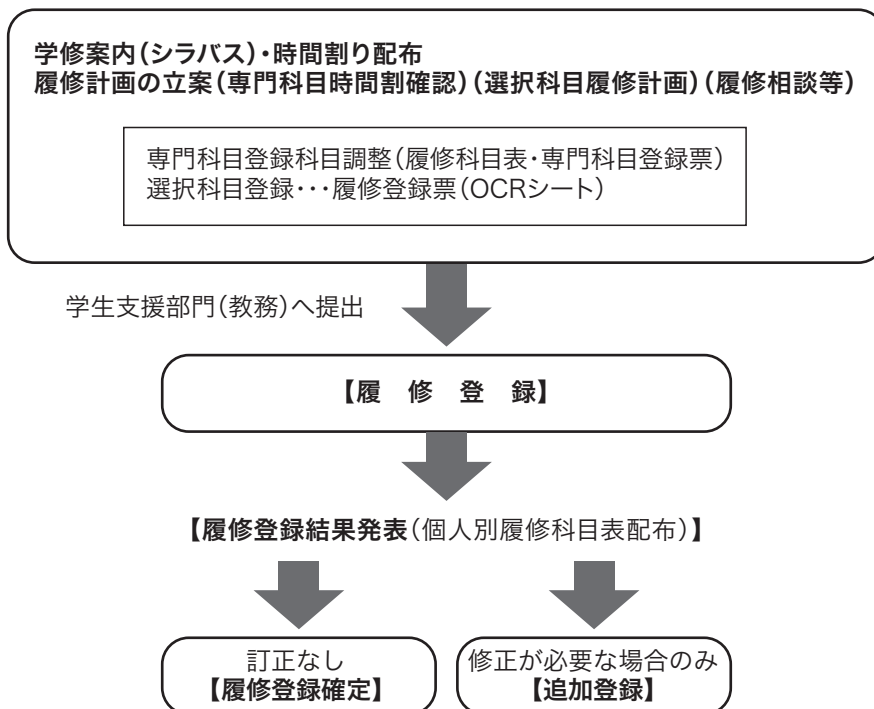
大学における学修の特徴は、多くの授業科目の中から学生一人ひとりが履修科目を選択できることです。大学での学び方を、自らはっきりと定め、履修要項やシラバスを熟読し、時間割表を活用して履修（学修）計画を立てましょう。

(1) 履修登録について

履修登録は、自らの履修（学修）計画に基づき、授業科目について履修（授業を受ける）の意志表示をすることです。履修登録をしていない場合、その科目の履修が許可されません。履修登録ができていないことに気づかずに受講していた場合、受講は無効となり単位も修得できません。

(2) 履修登録の流れ

履修登録する科目は、自ら決定し、登録します。履修登録に関するガイダンスを、前期と後期の学期始めに年2回実施します。履修登録は定められた期間内で行います。



(3) 履修登録の注意点

- ①必ず本人が責任を持っておこなってください。代理手続きは認めません。所定の期日までに履修手続きをおこなわなかった場合は、その学期の履修を放棄したものとみなします。
- ②履修登録は、原則として学期初めにおこないますが、一部、後期履修科目(集中講義など)の登録を年度初めや学期途中におこなう場合もありますので、注意してください。
- ③履修登録した科目以外の履修・単位認定は認められません。
- ④1つの時限に履修登録できる科目は1科目です。同一時限に重複して履修登録した場合は、重複している全ての科目が登録無効となります。(ただし、隔週開講科目を除く)
- ⑤必修の専門科目は、原則として所定年次に配当された科目を履修するものとし、上級年次に配当された科目を履修することはできません。
- ⑥学部共通基本科目(選択科目)は、履修年次を問いませんが、『学修案内(シラバス)』に履修年次が記されているものについては、その年次に履修することを原則とします。
- ⑦すでに単位を修得した科目は、再度履修登録はできません。
- ⑧履修登録が確定後の科目の変更、追加、取り消しは原則として認められません
- ⑨1科目の履修希望者が受講可能人数をこえた場合、受講者数を制限します。
- ⑩半期で履修登録する総単位数は前期後期とも各20単位が適性と判断していますが、24単位を上限として登録を認めています。科目の開講形態により、上限単位を超えて登録できる科目もあります。(通年科目は単位数の1/2で計算)
また、履修指導上必要と認める場合に上限単位数を超えて登録を許可することがあります。なお、「単位互換事業による他大学開講の科目」「博物館に関する科目」および「教職に関する科目」はこの単位数に含みません。
- ⑪学芸員課程、教職課程を履修登録する場合は、事前に履修の届けと納金の手続きを済ませなければなりません。詳しくは各課程のガイダンスを参考にしてください。
- ⑫履修登録後、所定の日時に「履修登録確認表(個人別履修科目表)」を交付します。各自確認をし、修正が必要な場合は所定の期日までに学生支援部門に申し出てください。この確認と申告を怠ったために生じる事態は、すべて学生各自の責任となります。
- ⑬2年生以上の学生で、所属しているコースや領域以外の専門科目を選択科目として履修を希望する場合は、所属する領域および履修を希望する科目の担当教員の許可が必要です。また、願出用紙は各学期の指定された履修登録期間に申し出る必要があります。
- ⑭3年次編入生は、他大学(短期大学などを含む)で修得した単位(既修得単位)のうち62単位を上限に本学で修得した単位として認定します。
- ⑮次に該当する場合、他大学(短期大学などを含む)で修得した単位を本学で修得した単位として認定する場合があります。この場合の認定単位数は、大学コンソーシアム京都・環びわ湖大学連携の単位互換事業における他大学開講授業、および本学の交換留学生制度により留学する外国の大学において修得した単位とあわせて60単位を超えない範囲となります。

- a) 他大学（短期大学などを含む）を卒業し、1年次から本学に入学した場合
（認定は入学時です。必ず単位修得証明書を提出してください）。
- b) 他大学（短期大学などを含む）を中途退学し、1年次から本学に入学した場合
（認定は入学時です。必ず単位修得証明書を提出してください）。
- ⑯次に該当する学生は、履修登録に際して必ず領域教員に履修相談を受けてください。
- a) 前年度に必修科目の単位を修得できなかったため再履修する場合
- b) 過去に修得できなかった必修科目を指定領域外で履修する場合
- ⑰その他、履修に関する相談は、学生支援部門に問い合わせてください。
- *受講登録した学生は、成績評価対象者となります。登録確定した科目については、確実に学修していきましょう。
- (4) 履修の取消について
- 受講した科目の内容やレベルが登録時の予想と違う、健康上の理由で出席できないなどやむを得ない理由で履修中止を希望する場合は、履修取消（中止）届に理由を添えて提出します。
- ①履修の取消は、所定の期間に手続きをしなければなりません。
- 前期・・・4月下旬 後期・・・9月下旬
- ②履修を取り消した科目をその学期中に再登録することはできません。ただし、次学期以降に改めて履修登録することは可能です。
- ③次の科目は原則履修取消ができません。
- ・専門科目
- ・単位互換事業科目（大学コンソーシアム京都・環びわ湖地域コンソーシアム）
- ・資格課程必修科目
- ・インターンシップ科目
- *履修取消科目数が多い学生は、次学期登録時に履修相談をして適正な履修計画について指導を受けてください。

授業

- (1) 授業時間
- 本学の授業時間は、年間を通じて下記の通りです。

1時限	2時限	3時限	4時限	5時限	6時限	7時限
9:10～10:30	10:40～12:00	12:10～13:30	13:35～15:05	15:15～16:45	16:45～18:15	18:30～20:00

- *キャンパスプラザ京都で授業がある科目については、プラザ科目時間となります。
- (2) 授業教室について
- 各学期に配布する全体時間割で確認をしてください。
- (3) 出席
- 授業は、教員と学生が直接人間的なふれあいを通して学問を教え学ぶ場であり、学生生活の基本になるものです。したがって、授業への出席は重要であり、自主的な学問への探究心なくしてその成果を期待することはできません。
- ①本学には、「公欠」等の取り扱いはありません。
- 欠席の場合は、欠席届（学生支援窓口に設置）を担当教員へ提出します。また、欠席分の講義内容・課題は各自で担当者に確認をして補ってください。その科目を受講する意思を確認するものと判断されます。 *学生便覧の教員面談日・連絡先一覧を参照
- ②欠席が続いた場合、長期にわたって欠席する場合は、授業担当教員および学生支援部門と緊密な連絡をとり、その科目の履修と単位の修得に関して十分に相談してください。
- (4) 休講・休業・登校禁止・補講について
- ①授業担当教員や大学の都合により、授業が休講となる場合があります。その場合には、休講掲示で連絡します。また、事情により所定開始時間から30分を経ても授業担当教員が出講しない場合は、「自然休講」となりますが、その場合、必ず学生支援部門に連絡と確認をおこなってください。
- ②法定伝染病等（別表1）の罹患者がした場合、大学全体を休講（登校禁止）することがある。
- ③JRがストライキをおこなっている場合、または、滋賀県大津市南部・北部（両方又はどちらか一方）に気象警報が発令されている場合には、次に示す措置をとります。

気象警報発令時、ストライキによる交通機関不通時の授業の取扱

- 大学に通学するための交通機関（JR等）がストライキを行っている場合、または滋賀県大津市南部・北部（両方又はどちらか一方）に特別警報、暴風警報、暴風雪警報のいずれかが発令された場合には次の処置をとります。
- ・午前7時までにストライキが解決又は特別警報、暴風警報、暴風雪警報のすべてが解除された場合→通常どおり実施します。
- ・午前10時までにストライキが解決又は特別警報、暴風警報、暴風雪警報のすべてが解除された場合
→午前中のみ休講とし、4時限目から通常授業を実施します。
- ・午前10時の時点でストライキが解決又は特別警報、暴風警報、暴風雪警報のすべてが解除されなかった場合→終日休講とします。
- ・授業中に特別警報もしくは暴風警報か暴風雪警報が発令された場合→発令以降、休講とします。
- 1) 地震等による災害により、緊急事態と大学が判断した場合は、前記にかかわらず別途の措置を講ずる場合があります。
- 2) 上記の緊急事態や河川の氾濫、道路の冠水や浸水、また鉄道への影響により大学から自宅への帰宅が困難な場合や「生命・身体に危険が生じる恐れがある」と判断した場合には、学内の安全な場所に避難するなど大学の指示に従ってください。
- 3) これらに関する情報等は成安情報サービス・yahooメールなどでお知らせいたします。
- 非常時には「命を守る行動」を優先してください。市町村などからの避難勧告・避難指示などの情報に留意し、少しでも安全な場所に移動するなどただちに「命を守る行動」をとってください。
- (5) 授業連絡
- 授業に関する連絡は、授業中に連絡事項を伝えるほかに教学掲示板・成安情報サービスの授業連絡等を通じて情報を提供します。
- その他、授業担当者の指示に従ってください。

試験・成績について

- (1) 試験について
試験は科目担当者が、筆記試験、レポート試験、課題作品提出、口頭試問等によりおこないます。試験の実施については、科目の到達目標により時期が異なります。

保留該当者試験

保留該当者試験は、やむを得ない理由で単位の修得が困難であると科目担当者が判断した者に対して行われます。

①保留該当者発表（前期は8月下旬・後期は2月中旬）
科目担当者が保留該当【W】となった科目については再度課題を提出することで再評価を受けることができます。学生現住所へ郵送通知・成安情報サービスの掲示板で学籍番号のみ掲載

②保留該当者試験（前期は9月上旬・後期は2月下旬）
各学期1回行われます。受験する場合は、該当科目について教務窓口で手続きをして各担当者に再評価の依頼をおこないます。手続きを済ませないで課題を直接教員に提出した場合は無効となります。

手続き1) 受験願いの提出 及び受験料納付 (1科目2000円)
手続き2) 課題提出・試験受験

* 保留該当者試験を受験しても学習目標の最低限の理解が得られていないと担当者が判断した場合は不合格【D】となります。

- (2) 評価
①成績通知書に表示する記号は、次のとおりです。

評価	素点		評価基準の目安
	H24入学 1年生～	H23以前入学生 (H24, 25編入生)	
S 秀	100～90	——	学習目標の内容を理解し修得したものと認められる特に秀でた成績
A 優	89～80	100～80	学習目標の内容を理解し修得したものと認められる優れた成績
B 良	79～70	79～70	学習目標の根幹的な部分は理解し修得したものと認められる妥当な成績
C 可	69～60	69～60	学習目標の最低限の理解は得られたものと認められる成績
W 保 留	成績保留	成績保留	保留該当者試験は、やむを得ない理由で単位の修得が困難であると科目担当者が判断
D 不 可	59以下	59以下	学習目標の最低限の理解が得られていないと認められる成績
N 認 定	認 定	認 定	*既修得単位 認定 *一括認定 *指定した資格検定合格者への単位認定

- 1) 平成24年度入学生より5段階評価を導入します。
2) 平成23年度以前入学生は4段階評価です。
3) 平成24、25年年度3年次編入生は4段階評価です。
4) 平成24年度よりR(再試)の取り扱いがなくなります。
5) 平成24年度よりE(放棄)の取扱いがなくなります。
6) 平成24年度より当該科目履修中の表記をT(履修中)に変更します。
- (3) GPA制度について
履修指導にいかすためにGPA (Grade Point Average) の制度を導入します。詳細については、最終項目で紹介します。
- (4) 成績発表
履修科目の成績は、学修状況の記録として単位を修得できなかった科目も含め「成績通知書」に表示され各学期の履修登録期間に配布します。また、学期ごとに保護者(保証人)にも通知します。
成績評価について確認事項がある場合は、次の学期登録期間終了までに所定の様式で申し出ることができます。

進級・卒業について

- (1) 進級について
成績単位の修得状況にかかわらず次の学年に進級します。
- (2) 卒業について
本学に4年以上在学し、規定の単位数を修得しなければなりません。
①卒業に必要な単位数は、次の各号に定めるところにより、124単位以上とする。
②造形基礎科目、造形専門科目、一般教養科目、大学基礎科目、語学教養科目、キャリアデザイン科目、造形プロデュース科目より、60単位以上を修得する
③専門科目より、64単位を修得する
④専門科目より64単位を超えて単位を修得した場合は、前項の単位とすることができる
- (3) 卒業の時期について
①卒業の時期は、後期末（3月）または前期末（9月）です。
②後期末（3月）：後期終了時において卒業要件を充足した場合、卒業とします。
卒業判定結果については、2月下旬に保証人宛に通知します。
③前期末（9月）：前期終了時において卒業要件を充足した場合、卒業とします。
卒業判定結果については、9月上旬に保証人宛に通知します。

卒業見込み証明書発行基準
4年次に進級した学生で一定の科目・単位数の修得要件を満たした者に卒業見込み証明書を発行します。

成安造形大学GPAについて

GPAとは、Grade Point Average（成績加重平均値）のことで、各科目の評点（100点満点）をグレードポイントに換算しなおし、その合計を科目の総単位数で割り、1単位のグレードポイントの平均値を算出するものです。
高校まではすべての学生が同じ教科・科目を履修しますから、単純に成績を比較できました。大学では、個々の学生の所属領域（コース）や目標に応じて、履修する科目を選択する自由度が高く、異なる科目を修得した様々な学生を単純に比較することができません。多様な学習環境を持つ大学では「学ぶ量」だけでなく「学ぶ質」を端的に評価できる指標が必要であり、GPAはそれを提供する方法です。専門性や就学目標からくる履修状況の違いを吸収し、公平さを与えながら学業成績評価の指標として使われるものであり、現在多くの大学でこのポイントを活用して大学での学びを確かなものにする動きがあります。

①履修登録したすべての科目を対象に算出します。単位を修得できなかった不合格科目も成績に加算されます。従って不合格科目が多いとそれだけGPAが低くなります。ただし、履修を取り消した科目、認定科目並びに卒業要件対象外の資格課程必修科目は、算出対象から除きます。

②GPA算出について

H24入学1年生～

素点	評価	グレードポイント
100～90	S（秀）	4
89～80	A（優）	3
79～70	B（良）	2
69～60	C（可）	1
59点以下	D（不可）	0
認定科目 資格課程必修科目		対象外

H23以前入学生（H24、25編入生）

素点	評価	グレードポイント
100～80	A（優）	4
79～70	B（良）	3
69～60	C（可）	2
59点以下	D（不可）	0
放棄	E	対象外
認定科目 資格課程必修科目		対象外

H24入学1年生～

$$\text{GPA} = \frac{\text{Sの修得単位数} \times 4.0 + \text{Aの修得単位数} \times 3.0 + \text{Bの修得単位数} \times 2.0 + \text{Cの修得単位数} \times 1.0}{\text{総履修登録単位数（「D」の単位数含む）}}$$

H23以前入学生（H24、25編入生）

$$\text{GPA} = \frac{\text{Aの修得単位数} \times 4.0 + \text{Bの修得単位数} \times 3.0 + \text{Cの修得単位数} \times 2.0}{\text{総履修登録単位数（「D」の単位数含む）}}$$

- ③GPAの利用について
- ・給付奨学生の適正判断審査の資料として利用します。
 - ・外国人留学生の授業料減免に関する成績審査の資料として利用します。
 - ・その他 GPAポイントが必要な学生の相談に応じます。

芸術学部芸術学科

平成26(2014)年度以降入学生

平成25(2013)年度以前入学生
カリキュラム

共通教育センター科目

学芸員課程科目

教職課程科目

二級建築士受験資格講座科目

人材育成目的

「芸術による社会への貢献」という大学の理念の下、変化する時代に対応し、次代をしなやかに切り開き、アートとデザインを通して社会に新しい価値や視点を提供できる人材の育成を目指す。

ディプロマポリシー（学位授与方針）

デザイン・美術・工芸分野の諸領域を包括的に芸術ととらえ、その芸術の理論と実践、それらの歴史的・理論的研究、支援・普及の手法の研究をすすめ、専門分野に特化したスペシャリスト、幅広い知識と技能を身に付けたジェネラリスト、バランス感覚に優れたクリエイターの育成を教育目標とした、各専門分野を横断して学べるカリキュラムを編成し、卒業までに所定の単位を修めた学生に対し卒業を認定し、学位（芸術学士）を授与する。

カリキュラムポリシー（教育課程編成方針）

芸術学科のカリキュラムは造形基本科目、造形専門科目、一般教養科目、大学基礎科目、語学教養科目、キャリアデザイン科目、造形プロデュース科目、専門科目の8科目に分かれる。カリキュラムの根幹は造形教育を中心とした専門科目にある。1年次においては学科で共通の造形演習と実習を行う。2年次からは本学科の中核で造形分野を5領域、13のモデルコースに分けてそれぞれ専門性を深めていく。しかし、ひとつのコースに限定するのではなく、学生個々の志向性に合せ、他の領域、コースの専門実習も受講することもできる。造形基本科目、造形専門科目、一般教養科目、大学基礎科目、語学教養科目、キャリアデザイン科目、造形プロデュース科目の7科目は専門科目を補い、造形表現力にとどまらず社会人として通用する生きる力、いわゆる人間力を持った学生を育成する。

- (1) 造形基本科目、造形専門科目
必修科目で造形実習を学ぶにあたって、ものづくりの思想的な根幹や歴史、現代の様相など幅広い知識を修得する。
- (2) 一般教養科目、大学基礎科目、語学教養科目。
ものづくりにとどまらず広く視線を外へ向け、国際交流や異文化理解も含めて幅広く深い教養を身につける。
- (3) キャリアデザイン科目、造形プロデュース科目
実社会での実践を通して能力開発を行う。2年次では実社会を意識し、仮想体験や社会常識等の知識を得、3年次・4年次ではプロジェクト等を通して実社会を体験する。
- (4) 専門科目
専門科目は芸術学科に5つの領域を設け、各領域で芸術表現における目標設定を行っている。
1年次においては全領域共通で演習・実習が行なわれ、平面・立体、メディア表現など様々な表現形態に触れ、造形表現の基本を徹底的に学ぶ。2年次・3年次は各領域に分かれ、領域内の共通科目と各コースに分かれた専門の演習・実習科目を履修し、専門性を追求していく。4年次には各専任教員の個別指導となり、4年間の集大成である卒業制作展に向けての仕上げを行う。

科目の種別

卒業するためには、必修の専門科目64単位と選択科目（学部共通基本科目）60単位以上の合計124単位以上を修得しなければなりません。選択科目については、以下の各項にあげた各種の選択科目から自由に履修することができます。科目内容や年次ごとの履修科目数などをよく考えたうえで在学中の履修計画をたててください。

【カリキュラム一覧】

種 別		履修対象		単位
専門科目		必修科目	領域に所属する学生	64単位
学部共通基本科目	造形基本科目群	選択科目	全学の学生	60単位以上
	教養科目群			
	社会実践科目群			
	単位互換事業科目			
卒業するためには…				124単位以上

『学修案内(シラバス)』に履修する学年・学期が記されている科目は、その学年・学期に履修することを原則とします。また、各領域担当教員から履修する学年・学期を指示された場合は、それに従ってください。

1. 専門科目

専門科目とは、各領域がその領域に所属する学生に対して提供する科目で、必修科目として各領域・各コースの専攻分野を修めるために必要不可欠な科目です。各学年・各学期に配当され、各領域とも4学年(8学期)で合計64単位となります。原則として、所定の学年・学期に履修します。なお、領域により、「選択必修科目」があります。この科目は、一定の科目群の中から一定の科目を必ず選択して履修しなければならない科目です。

本学では、より専門分野を追究させる為に所属する領域の必修専門科目に加えて、他領域・他コースの専門科目を履修できる制度を設けています。希望者は、履修登録時に学生支援部門に申し出てください。なお、希望者には履修希望理由に関するレポートが課せられます。ただし、受講学年の制限・前提科目の受講・受講定員などの関係で登録が認められない場合がありますので事前に学生支援部門で確認をしてください。

2. 学部共通基本科目・造形基本科目群（造形基礎科目・造形専門科目）

【造形活動にかかわる専門家としての知識を深める科目群】

この科目群はみなさんの造形活動を支える科目です。1・2年次で履修する基礎科目と1年次から4年次までで履修する専門科目があります。

3. 学部共通基本科目・教養科目群（大学基礎科目・語学教養科目・一般教養科目）

【学びの基礎・考え方の基礎・コミュニケーション力をふかめる科目群】

この科目群の中には学ぶにおいて必要な基礎的な能力を養成するために1・2年次で履修する大学基礎科目と、全学年が対象となる語学を中心としてコミュニケーション能力を育成する語学教養科目、自分が伸ばしたい学問分野について学ぶことができる全学年自由選択の一般教養科目が用意されています。

また、発展科目として大学コンソーシアム京都・環びわ湖大学連携による単位互換科目があります。(単位互換科目については別に登録用の冊子を参照してください。)

4. 学部共通基本科目・社会実践科目群（キャリアデザイン科目・造形プロデュース科目）

【社会への貢献を実現する科目群】

自分の将来の姿を現実近づけるための、キャリア支援科目と芸術による社会への貢献を実現するプロジェクトを単位化する造形プロデュース科目があります。

5. 学芸員資格取得に関する科目

学芸員資格取得に関する科目は、必修科目と選択科目に分かれます。必修科目は、博物館法をはじめとする関連諸法規にもとづいて開講されています。また、選択科目は、指定された科目を指します。

「学芸員課程履修届」を提出した学生しか履修することはできません。また、これらの必修科目を卒業に必要な単位として算入することはできません。

6. 教員免許状取得に関する科目

教員免許状取得に関する科目は、必修科目と選択科目に分かれます。必修科目は、教育職員免許法をはじめとする関連諸法規にもとづいて開講されます。また、選択科目は、指定された科目を指します。

教員免許状取得に関する科目は、「教職課程履修届」を提出して教員免許状取得を希望する学生以外は履修できない科目が多いので、注意が必要です。また、教員免許状取得に関する科目は、卒業のために必要な単位に算入することができない科目が多いことにも注意してください。

7. 二級建築士・木造建築士の受験資格

空間領域の住環境デザインコースの学生は、必修の専門科目(64単位)に加え、選択科目の中の指定された科目を履修することで、二級建築士および木造建築士の受験資格(実務経験0年)を得ることができます。

総合領域

平成25(2013)年度以前入学生

総合領域の人材育成

芸術・文化・社会について、総合的かつ横断的に学ぶ中から、造形力や広い視野と基礎力を修得し、社会動向に即応しながら「コト」や「モノ」を複合的に「デザイン」することで、新たな価値創造の推進ができる人材を育成する。

総合領域の特色・開講科目

新しいものの見方や、柔軟な発想を与えてくれるアート&デザインの力は、ものづくりや地域活性化の現場などで、いま非常に注目されています。総合領域の目的は、この力を最大限に活用し、人々の日常生活や社会をより豊かで実りあるものへ、「コト」や「モノ」を複合的に繋ぎ構築することです。

そのために、芸術や文化についての知識・コミュニケーション能力・造形力・社会や経済に対する感覚などを総合的に高め、新しい価値創造ができる「提案力」を育成していきます。

また、4年間を通じて他領域科目を横断的に学び、自分の志向性や研究テーマに合わせて自由にカリキュラムを組んでいくことができます。プロジェクト系科目に積極的に参加し、その推進役としてのリーダーシップを養うことも期待します。

あらゆる可能性と拡張性を備えた総合領域で、自分だけの未来をきりひらいてくれることを願っています。

芸術学科 総合領域(デザインプロデュースコース) 平成25(2013)年度以前入学生

カリキュラム		単位数			授業形態	開講期・年次				特記事項	取得可能ライセンス	専門科目卒業要件
		必修	選択必修	選択		1年	2年	3年	4年			
	基礎造形実習1 A		2		実習	○						①各領域の履修計画に基づき、基礎造形実習1～4 計8単位を修得すること*教職課程履修者は1 A・2 A(又は彫刻演習)・3 A・4 A(又は工芸演習)計8単位を2年生修了までに修得すること
	基礎造形実習2 A		2		実習	○						
	基礎造形実習3 A		2		実習	○						
	基礎造形実習4 A		2		実習	○						
	基礎造形実習1 B		2		実習	○						
	基礎造形実習2 B		2		実習	○						
	基礎造形実習3 B		2		演習	○						
	基礎造形実習4 B		2		演習	○						
	総合基礎演習1	2			演習	○				*学科共通科目		②各領域の履修計画に基づき4単位を履修すること
	総合基礎演習2	2			演習	○				*学科共通科目		
	卒業制作	6			実習				○	*学科共通科目		③領域の専門分野を選択して6単位を修得すること
	プロデュース基礎演習1		2		演習	○				デザインプロデュースコース		④領域の専門科目26単位以上修得すること
	プロデュース基礎演習2		2		演習	○				デザインプロデュースコース		
	プロデュース基礎演習3		2		演習		○			デザインプロデュースコース		
	プロデュース基礎演習4		2		演習		○			デザインプロデュースコース		
	造形芸術研究1		2		演習		○			デザインプロデュースコース		
	造形芸術研究2		2		演習		○			デザインプロデュースコース		
	総合プロデュース演習1		2		演習			○		デザインプロデュースコース		
	総合プロデュース演習2		2		演習			○		デザインプロデュースコース		
	総合プロデュース演習3		2		演習				○	デザインプロデュースコース		
	デザイン研究1		2		演習			○		デザインプロデュースコース		
	デザイン研究2		2		演習			○		デザインプロデュースコース		
	総合文化研究1		2		演習				○	デザインプロデュースコース		
	総合文化研究2		2		演習				○	デザインプロデュースコース		
			2					○		*1～2年次配当科目から選択履修すること		⑤他領域の専門科目を20単位以上修得すること
			2					○				
			2					○				
			2					○				
			2						○	*1～3年次配当科目から選択履修すること		
			2						○			
			2						○			
			2						○			
			2						○	*1～4年次配当科目から選択履修すること		
			2						○			
			2						○			
			2						○			
	デザインプロデュース演習1～5		各2		演習	○	○	○	○	デザインプロデュースコース		
	デザインプロデュース実習1～5		各1		実習	○	○	○	○	デザインプロデュースコース		

芸術学科 総合領域 デザインプロデュースコース

平成25(2013)年度以前入学生 スタンダードカリキュラム

総合的基礎力の育成		プロデュース力の育成と強化					
国語力／歴史文化の教養／地域社会の文化や伝統／経済や流通／コミュニケーション能力／プレゼンテーション能力／フィールドワークにおける調査能力／ITスキル ＋各領域における基礎実技を複数選択 ＋プロデュース基礎		企画提案力／プロデュース力 ＋地域社会やメディアとの連携によって、実践的な課題に取り組む					
1年	実4＋演4＝16単位	2年	実4＋演4＝16単位	3年	実4＋演4＝16単位	4年	実2＋演3＋卒1＝16単位
前	後	前	後	前	後	前	後
プロデュース基礎演習1 言葉によるコミュニケーション	プロデュース基礎演習2 プレゼンテーション	プロデュース基礎演習3 情報収集と編集デザイン	プロデュース基礎演習4 商品デザイン・ブランドの調査研究	総合プロデュース演習1 コトをデザインするための調査	総合プロデュース演習2 コトをデザインするためのプロトタイプ制作	総合プロデュース演習3 自治体の文化研究	卒業制作
		造形芸術研究1 メディア・プロデュース論	造形芸術研究2 商品開発の流れを知る	デザイン研究1 広告表現・クリエイティブ	デザイン研究2 コンセプト＆プランニング	総合文化研究1 企業文化研究から企画へ 総合文化研究2 企業文化研究から地域文化へ	
基礎造形実習1A/B 基礎的造形力育成	基礎造形実習2A/B 基礎的造形力育成	1～2年生対象の他領域専門科目(実習、演習)	1～2年生対象の他領域専門科目(実習、演習)	1～3年生対象の他領域専門科目(実習、演習)	1～3年生対象の他領域専門科目(実習、演習)	1～3年生対象の他領域専門科目(実習、演習)	
基礎造形実習3A/B 基礎的造形力育成	基礎造形実習4A/B 基礎的造形力育成	1～2年生対象の他領域専門科目(実習、演習)	1～2年生対象の他領域専門科目(実習、演習)	1～3年生対象の他領域専門科目(実習、演習)	1～3年生対象の他領域専門科目(実習、演習)	1～3年生対象の他領域専門科目(実習、演習)	
総合基礎演習1 表現方法の基礎	総合基礎演習2 表現方法の基礎						
デザインプロデュース演習1～5 デザインプロデュース実習1～5							
PC基礎演習1 基礎的なPCスキル	PC基礎演習2 基礎的なPCスキル						
プロジェクト演習 プロジェクト特別実習	プロジェクト演習 プロジェクト特別実習	プロジェクト演習 プロジェクト特別実習	プロジェクト演習 プロジェクト特別実習	プロジェクト演習 プロジェクト特別実習	プロジェクト演習 プロジェクト特別実習	プロジェクト演習 プロジェクト特別実習	

*他領域専門科目には、それぞれ受講定員があります。また、履修要件(取得済みライセンス等)が必要な科目もあるので、来年度以降に履修予定の科目の履修要件(ライセンス等)を考慮し、4年間の履修計画をしっかりと立てること。

*他領域専門科目の受講定員や履修要件については、履修ガイダンス等で確認すること。

イラストレーション領域の人材育成

ハンドドローイング・デザイン・デジタル表現の3つの大きな流れを融合させながら、コミュニケーションを目的としたビジュアルコンテンツの創作能力を備えた、総合的な表現力のある人材を育成する。

イラストレーション領域の特色・開講科目

近代的なポスターを生んだロートレックやミュシャはもちろん、中世ヨーロッパの宗教絵画や日本の絵巻物・浮世絵など、古くからその時代の「絵」が人々の情報伝達を担ってきました。

今日では、広告や書籍、雑誌、WEBから絵本・マンガ・ゲーム・アニメーションなど、各メディアにとって「絵」が不可欠な存在になっています。このように、絵＝イラストレーションは、言語にたよらず情報を伝達する『コミュニケーションアート』である、ととらえて欲しいと思います。

また、作品に触発されて、「笑い」や「歓び」「和み」「親しみ」「楽しさ」「懐かしさ」など、何か湧き上がってくる想いに満たされることがあります。写真や解説文だけでは伝わりにくい、ニュアンス、情感やメッセージが、平易なカタチ、的確なカタチで多くの人々の中にダイレクトに響き、見る人の感情を動かす、イラストレーションは『エンターテインメントアート』として、私たちの暮らしを豊かにし、支えているのです。

描くことによって、楽しみ、理解し、学べることはたくさんあります。イラストレーション領域では、「想いや情報をビジュアル表現として伝える」ために、制作の基礎から順を追ってステップアップしていきます。

デジタル・アナログ両面からの実践的なカリキュラムを通して、視野を広げ、基礎的な力をバランスよく身につけていきます。まずは「人が描ける」「空間が描ける」ことから。それに演出を加え「情景を描く」ステップへ。さらに、これらを構成して「コンテンツとして組み立てられる」力を修得します。

あなたの「可能性を専門性に」、「好きをライフワークへ」と広げるカリキュラムなのです。

系統立てて学んでいくための5つの柱を以下に示します。

1. 「原画力」を高める

ハンドドローイングを創作の原点とし、まず描写の基礎から。よく見ること、描写力を高めること、造形的に表現することから始めます。基礎力と感じる心をしっかりと磨いて、ステップアップしていきます。

2. メディアへの展開

各種メディアの特性を知り、自分の原画をどう活かすかまでを考えます。表現技法のひとつとしての版表現、映像(アニメーションやインタラクティブ表現)、Web、さまざまな印刷物への活用、絵本やキャラクターグッズなど商品化の試作やプレゼンテーションなど、さまざまなメディアへの展開やそのための描写技法を実際の制作を通して学びます。

3. デザインする力

DTP(Desk Top Publishing)を学ぶことにより、グラフィックデザイン的なアプローチとスキルを学びます。よりよいデザインによってイラストレーションとタイポグラフィが効果的に統合され、より明確な伝達機能を発揮します。デザイン工程までをきちんと理解したイラストレーターを育成します。これにより、グラフィックデザイン分野の職業へ進む卒業生もたくさんいます。

4. コンテンツとして演出・構成する

それぞれのメディアの目的を考え、それに沿ったビジュアルを描き、構成する中で、より強いメッセージ性が生まれます。1枚だけでは伝えきれなかったものが、シリーズ展開することで、明確な伝達力や感動力へと昇華していきます。ストーリーのあるマンガや絵本などのコンテンツ制作を学びます。

5. 社会への発信

4年生の卒業制作までに、進級制作展やグループ展、個展、Webサイトなど、さまざまな機会を通して、社会への発信を積極的に行っていきます。また、社会の第一線で活躍されているイラストレーター、クリエイター、編集者の方をお招きして、特別講義なども行います。

私たち絵を描く者は、言葉で思考するのと同様に、描くことで思考しています。ここであらためて絵の力を信じ「自分の目で見て、実感し、イメージして、手で描くこと」を大切に、ハンドドローイングの豊かな味わいと、そこから生まれる喜びを感じていきたいと思えます。自分が描いたもので、人々がポジティブな気持ちになり、喜び、役に立つ。人が喜び、人の役に立つことを自分の喜びとする。そんな、人の心を動かす「想いを伝えるイラストレーション」を発信していきましょう。

芸術学科 イラストレーション領域(イラストレーションコース) 平成25(2013)年度以前入学生

カリキュラム		単位数			授業形態	開講期・年次				特記事項	取得可能ライセンス	専門科目卒業要件
		必修	選択必修	選択		1年	2年	3年	4年			
	基礎造形実習1A		2		実習	○				*学科共通科目 イラスト領域開講科目		①各領域の履修計画に基づき、基礎造形実習1～4計8単位を修得すること *教職課程履修者は1A・2A(又は彫刻実習)・3A・4A(又は工芸実習)計8単位を2年生修了までに修得すること
	基礎造形実習2A		2		実習	○						
	基礎造形実習3A		2		実習	○				*学科共通科目 イラスト領域開講科目		
	基礎造形実習4A		2		実習	○						
	基礎造形実習1B		2		実習	○						
	基礎造形実習2B		2		実習	○				*学科共通科目 イラスト領域開講科目		
	基礎造形実習3B		2		実習	○						②各領域の履修計画に基づき4単位を履修すること
	基礎造形実習4B		2		実習	○				*学科共通科目 イラスト領域開講科目		
	総合基礎演習1	2			演習	○				*学科共通科目		
	総合基礎演習2	2			演習	○				*学科共通科目		③領域の専門分野を選択して6単位を修得すること
	卒業制作	6			実習				○	*学科共通科目		
	イラストレーション基礎演習1		2		演習	○				イラストレーションコース		④領域の専門科目46単位以上修得すること
	イラストレーション基礎演習2		2		演習	○				イラストレーションコース		
	イラストレーション演習1		2		演習		○			イラストレーションコース		
	イラストレーション演習2		2		演習		○			イラストレーションコース		
	イラストレーション演習3		2		演習		○			イラストレーションコース		
	イラストレーション演習4		2		演習		○			イラストレーションコース		
	イラストレーション演習5		2		演習			○		イラストレーションコース		
	イラストレーション演習6-a		2		演習			○		イラストレーションコース 選択履修科目		
	イラストレーション演習6-b		2		演習			○				
	イラストレーション演習6-c		2		演習			○				
	イラストレーション演習6-d		2		演習			○				
	イラストレーション演習6-e		2		演習			○				
	イラストレーション演習6-f		2		演習			○				
	イラストレーション演習6-g		2		演習			○				*a～gから1科目を選択履修すること
	イラストレーション実習1		2		実習	○				イラストレーションコース		
	イラストレーション実習2		2		実習		○			イラストレーションコース		
	イラストレーション実習3		2		実習		○			イラストレーションコース		
	イラストレーション実習4		2		実習		○			イラストレーションコース		
	イラストレーション実習5		2		実習			○		イラストレーションコース		
	イラストレーション実習6		2		実習			○		イラストレーションコース		
	イラストレーション実習7		2		実習			○		イラストレーションコース		
	イラストレーション実習8-a		2		実習			○		イラストレーションコース		
	イラストレーション実習8-b		2		実習			○		イラストレーションコース 選択履修科目		*a又はbから1科目を選択履修すること
	イラストレーション実習9		2		実習				○	イラストレーションコース		
	イラストレーション実習10		2		実習				○	イラストレーションコース		
	イラストレーション論A		2		講義	○				イラストレーションコース		
	イラストレーション論B		2		講義		○			イラストレーションコース		
	イラストレーション論C		2		講義		○			イラストレーションコース		
	イラストレーション論D		2		講義			○		イラストレーションコース		
	イラストレーション論E		2		講義			○		イラストレーションコース		

芸術学科 イラストレーション領域 イラストレーションコース

平成25(2013)年度以前入学生 スタンダードカリキュラム

		1年 描写力／造形基礎 実8＋演8＋講2＝18単位	2年 技法習熟／メディア展開 実8＋演8＋講4＝20単位	3年 応用・探求／構成力 実8＋演4＋講4＝16単位	4年 展開力／社会発信 実10＝10単位	
専門科目／64単位	実習系	基礎造形実習1A 描写基礎(モノクロ) (教職/絵画) 前期のみ 基礎造形実習2B 描写基礎(色材入門) 後期のみ 基礎造形実習3A シンボライズ (グラフィックデザイン入門) (教職/デザイン) 基礎造形実習4B 色彩描画	イラストレーション実習1 3DCG Flash イラストレーション実習3 デジタルイメージング 基礎細密描写 イラストレーション実習2 人体描写応用 (美術解剖学入門) (教職/絵画) イラストレーション実習4 空間描写 (教職/絵画)	イラストレーション実習5 演出構成 イラストレーション実習7 版画応用(版種選択) シルクスクリーン 銅版画 前期のみ イラストレーション実習6 マチエール イラストレーション実習8 版画応用(版種選択) シルクスクリーンor 銅版画 後期のみ	イラストレーション実習9 ゼミごとに展開 前期のみ イラストレーション実習10 ゼミごとに展開 前期のみ 卒業制作 ゼミごとに展開 後期のみ	
	演習系	イラストレーション基礎演習1 画面構成 画材入門 総合基礎演習1 他領域授業選択 イラストレーション基礎演習2 人体描写基礎 (クロッキー) 総合基礎演習2 他領域授業選択	イラストレーション演習3 WEBデザイン イラストレーション演習1 デジタルフォト イラストレーション演習4 DTP基礎 イラストレーション演習2 情報伝達表現	イラストレーション演習5 DTP応用 イラストレーション演習6 (コース内選択) 風景描写 水性画材研究 アニメーション 平成26年度 未開講 乾式画材研究 デジタルイメージング応用 立体イラストレーション 商品イラストレーション		
	講義系	イラストレーション論A イラストレーション概論	イラストレーション論B 視覚認知論 美術解剖論	イラストレーション論C 視覚認知論 メディアイラストレーション	イラストレーション論D 広告論	イラストレーション論E メディア/自己プロデュース
	選択科目／60単位	指定選択科目 コースの枠内で選択可能な科目	コンピュータ基礎演習1 指定選択科目 前期のみ コンピュータ基礎演習2 指定選択科目 後期のみ	イラストレーション特別演習A 平成26年度未開講	イラストレーション特別演習B 絵本制作 前後期 イラストレーション特別演習C 発想ワークショップ 前期	イラストレーション特別演習D ヌードクロッキー 前後期

美術領域の人材育成

「描くこと」「つくること」「表現すること」を基本に、五感を通して自然界や身近な生活を見つめ、豊かな創造力を育み、自らがテーマを設定して制作した成果を社会に向けて発信できるだけの表現力をもつ人材を育成する。

美術領域の特色・開講科目

さまざまな情報が氾濫する今日の社会では、個性や私らしさは流行りもののよう消費され、個人の存在意義を揺るがしかねない状況となっています。このような時代、今こそ自己の在り方を見つめ直し、世界に対する新しい「まなざし」が求められるのではないのでしょうか。アートが担う意味と意義はここにあるのです。美術領域では、美術の基本である「描くこと」「つくること」を通して、身のまわりの世界を見つめることから始まり、アートに必要な基礎体力である技法や素材、表現方法を養います。2年次からの専門コースでは、それぞれの専門的な技能と知識を習得しながら、自由なテーマで制作します。さらに4年次の実習では、それぞれの方向に合わせた個人指導をゼミ的に行い、新しい表現と自身の可能性を探ります。

芸術学科 美術領域(日本画コース、洋画コース、現代アートコース) 平成25(2013)年度以前入学生

カリキュラム	単位数			授業形態	開講期・年次				特記事項	取得可能ライセンス	専門科目卒業要件
	必修	選択必修	選択		1年	2年	3年	4年			
基礎造形実習1A		2		実習	○				*学科共通科目 美術領域開講科目		①各領域の履修計画に基づき、基礎造形実習1～4 計8単位を修得すること *教職課程履修者は1A・2A(又は彫刻実習)・3A・4A(又は工芸実習)計8単位を2年生修了までに修得すること
基礎造形実習2A		2		実習	○				*学科共通科目 美術領域開講科目		
基礎造形実習3A		2		実習	○						
基礎造形実習4A		2		実習	○						
基礎造形実習1B		2		実習	○						
基礎造形実習2B		2		実習	○						
基礎造形実習3B		2		演習	○				*学科共通科目 美術領域開講科目		
基礎造形実習4B		2		演習	○				*学科共通科目 美術領域開講科目		②各領域の履修計画に基づき4単位を履修すること
総合基礎演習1	2			演習	○				*学科共通科目		
総合基礎演習2	2			演習	○				*学科共通科目		③領域の専門分野を選択して6単位を修得すること
卒業制作	6			実習				○	*学科共通科目		
美術基礎演習1		2		演習	○				美術領域共通科目		④領域の専門科目46単位以上修得すること
美術基礎演習2		2		演習	○				美術領域共通科目		
美術演習1		2		演習			○		美術領域共通科目		
美術演習2-a		2		演習			○		日本画コース		
美術演習2-b		2		演習			○		洋画コース		
美術演習2-c		2		演習			○		現代アートコース		
美術演習3-a		2		演習			○		日本画コース		
美術演習3-b		2		演習			○		洋画コース		
美術演習3-c		2		演習			○		現代アートコース		
美術演習4		2		演習				○	美術領域共通科目		
美術演習5-a		2		演習				○	日本画コース		
美術演習5-b		2		演習				○	洋画コース		
美術演習5-c		2		演習				○	現代アートコース		
美術演習6-a		2		演習				○	日本画コース		
美術演習6-b		2		演習				○	洋画コース		
美術演習6-c		2		演習				○	現代アートコース		
美術実習1-a		2		実習			○		日本画コース		
美術実習1-b		2		実習			○		洋画コース		
美術実習1-c		2		実習			○		現代アートコース		
美術実習2-a		2		実習			○		日本画コース		
美術実習2-b		2		実習			○		洋画コース		
美術実習2-c		2		実習			○		現代アートコース	写真暗室ライセンス(モノクロ暗室A・B限定)	
美術実習3-a		2		実習			○		日本画コース		
美術実習3-b		2		実習			○		洋画コース		
美術実習3-c		2		実習			○		現代アートコース		
美術実習4-a		2		実習			○		日本画コース		
美術実習4-b		2		実習			○		洋画コース		
美術実習4-c		2		実習			○		現代アートコース		
美術実習5-a		2		実習				○	日本画コース		
美術実習5-b		2		実習				○	洋画コース		
美術実習5-c		2		実習				○	現代アートコース		
美術実習6-a		2		実習				○	日本画コース		
美術実習6-b		2		実習				○	洋画コース		
美術実習6-c		2		実習				○	現代アートコース		
美術実習7-a		2		実習				○	日本画コース		
美術実習7-b		2		実習				○	洋画コース		
美術実習7-c		2		実習				○	現代アートコース		
美術実習8-a		2		実習				○	日本画コース		
美術実習8-b		2		実習				○	洋画コース		
美術実習8-c		2		実習				○	現代アートコース		
美術実習9				実習				○	美術領域共通科目		
美術実習10				実習				○	美術領域共通科目		
美術論A		2		講義			○		美術領域共通科目		
美術論B		2		講義			○		美術領域共通科目		
美術論C		2		講義				○	美術領域共通科目		
美術論D		2		講義				○	美術領域共通科目		
美術論E		2		講義				○	美術領域共通科目		

■ 芸術学科 美術領域 日本画コース

平成25(2013)年度以前入学生 スタンダードカリキュラム

		1年	実4+演4+講2=20単位		2年	実4+演3=14単位		3年	実4+演3+講2=18単位		4年	実4+卒6+講1=12単位		
		前		後	前		後	前		後	前		後	
必修科目／64単位	実習系	基礎造形実習1A 絵画・平面表現の基礎 教職 ＊領域共通科目		基礎造形実習3B 描写基礎(人物デッサン) ＊領域共通科目	美術実習1a 静物をモチーフにした制作		美術実習3a 植物をモチーフにした制作	美術実習5a 人物制作		美術実習7a 風景制作	美術実習9 各自で課題設定		卒業制作 (領域共通)	
		基礎造形実習2A 彫刻・立体造形の基礎 教職 ＊領域共通科目		基礎造形実習4B コース別課題 曜日選択 α 日本画基礎 β 油彩基礎 γ 現代アート入門	美術実習2a 植物をモチーフにした制作		美術実習1a 動物をモチーフにした制作	美術実習6a コスチューム制作		美術実習8a 自由制作	美術実習10 各自で課題設定			
	演習系	美術基礎演習1 遠近法と色彩 ＊領域共通科目		美術基礎演習2 木工技術 ＊領域共通科目		美術演習1 クリエイター・リアリティ プレゼンテーション ＊領域共通科目		美術演習3a 絹本に描く		美術演習4 日本・現代・美術 ＊領域共通科目		美術演習6a 素材研究 (マテリアルの研究)		
		総合基礎演習1 他領域授業選択		総合基礎演習2 他領域授業選択		美術演習2a 日本画材研究1 (歴史と技法)				美術演習5a 日本画材研究 (絵の具をつくる)				
	講義系	美術論A 近代日本画家研究 ＊領域共通科目		美術論B 比較絵画論 ＊領域共通科目						美術論C(3・4年対象) 現代芸術論、近代以降の日本絵画と視覚文化の研究 ＊領域共通科目		美術論D(3・4年対象) 現代アート概観―「彫刻」をキーワードに ＊領域共通科目		美術論E(3・4年対象) インスタレーションの研究 ＊領域共通科目
選択科目／60単位	指定選択科目	コンピュータ基礎演習1		コンピュータ基礎演習2										
	領域選択科目 この枠を自由に選択可能					造形芸術研究1 総合領域 リレー授業		版画特別実習 シルクスクリーン技法 前期集中講座 2～4年受講可		デザイン研究1 総合領域 リレー授業				

■ 芸術学科 美術領域 洋画コース

平成25(2013)年度以前入学生 スタンダードカリキュラム

		1年 実4＋演4＋講2＝20単位		2年 実4＋演3＝14単位		3年 実4＋演3＋講2＝18単位		4年 実4＋卒6＋講1＝12単位	
		前 後		前 後		前 後		前 後	
必修科目／64単位	実習系	基礎造形実習1A 絵画・平面表現の基礎 教職 ＊領域共通科目	基礎造形実習3B 描写基礎(人物デッサン) ＊領域共通科目	美術実習1b 油彩専門基礎 (卵黄テンペラによる 板絵制作／人物着衣群像)	美術実習3b 古典技法 (グライコ技法による 静物画／カマイコ技法)	美術実習5b 方法論の展開	美術実習7b 自由制作、2 ／進級制作	美術実習9 各自で課題設定	卒業制作 (領域共通)
		基礎造形実習2A 彫刻・立体造形の基礎 教職 ＊領域共通科目	基礎造形実習4B コース別課題 曜日選択 α 日本画基礎 β 油彩基礎 γ 現代アート入門	美術実習2b 油彩による人物描写 (裸婦／人物着衣群像)	美術実習4b 版画技法 (シルクスクリーン技法)	美術実習6b 版画技法 (銅版画・リトグラフ技法)	美術実習8b 自由制作1、2 ／進級制作 大字版画展出品参加(希望者)	美術実習10 各自で課題設定	
	演習系	美術基礎演習1 遠近法と色彩 ＊領域共通科目	美術基礎演習2 木工技術 ＊領域共通科目	美術演習1 クリエイター・リアリティ プレゼンテーション ＊領域共通科目	美術演習3b 近代以降の日本絵画 と視覚文化の研究	美術演習4 日本・現代・美術 ＊領域共通科目	美術演習6b 絵画と写真の視線 について		
		総合基礎演習1 他領域授業選択	総合基礎演習2 他領域授業選択	美術演習2b 芸術と社会性の研究		美術演習5b テーマの発見と 研究計画の立案			
	講義系	美術論A 近代日本画作家研究 ＊領域共通科目	美術論B 比較絵画論 ＊領域共通科目			美術論C(3・4年対象) 現代芸術論、近代以降の日本絵画と視覚文化の研究 ＊領域共通科目	美術論D(3・4年対象) 現代アート概観― 「彫刻」をキーワードに ＊領域共通科目	美術論E(3・4年対象) インスタレーションの研究 ＊領域共通科目	
選択科目／60単位	指定選択科目	コンピュータ基礎演習1	コンピュータ基礎演習2						
	選択科目 （環境・社会・文化・芸術・科学・技術・健康・スポーツ・国際・外国語・キャリア・総合）			造形芸術研究1 総合領域 リレー授業	版画特別実習 シルクスクリーン技法 前期集中講座 2～4年受講可	デザイン研究1 総合領域 リレー授業			

芸術学科 美術領域 現代アートコース スタンダードカリキュラム
平成25(2013)年度以前入学生 スタンダードカリキュラム

		1年	2年	3年	4年
		実4+演4+講2=20単位	実4+演3=14単位	実4+演3+講2=18単位	実4+卒6+講1=12単位
必修科目／64単位	実習系	前 基礎造形実習1A 絵画・平面表現の基礎 教職 ＊領域共通科目	後 基礎造形実習3B 描写基礎(人物デッサン) ＊領域共通科目	前 美術実習1c オブジェ・フィギアの制作 平面イメージの立体化 石・鉄などのハード・ スカルプチャーの技術	後 美術実習3c モデリングによる塑像の 制作 キャスティングの成型技術
		後 基礎造形実習2A 彫刻・立体造形の基礎 教職 ＊領域共通科目	前 基礎造形実習4B コース別課題 曜日選択 α 日本画基礎 β 油彩基礎 γ 現代アート入門	後 美術実習2c 平面表現を考える 写真／版画	前 美術実習4c フィールドワーク・鑑地制作 他者と協働するコラボレ- ションを体験。
	演習系	美術基礎演習1 遠近法と色彩 ＊領域共通科目	美術基礎演習2 木工技術 ＊領域共通科目	美術演習1 ポートフォリオ作成 アーティストステートメント ＊領域共通科目	美術演習3c 空間と表現の多様性を 趣味レーション アーティスト・ステート メントと企画書づくり
		総合基礎演習1 他領域授業選択	総合基礎演習2 他領域授業選択	美術演習2c 芸術家のリサーチと プレゼンテーション ことばと文字や 記号表現の事例研究	美術演習5c アートの著作権の 研究 表現の倫理と関連法
選択科目／60単位	講義系	美術論A 近代日本画作家研究 ＊領域共通科目	美術論B 比較絵画論 ＊領域共通科目	美術論C(3・4年対象) 現代芸術論、近代以 降の日本絵画と視覚 文化の研究 ＊領域共通科目	美術論D(3・4年対象) 現代アート概観— 「彫刻」をキーワードに ＊領域共通科目
	指定選択科目	コンピュータ 基礎演習1	コンピュータ 基礎演習2	デザイン研究1 総合領域 リレー授業	美術論E(3・4年対象) インスタレーション の研究 ＊領域共通科目
選択科目／60単位	指定選択科目	コンピュータ 基礎演習1	コンピュータ 基礎演習2	デザイン研究1 総合領域 リレー授業	
	指定選択科目	コンピュータ 基礎演習1	コンピュータ 基礎演習2	デザイン研究1 総合領域 リレー授業	

平成26(2014)年度以降入学生

平成25(2013)年度以前入学生
美術領域

共通教育センター科目

学芸員課程科目

教職課程科目

二級建築士受験資格講座科目

メディアデザイン領域の人材育成

さまざまなメディアについて基礎から学び応用力を培いながら、複数のメディアをまたぐメディアミックスによる表現の可能性を広げるとともに、社会や文化についての思索を深め、次世代に対応した新しいコミュニケーションを創造できる人材を育成する。

メディアデザイン領域の特色・開講科目

テクノロジーの急激な進化は、人間の情報環境を大きく変え、コミュニケーションのかたちだけでなく、人々の精神や社会構造にも大きな影響を及ぼしています。このような状況下でデザインが取り組むべき役割とは、情報を発信する側と受信する側をつなぐメディアの境界面(インターフェース)を、感性豊かで創造的なものとして提案することです。

メディアデザイン領域では、写真・映像・グラフィック・CGなど、さまざまなメディアについて基礎から学び、メディアミックスによる表現の可能性を広げます。同時に、社会や文化についての思索を深め、次代に対応した新しいコミュニケーションを創造できる人材を育成していきます。

芸術学科 メディアデザイン領域(写真コース、グラフィックデザインコース、アニメーション・CGコース、映像・放送コース) 平成25(2013)年度以前入学生

カリキュラム	単位数			授業形態	開講期・年次				特記事項	取得可能ライセンス	専門科目卒業要件
	必修	選択必修	選択		1年	2年	3年	4年			
基礎造形実習1A		2		実習	○				※学科共通科目 メディアデザイン領域開講科目		①各領域の履修計画に基づき、基礎造形実習1～4 計8単位を修得すること ※教職課程履修者は1A・2A(又は彫刻実習)・3A・4A(又は工芸実習) 計8単位を2年生修了までに修得すること
基礎造形実習2A		2		実習	○						
基礎造形実習3A		2		実習	○				※学科共通科目 メディアデザイン領域開講科目		
基礎造形実習4A		2		実習	○						
基礎造形実習1B		2		実習	○						写真Cライセンス
基礎造形実習2B		2		実習	○				※学科共通科目 メディアデザイン領域開講科目		
基礎造形実習3B		2		実習	○						
基礎造形実習4B		2		実習	○				※学科共通科目 メディアデザイン領域開講科目	映像撮影機材C、アニメーションスタジオAライセンス	
総合基礎演習1	2			演習	○				※学科共通科目		②各領域の履修計画に基づき4単位を履修すること
総合基礎演習2	2			演習	○				※学科共通科目		
卒業制作	6			実習				○	※学科共通科目		③領域の専門分野を選択して6単位を修得すること
メディアデザイン基礎演習1	2			演習	○				メディアデザイン領域共通科目		④領域の専門科目46単位以上修得すること
メディアデザイン基礎演習2	2			演習	○				メディアデザイン領域共通科目		
メディアデザイン基礎演習3	2			演習	○				メディアデザイン領域共通科目		
メディアデザイン基礎演習4	2			演習	○				メディアデザイン領域共通科目		
メディアデザイン演習1	2			演習		○			メディアデザイン領域共通科目	DTPルームライセンス	演習 3～10から前期1科目、後期1科目の計4単位を選択履修すること
メディアデザイン演習2	2			演習		○			メディアデザイン領域共通科目	DTPルームライセンス	
メディアデザイン演習3	2			演習			○				
メディアデザイン演習4	2			演習			○				
メディアデザイン演習5	2			演習			○				
メディアデザイン演習6	2			演習			○				
メディアデザイン演習7	2			演習			○				
メディアデザイン演習8	2			演習			○				
メディアデザイン演習9	2			演習			○				
メディアデザイン演習10	2			演習			○				
メディアデザイン実習1-a	2			実習		○			写真コース	映像サウンド機材C、映像サウンド機材B、映像照明機材B、ブロードキャスティングスタジオ(スタジオ/調整室)、コンピュータスタジオAライセンス	
メディアデザイン実習1-b	2			実習		○			グラフィックデザインコース	DTPルームライセンス	
メディアデザイン実習1-c	2			実習		○			映像・放送コース	映像サウンド機材C、映像サウンド機材B、映像照明機材B、ブロードキャスティングスタジオ(スタジオ/調整室)、コンピュータスタジオAライセンス	
メディアデザイン実習1-d	2			実習		○			アニメ・CGコース	映像サウンド機材C、コンピュータスタジオBライセンス	
メディアデザイン実習2-a	2			実習		○			写真コース	写真コース	
メディアデザイン実習2-b	2			実習		○			グラフィックデザインコース	DTPルームライセンス	
メディアデザイン実習2-c	2			実習		○			映像・放送コース	映像サウンド機材C、コンピュータスタジオAライセンス	
メディアデザイン実習2-d	2			実習		○			アニメ・CGコース	コンピュータスタジオBライセンス	
メディアデザイン実習3-a	2			実習		○			写真コース	写真Bライセンス	
メディアデザイン実習3-b	2			実習		○			グラフィックデザインコース	DTPルームライセンス	
メディアデザイン実習3-c	2			実習					映像・放送コース	映像撮影機材B、映像照明機材B、映像サウンド機材C、映像サウンド機材B、コンピュータスタジオA、ブロードキャスティングスタジオ(スタジオ/調整室)、シンプルスタジオ、写真B(撮影用品)ライセンス	写真B(暗室系、写真コンピュータ用)ライセンス 写真B(スタジオ撮影系)、DTPルームライセンス 映像サウンド機材C、コンピュータスタジオBライセンス 写真B(撮影用品)、アニメーションスタジオA、コンピュータスタジオAライセンス
メディアデザイン実習3-d	2			実習		○			アニメ・CGコース	コンピュータスタジオAライセンス	
メディアデザイン実習4-a	2			実習		○			写真コース	写真B(暗室系、写真コンピュータ用)ライセンス	
メディアデザイン実習4-b	2			実習		○			グラフィックデザインコース	写真B(スタジオ撮影系)、DTPルームライセンス	
メディアデザイン実習4-c	2			実習		○			映像・放送コース	映像サウンド機材C、コンピュータスタジオBライセンス	
メディアデザイン実習4-d	2			実習		○			アニメ・CGコース	写真B(撮影用品)、アニメーションスタジオA、コンピュータスタジオAライセンス	
メディアデザイン実習5-a	2			実習			○		写真コース		
メディアデザイン実習5-b	2			実習			○		グラフィックデザインコース		
メディアデザイン実習5-c	2			実習			○		映像・放送コース		
メディアデザイン実習5-d	2			実習			○		アニメ・CGコース		
メディアデザイン実習6-a	2			実習			○		写真コース		
メディアデザイン実習6-b	2			実習			○		グラフィックデザインコース		
メディアデザイン実習6-c	2			実習			○		映像・放送コース		
メディアデザイン実習6-d	2			実習			○		アニメ・CGコース		
メディアデザイン実習7-a	2			実習			○		写真コース		
メディアデザイン実習7-b	2			実習			○		グラフィックデザインコース		
メディアデザイン実習7-c	2			実習			○		映像・放送コース		
メディアデザイン実習7-d	2			実習			○		アニメ・CGコース		
メディアデザイン実習8-a	2			実習			○		写真コース		専門コースにかかわる科目を2単位選択履修すること
メディアデザイン実習8-b	2			実習			○		グラフィックデザインコース		
メディアデザイン実習8-c	2			実習			○		映像・放送コース		
メディアデザイン実習8-d	2			実習			○		アニメ・CGコース		
メディアデザイン実習9	2			実習			○		メディアデザイン領域共通科目		
メディアデザイン実習10	2			実習			○		メディアデザイン領域共通科目		
メディアデザイン論A	2			講義		○			メディアデザイン領域共通科目		
メディアデザイン論B	2			講義		○			メディアデザイン領域共通科目		
メディアデザイン論C	2			講義			○		メディアデザイン領域共通科目		
メディアデザイン論D	2			講義			○		メディアデザイン領域共通科目		
メディアデザイン史A	2			講義			○		写真コース		
メディアデザイン史B	2			講義			○		グラフィックデザインコース		
メディアデザイン史C	2			講義			○		映像・放送コース		
メディアデザイン史D	2			講義			○		アニメ・CGコース		

■ 芸術学科 メディアデザイン領域 写真コース

平成25(2013)年度以前入学生 スタンダードカリキュラム

1年		2年		3年		4年	
実4+演6=20単位		実4+演2+講3=18単位		実4+演2+講2=16単位		実4+卒6=10単位	
前		前		前		前	
後		後		後		後	
実習系	基礎造形実習1A 描写 ＊領域共通科目 (前期or後期)	基礎造形実習2B 写真基礎 ＊領域共通科目 (前期or後期)	メディア デザイン実習1-a 映像表現基礎/ グラフィック基礎 ＊写真コース必修科目	メディア デザイン実習2-a 映像表現応用/ グラフィック応用 ＊写真コース必修科目	メディア デザイン実習5-a 写真の原理と実験 ＊写真コース必修科目	メディア デザイン実習6-a 表現力アップのためのワー クショップ(個展開催) ＊写真コース必修科目	メディア デザイン実習9 卒業制作企画 ＊領域共通科目
	基礎造形実習3A グラフィック・デザイ ン基礎 シンボライズ ＊領域共通科目 (前期or後期)	基礎造形実習4B 映像基礎 実写/コマ撮り ＊領域共通科目 (前期or後期)	メディア デザイン実習3-a 写真表現の基礎力(カ ープリント、大皿プリント) ＊写真コース必修科目	メディア デザイン実習4-a ドキュメンタリー写真/ フォトインスタレーション ＊写真コース必修科目	メディア デザイン実習7-a 自己表現のためのテーマ研究 ＊写真コース必修科目	メディア デザイン実習8-a 自己表現のためのテーマ 追求(個展開催) ＊写真コース必修科目	メディア デザイン実習10 テーマ研究 ＊領域共通科目
	メディアデザイン 基礎演習1A 情報デザイン基礎 インタビュー/アンケート ＊領域共通科目	メディアデザイン 基礎演習2 情報デザインの研究 作品研究/プレゼンテーション ＊領域共通科目	メディア デザイン演習1 Webサイト企画 (Dreamweaver) ＊領域共通科目	メディア デザイン演習2 Webサイト制作 (Flash) ＊領域共通科目	メディア デザイン演習3 ドキュメンタリー研究1 ＊領域共通選択科目	メディア デザイン演習4 ドキュメンタリー研究2 ＊領域共通選択科目	
	メディアデザイン 基礎演習3 写真基礎演習 GD基礎演習 ＊領域共通科目	メディアデザイン 基礎演習4 映像基礎演習 サウンド基礎演習 ＊領域共通科目(前期or後期)			メディア デザイン演習5 インターネット研究1 ＊領域共通選択科目	メディア デザイン演習6 インターネット研究2 ＊領域共通選択科目	
演習系					メディア デザイン演習7 モーション・グラフィックス ＊領域共通選択科目	メディア デザイン演習8 メディア・インスタレーション ＊領域共通選択科目	
					メディア デザイン演習9 iPadアプリ制作 ＊領域共通選択科目	メディア デザイン演習10 ソーシャルネットワーク アプリ制作 ＊領域共通選択科目	
	総合基礎演習1 他領域授業選択	総合基礎演習2 他領域授業選択					
講義系			メディア デザイン論A メディアの歴史 ＊領域共通科目	メディア デザイン論B 情報処理論 ＊領域共通科目	メディア デザイン論C イメージと記号 ＊領域共通科目	メディア デザイン論D ニューメディア ＊領域共通科目	
			メディア デザイン史A 写真史 ＊領域共通科目				
選択科目／60単位	コンピュータ 基礎演習1 デジタル画像処理 (Photoshop ほか) ＊領域共通科目	コンピュータ 基礎演習2 DTP基礎 (Illustrator ほか) ＊領域共通科目	コンピュータ 基礎演習3 Webデザイン基礎 (HTML/Dreamwaver) ＊領域共通科目	コンピュータ 基礎演習4 Webデザイン基礎 (Dreamwaver ほか) ＊領域共通科目			
				メディア デザイン史B グラフィック・ デザイン史 ＊領域共通科目	メディア デザイン史C 映画史 ＊領域共通科目	メディア デザイン史D アニメーション史 ＊領域共通科目	
					メディアアート 概論 ＊領域共通科目	オルタナティブ 文化論 ＊領域共通科目	

芸術学科 メディアデザイン領域 映像・放送コース

平成25(2013)年度以前入学生 スタンダードカリキュラム

1年		2年		3年		4年	
実4+演6=20単位		実4+演2+講3=18単位		実4+演2+講2=16単位		実4+卒6=10単位	
前 後		前 後		前 後		前 後	
実習系	基礎造形実習1A 描写 ＊領域共通科目 (前期or後期)	基礎造形実習2B 写真基礎 ＊領域共通科目 (前期or後期)	メディア デザイン実習3-c 撮影・照明・録音 (Premiere & AfterEffects) ＊映像・放送コース必修科目	メディア デザイン実習1-c 映像文法／教育番組 の制作(Premiere) ＊映像・放送コース必修科目	メディア デザイン実習5-c ドキュメンタリー ＊映像・放送コース必修科目	メディア デザイン実習6-c 実験映像(個人制作) ＊映像・放送コース必修科目	メディア デザイン実習9 卒業制作企画 ＊領域共通科目
	基礎造形実習3A グラフィック・デザイン 基礎 シンボライズ ＊領域共通科目 (前期or後期)	基礎造形実習4B 映像基礎 実写／コマ撮り ＊領域共通科目 (前期or後期)	メディア デザイン実習4-c 3DCG基礎(3ds Max) ＊映像・放送コース必修科目	メディア デザイン実習2-c サウンド実習 (Soundbooth) ＊映像・放送コース必修科目	メディア デザイン実習7-c シナリオ ＊映像・放送コース必修科目	メディア デザイン実習8-c ドラマ(グループ制作) ＊映像・放送コース必修科目	メディア デザイン実習10 テーマ研究 ＊領域共通科目
演習系 専門科目／64単位	メディアデザイン 基礎演習1A 情報デザイン基礎 インタビュー／アンケート ＊領域共通科目	メディアデザイン 基礎演習2 情報デザインの研究 作品研究／プレゼンテーション ＊領域共通科目	メディア デザイン演習1 Webサイト企画 (Dreamweaver) ＊領域共通科目	メディア デザイン演習2 Webサイト制作 (Flash) ＊領域共通科目	メディア デザイン演習3 ドキュメンタリー研究1 ＊領域共通選択科目	メディア デザイン演習4 ドキュメンタリー研究2 ＊領域共通選択科目	
	メディアデザイン 基礎演習3 写真基礎演習 GD基礎演習 ＊領域共通科目(前期or後期)	メディアデザイン 基礎演習4 映像基礎演習 サウンド基礎演習 ＊領域共通科目(前期or後期)			メディア デザイン演習5 インタビュー研究1 ＊領域共通選択科目	メディア デザイン演習6 インタビュー研究2 ＊領域共通選択科目	
					メディア デザイン演習7 モーション・グラフィックス ＊領域共通選択科目	メディア デザイン演習8 メディア・インステレーション ＊領域共通選択科目	
	総合基礎演習1 他領域授業選択	総合基礎演習2 他領域授業選択			メディア デザイン演習9 iPadアプリ制作 ＊領域共通選択科目	メディア デザイン演習10 ソーシャルネットワーク アプリ制作 ＊領域共通選択科目	
講義系			メディア デザイン論A メディアの歴史 ＊領域共通科目	メディア デザイン論B 情報処理論 ＊領域共通科目	メディア デザイン論C イメージと記号 ＊領域共通科目	メディア デザイン論D ニューメディア ＊領域共通科目	
			メディア デザイン史C 映画史 ＊領域共通科目				
選択科目／60単位	コンピュータ 基礎演習1 デジタル画像処理 (Photoshop ほか) ＊領域共通科目	コンピュータ 基礎演習2 DTP基礎 (Illustrator ほか) ＊領域共通科目	コンピュータ 基礎演習3 Webデザイン基礎 (HTML)(Dreamwaver) ＊領域共通科目	コンピュータ 基礎演習4 Webデザイン基礎 (Dreamwaver ほか) ＊領域共通科目			
	領域が全学に対し提供する科目 コースの学生に推奨する科目			メディア デザイン史D アニメーション史 ＊領域共通科目	メディア デザイン史A 写真史 ＊領域共通科目	メディア デザイン史B グラフィック・ デザイン史 ＊領域共通科目	オルタナティブ 文化論 ＊領域共通科目

芸術学科 メディアデザイン領域 アニメーション・CGコース 平成25(2013)年度以前入学生 スタンダードカリキュラム

		1年		2年		3年		4年									
		実4+演6=20単位		実4+演2+講3=18単位		実4+演2+講2=16単位		実4+卒6=10単位									
		前 後		前 後		前 後		前 後									
必修科目／64単位	実習系	基礎造形実習1A 描写 ＊領域共通科目 (前期or後期)		基礎造形実習2B 写真基礎 ＊領域共通科目 (前期or後期)		メディアデザイン実習1-d 3DCG基礎(3ds Max) ＊アニメ・CGコース必修科目		メディアデザイン実習2-d VFX(After Effects & 3ds Max) ＊アニメ・CGコース必修科目		メディアデザイン実習5-d グループ制作 ＊アニメ・CGコース必修科目		メディアデザイン実習6-d 個人制作(進級制作展) ＊アニメ・CGコース必修科目		メディアデザイン実習9 卒業制作企画 ＊領域共通科目		卒業研究	
		基礎造形実習3A グラフィック・デザイン基礎 シンボライズ ＊領域共通科目(前期or後期)		基礎造形実習4B 映像基礎 実写／コマ撮り ＊領域共通科目 (前期or後期)		メディアデザイン実習4-d コマ撮りアニメ ＊アニメ・CGコース必修科目		メディアデザイン実習3-d 作画基礎(RETAS!) ＊アニメ・CGコース必修科目		メディアデザイン実習7-d 作画応用 ＊アニメ・CGコース必修科目		メディアデザイン実習8-d アニメーション企画 ＊アニメ・CGコース必修科目		メディアデザイン実習10 テーマ研究 ＊領域共通科目		＊領域共通科目	
	演習系	メディアデザイン基礎演習1A 情報デザイン基礎 インタビュー/アンケート ＊領域共通科目		メディアデザイン基礎演習2 情報デザインの研究 作品研究/プレゼンテーション ＊領域共通科目		メディアデザイン演習1 Webサイト企画 (Dreamweaver) ＊領域共通科目		メディアデザイン演習2 Webサイト制作 (Flash) ＊領域共通科目		メディアデザイン演習3 ドキュメンタリー研究1 ＊領域共通選択科目		メディアデザイン演習4 ドキュメンタリー研究2 ＊領域共通選択科目					
		メディアデザイン基礎演習3 写真基礎演習 GD基礎演習 ＊領域共通科目(前期or後期)		メディアデザイン基礎演習4 映像基礎演習 サウンド基礎演習 ＊領域共通科目(前期or後期)						メディアデザイン演習5 インターフェイス研究1 ＊領域共通選択科目		メディアデザイン演習6 インターフェイス研究2 ＊領域共通選択科目					
		総合基礎演習1 他領域授業選択		総合基礎演習2 他領域授業選択						メディアデザイン演習7 モーション・グラフィックス ＊領域共通選択科目		メディアデザイン演習8 メディア・インステレーション ＊領域共通選択科目					
						メディアデザイン論A メディアの歴史 ＊領域共通科目		メディアデザイン論B 情報処理論 ＊領域共通科目		メディアデザイン論C イメージと記号 ＊領域共通科目		メディアデザイン論D ニューメディア ＊領域共通科目					
						メディアデザイン史D アニメーション史 ＊領域共通科目											
選択科目／60単位	選択であるが、 準必修扱いの科目	コンピュータ基礎演習1 デジタル画像処理 (Photoshop ほか) ＊領域共通科目		コンピュータ基礎演習2 DTP基礎 (Illustrator ほか) ＊領域共通科目		コンピュータ基礎演習3 Webデザイン基礎 (HTML)(Dreamwaver) ＊領域共通科目		コンピュータ基礎演習4 Webデザイン基礎 (Dreamwaver ほか) ＊領域共通科目									
	領域が全学に押し提供する科目 コースの学生に推奨する科目					メディアデザイン史C 映画史 ＊領域共通科目				メディアデザイン史A 写真史 ＊領域共通科目		メディアデザイン史B グラフィック・デザイン史 ＊領域共通科目		オルタナティブ文化論 ＊領域共通科目			
										メディアアート概論 ＊領域共通科目							

空間デザイン領域の人材育成

ものづくりのよりどころである身体・素材・生活・空間をキーワードに「もの」や「しくみ」を形に表現できる力を育み、「発見」から「表現」「構築」、更には社会に対し多様な価値を提案できるデザイナーを育成する。

空間デザイン領域の特色・開講科目

デザイナーとは、モノや空間に形と意味を与える人のことです。ひとりの人間として、またスペシャリストとして、人々に夢と感動を与え、新しいものの見方や考え方を伝える人のことです。空間デザイン領域は、建築、インテリア、プロダクト、家具、雑貨からファッション、テキスタイルまで、誰も気づかない美しさや楽しさ、使い方を発見し、それを形で表現できる人材を育てます。素材の魅力を知り、自分の形が姿をあらわすときのよさこびは、無心に手を動かしてこそ味わえる喜びです。「なりたいたい自分」はそこから見えてくるはず。「発見」から「表現」、そして「構築」へとステップアップする、多彩な実習を軸にした段階的なカリキュラムによって、社会に対し多様な価値を提案できるデザイナーを育てる領域です。

芸術学科 空間デザイン領域(住環境デザインコース、プロダクトデザインコース、ファッションデザインコース、テキスタイルアートコース)平成25(2013)年度以前入学生

カリキュラム	単位数			授業形態	開講期・年次				特記事項	取得可能ライセンス	専門科目卒業要件
	必修	選択必修	選択		1年	2年	3年	4年			
基礎造形実習1 A			2	実習	○						①各領域の履修計画に基づき、基礎造形実習1～4 計8単位を修得すること ＊教職課程履修者は1 A・2 A (又は彫刻実習)・3 A・4 A (又は工芸実習) 計8単位を2年生修了までに修得すること
基礎造形実習2 A			2	実習	○				＊学科共通科目 空間領域開講科目		
基礎造形実習3 A			2	実習	○				＊学科共通科目 空間領域開講科目		
基礎造形実習4 A			2	実習	○				＊学科共通科目 空間領域開講科目		
基礎造形実習1 B			2	実習	○				＊学科共通科目 空間領域開講科目		
基礎造形実習2 B			2	実習	○						
基礎造形実習3 B			2	演習	○						
基礎造形実習4 B			2	演習	○						②各領域の履修計画に基づき4単位履修すること
総合基礎演習1	2			演習	○				＊学科共通科目		
総合基礎演習2	2			演習	○				＊学科共通科目		③領域の専門分野を選択して6単位を修得すること
卒業制作	6			実習				○	＊学科共通科目		
空間基礎演習1		2		演習	○				空間領域共通科目		④領域の専門科目46単位以上修得すること
空間基礎演習2		2		演習	○				空間領域共通科目		
空間デザイン演習1		2		演習		○			空間領域共通科目		
空間デザイン演習2-a		2		演習		○			住環境デザインコース		
空間デザイン演習2-b		2		演習		○			プロダクトデザインコース		
空間デザイン演習2-c		2		演習		○			ファッションデザインコース		
空間デザイン演習2-d		2		演習		○			テキスタイルデザインコース		
空間デザイン演習3-a		2		演習		○			住環境デザインコース		
空間デザイン演習3-b		2		演習		○			プロダクトデザインコース		
空間デザイン演習3-c		2		演習		○			ファッションデザインコース		
空間デザイン演習3-d		2		演習		○			テキスタイルデザインコース		
空間デザイン演習4-ab		2		演習		○			住環境/プロダクト コース共通		
空間デザイン演習4-cd		2		演習		○			ファッション/テキスタイル コース共通		
空間デザイン演習5-a		2		演習		○			住環境デザインコース		
空間デザイン演習5-b		2		演習		○			プロダクトデザインコース		
空間デザイン演習5-c		2		演習		○			ファッションデザインコース		
空間デザイン演習5-d		2		演習		○			テキスタイルデザインコース		
空間デザイン演習6-a		2		演習		○			住環境デザインコース		
空間デザイン演習6-b		2		演習		○			プロダクトデザインコース		
空間デザイン演習6-c		2		演習		○			ファッションデザインコース		
空間デザイン演習6-d		2		演習		○			テキスタイルデザインコース		
空間デザイン演習7-ab		2		演習			○		住環境/プロダクト コース共通		
空間デザイン演習7-cd		2		演習			○		ファッション/テキスタイル コース共通		
空間デザイン演習8-a		2		演習			○		住環境デザインコース	プロダクトコンピューター用ライセンス	
空間デザイン演習8-b		2		演習			○		プロダクトデザインコース		
空間デザイン演習8-c		2		演習			○		ファッションデザインコース		
空間デザイン演習8-d		2		演習			○		テキスタイルデザインコース		
空間デザイン演習9-a		2		演習			○		住環境デザインコース		
空間デザイン演習9-b		2		演習			○		プロダクトデザインコース	プロダクトコンピューター用ライセンス	
空間デザイン演習9-c		2		演習			○		ファッションデザインコース		
空間デザイン演習9-d		2		実習			○		テキスタイルデザインコース		
空間デザイン演習10-a		2		実習			○		住環境デザインコース	プロダクトコンピューター用ライセンス	⑤二級建築士受験資格講座科目
空間デザイン演習10-b		2		実習			○		プロダクトデザインコース	プロダクトコンピューター用ライセンス	
空間デザイン演習10-c		2		実習			○		ファッションデザインコース		⑥二級建築士受験資格講座科目
空間デザイン演習10-d		2		実習			○		テキスタイルデザインコース		
空間デザイン演習11-a		2		実習			○		住環境デザインコース		⑦二級建築士受験資格講座科目
空間デザイン演習11-b		2		実習			○		プロダクトデザインコース		
空間デザイン演習11-c		2		実習			○		ファッションデザインコース		⑧二級建築士受験資格講座科目
空間デザイン演習11-d		2		実習			○		テキスタイルデザインコース		
空間デザイン実習1-ab		2		実習		○			住環境/プロダクト コース共通		⑨二級建築士受験資格講座科目
空間デザイン実習1-cd		2		実習		○			ファッション/テキスタイル コース共通		
空間デザイン実習2-a		2		実習		○			住環境デザインコース		⑩二級建築士受験資格講座科目
空間デザイン実習2-b		2		実習		○			プロダクトデザインコース		
空間デザイン実習2-c		2		実習		○			ファッションデザインコース		⑪二級建築士受験資格講座科目
空間デザイン実習2-d		2		実習		○			テキスタイルデザインコース		
空間デザイン実習3		2		実習		○			空間領域共通科目		⑫二級建築士受験資格講座科目
空間デザイン実習4-a		2		実習		○			住環境デザインコース		
空間デザイン実習4-b		2		実習		○			プロダクトデザインコース		⑬二級建築士受験資格講座科目
空間デザイン実習4-c		2		実習		○			ファッションデザインコース		
空間デザイン実習4-d		2		実習		○			テキスタイルデザインコース		⑭二級建築士受験資格講座科目
空間デザイン実習5-ab		2		実習			○		住環境/プロダクト コース共通		
空間デザイン実習5-cd		2		実習			○		ファッション/テキスタイル コース共通		⑮二級建築士受験資格講座科目
空間デザイン実習6-a		2		実習			○		住環境デザインコース		
空間デザイン実習6-b		2		実習			○		プロダクトデザインコース		⑯二級建築士受験資格講座科目
空間デザイン実習6-c		2		実習			○		ファッションデザインコース		
空間デザイン実習6-d		2		実習			○		テキスタイルデザインコース		⑰二級建築士受験資格講座科目

二級建築士・木造建築士受験資格科目については、コース別のガイダンスで履修について確認すること。

芸術学科 空間デザイン領域(住環境デザインコース、プロダクトデザインコース、ファッションデザインコース、テキスタイルアートコース)平成25(2013)年度以前入学生

カリキュラム		単位数			授業形態	開講期・年次				特記事項	取得可能ライセンス	専門科目卒業要件
		必修	選択必修	選択		1年	2年	3年	4年			
	空間デザイン実習7-a		2		実習			○		住環境デザインコース		
	空間デザイン実習7-b		2		実習			○		プロダクトデザインコース		
	空間デザイン実習7-c		2		実習			○		ファッションデザインコース		
	空間デザイン実習7-d		2		実習			○		テキスタイルデザインコース		
	空間デザイン実習8-a		2		実習			○		住環境デザインコース		
	空間デザイン実習8-b		2		実習			○		プロダクトデザインコース		
	空間デザイン実習8-c		2		実習			○		ファッションデザインコース		
	空間デザイン実習8-d		2		実習			○		テキスタイルデザインコース		
	空間デザイン実習9		2		実習			○		空間領域共通科目		
	空間デザイン実習10		2		実習			○		空間領域共通科目		

二級建築士・木造建築士受験資格科目については、コース別のガイダンスで履修について確認すること。

芸術学科 空間デザイン領域 住環境デザインコース
平成25(2013)年度以前入学生 スタンダードカリキュラム

		1年		2年		3年		4年	
		実4＋演4＝16単位		実4＋演6＋講1＝22単位		実4＋演5＋講2＝22単位		実2＋卒1＝10単位	
		前 後		前 後		前 後		前 後	
必修科目／64単位	実習系	基礎造形実習1B 布の立体造形 ＊領域共通科目	基礎造形実習3A ワンボード家具 FRPスピーカ ＊領域共通科目	空間デザイン実習1ab 言葉からの デザインアプローチ 住環境・PD共通科目	空間デザイン実習3 サフィールドワーク ヨシ造形 ＊領域共通科目	空間デザイン実習5ab 光と水のデザイン 住環境・PD共通科目	空間デザイン実習7a フォーリー 遺跡博物館 住環境Dコース専門科目	空間デザイン実習9a 社会問題とデザイン 住環境Dコース専門科目	卒業制作
		基礎造形実習2A 線・面・複合造形 ＊領域共通科目	基礎造形実習4A 織・籠・紙・フェルト ＊領域共通科目	空間デザイン実習4a 小公園・大地の改変 住環境Dコース専門科目	空間デザイン実習2a 照明・ショールーム 住環境Dコース専門科目	空間デザイン実習6a 小ギャラリー 子供のための空間 住環境Dコース専門科目	空間デザイン実習8a 劇的住宅の設計 住環境Dコース専門科目	空間デザイン実習10a 社会問題とデザイン 住環境Dコース専門科目	
		空間基礎演習1 フィールドワーク入門 ＊領域共通科目	空間デザイン演習2 空間デザイン入門 ＊領域共通科目	空間デザイン演習1 断面図法と 空間ドローイング ＊領域共通科目	空間デザイン演習4ab 椅子の実測図面 住環境・PD共通科目	空間デザイン演習7ab コンペティション 課題 住環境・PD共通科目	空間デザイン演習10a 製図とドローイングによる デザインテーマの高度な表現 住環境・PD共通科目		
		総合基礎演習1 他領域授業選択	総合基礎演習2 他領域授業選択	空間デザイン演習2a コルビジエの 住宅：模型・製図 住環境Dコース専門科目	空間デザイン演習5a バース図法 住環境Dコース専門科目	空間デザイン演習8a 製図とドローイングによる デザインテーマの表現 住環境Dコース専門科目	空間デザイン演習11a 住宅一般構造 住環境Dコース専門科目		
	演習系			空間デザイン演習3a 住環境概論 住環境Dコース専門科目	空間デザイン演習6a ポートフォリオ 住環境Dコース専門科目	空間デザイン演習9a 講義：近代建築 デザイン論 住環境Dコース専門科目			
講義系				建築構造演習1 二級建築士受験 資格科目		ユーザインタ フェース概論 PDコース設定科目	デザイン マーケティング論 PDコース設定科目	住居と法律 二級建築士受験資格科目 住環境Dコース設定科目	建築施工 二級建築士受験資格科目 住環境Dコース設定科目
				建築構造演習2 二級建築士受験 資格科目					
選択科目／60単位	選択であるが、 準必修扱いの科目	PC基礎演習1	PC基礎演習2	PC基礎演習3	PC基礎演習4				
		卒業時までには修得							
		日本建築史 二級建築士受験資格科目 住環境Dコース設定科目	西洋建築史 二級建築士受験資格科目 住環境Dコース設定科目	住宅論 二級建築士受験資格科目 住環境Dコース設定科目	住居論 二級建築士受験資格科目 住環境Dコース設定科目	都市論 二級建築士受験資格科目 住環境Dコース設定科目			

芸術学科 空間デザイン領域 プロダクトデザインコース
平成25(2013)年度以前入学生 スタンダードカリキュラム

		1年		2年		3年		4年	
		実4＋演4＝16単位		実4＋演6＋講1＝22単位		実4＋演5＋講2＝22単位		実2＋卒1＝10単位	
		前 後		前 後		前 後		前 後	
必修科目／64単位	実習系	基礎造形実習1B 布の立体造形 ＊領域共通科目	基礎造形実習3A ワンボード家具 FRPスピーカ ＊領域共通科目	空間デザイン実習1ab 言葉からの デザインアプローチ 住環境・PD共通科目	空間デザイン実習3 サフィールドワーク ヨシ造形 ＊領域共通科目	空間デザイン実習5ab 光と水のデザイン 住環境・PD共通科目	空間デザイン実習7b コミュニケーション 機器 PDコース専門科目	空間デザイン実習9b 社会問題とデザイン PDコース専門科目	卒業制作
		基礎造形実習2A 線・面・複合造形 ＊領域共通科目	基礎造形実習4A 織・籠・紙・フェルト ＊領域共通科目	空間デザイン実習2b 状況スケッチと デザインプロセス PDコース専門科目	空間デザイン実習4b 平面・キャラクタ 遊具・機構 FDコース専門科目	空間デザイン実習6b トランスポート ーション PDコース専門科目	空間デザイン実習8b 身体を支えるもの PDコース専門科目	空間デザイン実習10b 社会問題とデザイン PDコース専門科目	
	演習系	空間基礎演習1 フィールドワーク入門 ＊領域共通科目	空間デザイン演習2 空間デザイン入門 ＊領域共通科目	空間デザイン演習1 断面図法と空間 ドローイング ＊領域共通科目	空間デザイン演習4ab 椅子の実測図面 住環境・PD共通科目	空間デザイン演習7ab コンペティション 課題 住環境・PD共通科目	空間デザイン演習10b ユーザーインタ フェース PDコース専門科目		
		総合基礎演習1 他領域授業選択	総合基礎演習2 他領域授業選択	空間デザイン演習2b 製図基礎 ハンドワーク製図 PDコース専門科目	空間デザイン演習5b 設計基礎・CADに よる設計 PDコース専門科目	空間デザイン演習8b 先端技術 ワークショップ PDコース専門科目	空間デザイン演習11b 評価基準・UD設計 FDコース専門科目		
選択科目／60単位	講義系			空間デザイン演習3b ペーパー& ラフモデリング PDコース専門科目	空間デザイン演習6b FLASH インタラクティブ PDコース専門科目	空間デザイン演習9b 3DCG Rhinoceros モデリング PDコース専門科目			
					生産技術論 PDコース設定科目	ユーザインタ フェース概論 PDコース設定科目	デザイン マーケティング論 PDコース設定科目		
		PC基礎演習1	PC基礎演習2	PC基礎演習3	PC基礎演習4				

芸術学科 空間デザイン領域 テキスタイルアートコース
平成25(2013)年度以前入学生 スタンダードカリキュラム

		1年		2年		3年		4年	
		実4＋演4＝16単位		実4＋演6＝20単位		実4＋演5＝18単位		実2＋卒1＝10単位	
		前 後		前 後		前 後		前 後	
必修科目／64単位	実習系	基礎造形実習1B 布の立体造形 ＊領域共通科目	基礎造形実習3A ワンボード家具 FRPスピーカ ＊領域共通科目	空間デザイン実習1cd シルクスクリーン プリント FD・テキ共通科目	空間デザイン実習3 フィールドワーク ヨシ造形 ＊領域共通科目	空間デザイン実習5cd コンセプトに基づく 作品制作 FD・テキ共通科目	空間デザイン実習7d 進級製作 TAコース専門科目	空間デザイン実習9d 自由課題 TAコース専門科目	卒業制作
		基礎造形実習2A 線・面・複合造形 ＊領域共通科目	基礎造形実習4A 染色・フェルト・かご ＊領域共通科目	空間デザイン実習2d 織物基礎 TAコース専門科目	空間デザイン実習4d タペストリーの制作 TAコース専門科目	空間デザイン実習6d 技法からの発想に よる制作 TAコース専門科目	空間デザイン実習8d 進級製作 TAコース専門科目	空間デザイン実習10d 自由課題 TAコース専門科目	
	演習系	空間基礎演習1 フィールドワーク入門 ＊領域共通科目	空間デザイン演習2 空間デザイン入門 ＊領域共通科目	空間デザイン演習1 断面図法と空間 ドローイング ＊領域共通科目	空間デザイン演習4cd 染色実験 FD・テキ共通科目	空間デザイン演習7cd 素材研究 FD・テキ共通科目	空間デザイン演習10d 講義：テキスタイル アートの現在 TAコース専門科目		
		総合基礎演習1 他領域授業選択	総合基礎演習2 他領域授業選択	空間デザイン演習2d フェルトメーキング 空デ演習3dと隔週開講 FDコース専門科目	空間デザイン演習5d 組織織 空デ実習2dを 履修済のこと TAコース専門科目	空間デザイン演習8d 講義：世界の染織 TAコース専門科目	空間デザイン演習11d 商品企画 TAコース専門科目		
選択科目／60単位	選択科目	PC基礎演習1	PC基礎演習2	空間デザイン演習3d 染織技法体験 空デ演習2dと隔週開講 TAコース専門科目	空間デザイン演習6d 布の制作・コンピュータドビー 空デ演習5dと同時履修 空デ実習2dを履修済のこと TAコース専門科目	空間デザイン演習9d 染織技法体験 TAコース専門科目			

芸術学科 空間デザイン領域 ファッションデザインコース
平成25(2013)年度以前入学生 スタンダードカリキュラム

		1年		2年		3年		4年	
		実4＋演4＝16単位		実4＋演6＋講3＝26単位		実4＋演5＝18単位		実2＋卒1＝10単位	
		前 後		前 後		前 後		前 後	
必修科目／64単位	実習系	基礎造形実習1B 布の立体造形 ＊領域共通科目	基礎造形実習3A ワンボード家具 FRPスピーカ ＊領域共通科目	空間デザイン実習1cd シルクスクリーン プリント FD・テキ共通科目	空間デザイン実習3 サフィールドワーク ヨシ造形 FD・テキ共通科目	空間デザイン実習5cd コンセプトに基づく 作品制作 FD・テキ共通科目	空間デザイン実習7c オリジナル作品 企画・制作 FDコース専門科目	空間デザイン実習9c 卒制に向けた制作 FDコース専門科目	卒業制作
		基礎造形実習2A 線・面・複合造形 ＊領域共通科目	基礎造形実習4A 織・籠・紙・フェルト ＊領域共通科目	空間デザイン実習2c パターン縫製技術1 FDコース専門科目	空間デザイン実習4c FDコース専門科目	空間デザイン実習6a ブランド企画 FDコース専門科目	空間デザイン実習8c 自由課題 企画 FDコース専門科目	空間デザイン実習10c 卒制に向けた制作 FDコース専門科目	
	演習系	空間基礎演習1 フィールドワーク入門 ＊領域共通科目	空間デザイン演習2 空間デザイン入門 ＊領域共通科目	空間デザイン演習1 断面図法と空間 ドローイング ＊領域共通科目	空間デザイン演習4cd 染織実験 FD・テキ共通科目	空間デザイン演習7cd 素材研究 FD・テキ共通科目	空間デザイン演習10c 課題制作における パターン演習 FDコース専門科目		
		総合基礎演習1 他領域授業選択	総合基礎演習2 他領域授業選択	空間デザイン演習2c ファッション デザインの基礎 FDコース専門科目	空間デザイン演習5c ショッププランニング FDコース専門科目	空間デザイン演習8c ビジュアル マーチャンダイジング FDコース専門科目	空間デザイン演習11c 企業研究 FDコース専門科目		
選択科目／60単位	講義系			空間デザイン演習3c コスチューム FDコース専門科目	空間デザイン演習6c ファッションイラスト FDコース専門科目	空間デザイン演習9c ファッショントレンド 企画 FDコース専門科目			
				ファッション マーケティング論 FDコース設定科目	ファッション デザイン史 FDコース設定科目				
			ファッション デザイン論						
準必修であるが、 必修扱いの科目		PC基礎演習1	PC基礎演習2	PC基礎演習3	PC基礎演習4				

平成26(2014)年度以降入学生

平成25(2013)年度以前入学生
空間デザイン領域

共通教育センター科目

学芸員課程科目

教職課程科目

二級建築士受験資格講座科目

■ 共通教育センター科目(学部共通科目)

共通教育センター科目(学部共通科目)とは、基礎科目群、応用科目群、社会実践科目群、教養科目群から構成され共通教育センター所属の教員がこの科目群をバックアップしています。

①基礎科目群

芸術大学に進学した学生が等しく身につけるべき知識や技能を修得するために1年生全員が学ぶ科目で以下の科目で構成されます。

スタートプログラム科目……4年間の大学生活を自主的かつ円滑に進めるために必要な基礎学力を身につけるための科目です。

芸術基礎科目……芸術に対する認識の基盤となる理論の初歩を幅広く学び、広範な造形活動を支えるための科目です。

ファウンデーション科目……所属する領域に関係なく9クラスに編成されて、専門分野の枠を超えた教員組織の指導のもと、美術経験の多少にかかわらず、表現することの面白さを体感することを通して芸術学部共通の造形基礎を学ぶ科目です。「描く」「つくる」「発想する」の3つの基本的なテーマに沿って、実技、講義、ワークショップ、発表、合評などで授業を構成し、表現課程での工夫や発見を通して、視野を広げていく楽しさと柔軟な思考を養う「ファウンデーション実習A」やコンピュータの基礎を学ぶ「ファウンデーション実習B」があります。

②応用科目群

広範な芸術活動の専門性を理論的、実践的に支え、各領域の専門基盤課程、専門研究課程において必要とされる専門的知識・技能を養うために必要不可欠な科目群です。

③社会実践科目群

「芸術による社会への貢献」を実践する科目群で自分の将来の姿を実現に近づけるための、キャリア支援科目と芸術による社会貢献を実現するプロジェクトを単位化する地域貢献・プロジェクト科目があります。

④教養科目群

各学生の専門や志向に有益な学問領域について自主的に学ぶことができる科目群で、教養科目、外国語科目、単位互換事業科目で構成されます。

共通教育センター科目(学部共通科目) 全学適用

科目一覧				学 芸 員	教 職	単位数		授 業 形 態	学 期	配当学年 (望ましい履修学年)				特記事項	
						必修	指定 科目			選択	1 年	2 年	3 年	4 年	複数開講、通年開講、集中科目等について特記
基礎科目群	ファウン デー ション 科目	ファウンデーション実習A1				1		実習	1前	○				1年次に6科目6単位を修得すること	
		ファウンデーション実習A2				1		実習	1前	○					
		ファウンデーション実習A3				1		実習	1後	○					
		ファウンデーション実習A4				1		実習	1後	○					
		ファウンデーション実習B1	必修			1		実習	1前	○					
		ファウンデーション実習B2	必修			1		実習	1後	○					
		ファウンデーション実習C1				1		実習	1(前)	○					
		ファウンデーション実習C2				1		実習	1(後)	○					
		プレファウンデーション実習1				1		実習	2・3前		○	○			
	プレファウンデーション実習2				1		実習	2・3後		○	○				
	ステー タ ン ド ラ ム 科目	大学入門1				1		演習	1前	○				1年次に6科目6単位以上修得すること	
		大学入門2				1		演習	1後	○					
		スタディスキル実習1				1		実習	1前	○					
		スタディスキル実習2				1		実習	1前	○					
		スタディスキル実習3				1		実習	1後	○					
	芸術基礎科目	東洋・日本美術史概説A	選択	必修		2		講義	1・2前	○	○			1年次に4科目8単位以上修得すること	
		東洋・日本美術史概説B	選択	選択		2		講義	1・2後	○	○				
		西洋美術史概説A	選択	必修		2		講義	1・2前	○	○				
		西洋美術史概説B	選択	選択		2		講義	1・2後	○	○				
		デザイン史概説A	選択	選択		2		講義	1・2前	○	○				
		デザイン史概説B	選択	選択		2		講義	1・2後	○	○				
	応用科目群	芸術応用科目	イラストレーション概論				2		講義	1	○				① 所属する領域の理論科目を5科目10単位以上 修得すること 総合領域学生は、各自の学びの流れに従って理論科目 を5科目10単位以上修得すること ② ①以外の科目を2科目4単位以上受講すること
イラストレーション論1						2		講義	2前		○				
イラストレーション論2						2		講義	2後		○				
イラストレーション論3						2		講義	3前			○			
イラストレーション論4						2		講義	3後			○			
美術概論				必修		2		講義	1	○					
美術論1						2		講義	2前		○				
美術論2						2		講義	2後		○				
美術論3						2		講義	3前			○			
美術論4						2		講義	3後			○			
メディアデザイン概論						2		講義	1	○					
メディアデザイン論1						2		講義	2前		○	○			
メディアデザイン論2						2		講義	2後		○	○			
メディアデザイン論3						2		講義	3前		○	○			
メディアデザイン論4						2		講義	3後		○	○			
空間デザイン概論						2		講義	1	○					
空間デザイン論1						2		講義	2・3前		○	○			
空間デザイン論2A						2		講義	2・3後		○	○			
空間デザイン論2B						2		講義	2・3前		○	○			
空間デザイン論2C						2		講義	2・3後		○	○			
空間デザイン論2D						2		講義	2・3前		○	○			
空間デザイン論2E						2		講義	2・3後		○	○			
空間デザイン論2F						2		講義	2・3前		○	○			
現代デザイン論A						2		講義	2・3前		○	○			
現代デザイン論B						2		講義	2・3後		○	○			
現代美術論A				選択		2		講義	2・3前		○	○			
現代美術論B				選択		2		講義	2・3後		○	○			
絵画材料学							2		講義	2・3前		○	○		
メディアアート概論							2		講義	2・3後		○	○		
日本美術史A				選択			2		講義	2～4前		○	○	○	
日本美術史B				選択			2		講義	2～4後		○	○	○	
西洋美術史A				選択			2		講義	2～4前		○	○	○	
西洋美術史B				選択			2		講義	2～4後		○	○	○	
日本建築史							2		講義	1～4後		○	○	○	
西洋建築史							2		講義	1～4前		○	○	○	
工芸史				選択			2		講義	1～4後		○	○	○	
図法演習							2		演習	1・2前		○			
色彩演習							2		演習	2・3前		○	○		
人体表現演習							2		演習	2・3後		○	○		
彫刻演習				選択			2		演習	2・3前集中		○	○		
工芸演習				選択			2		演習	2・3後集中		○	○		
絵画演習				選択			2		演習	2・3前集中		○	○		
デザイン演習				選択			2		演習	2・3後集中		○	○		
芸術鑑賞A							2		講義	1～4前		○	○	○	
芸術鑑賞B							2		講義	1～4後		○	○	○	
特別講義1							1		講義	2・3前		○	○		
特別講義2							1		講義	2・3後		○	○		
特別講義3					1		講義	2・3前		○	○				
特別講義4					1		講義	2・3後		○	○				
特別講義5					1		講義	2・3前		○	○				
選択科目群	教養科目	自然科学概論A				2		講義	2～4前		○	○	○		
		自然科学概論B				2		講義	2～4後		○	○	○		
		自然科学概論C				2		講義	2～4前		○	○	○		
		自然科学概論D				2		講義	2～4後		○	○	○		
		社会学A				2		講義	2～4前		○	○	○		
		社会学B				2		講義	2～4前		○	○	○		
		現代社会論A				2		講義	2～4後		○	○	○		
		現代社会論B				2		講義	2～4後		○	○	○		
		法学（日本国憲法）		必修		2		講義	1～4前		○	○	○		
		人権教育		必修		2		講義	1～3前		○	○			
		ボランティアワーク1		必修		1		演習	2後		○				
		ボランティアワーク2		必修		1		実習	3集中			○			
		哲学A				2		講義	2～4前		○	○	○		
		哲学B				2		講義	2～4前		○	○	○		
		宗教学A				2		講義	2～4前		○	○	○		
		宗教学B				2		講義	2～4前		○	○	○		
		文化人類学A		選択			2		講義	2～4後		○	○		○
		文化人類学B		選択			2		講義	2～4後		○	○		○

科目一覧		学 芸 員	教 職	単位数		授 業 形 態	学 期	配当学年 (望ましい履修学年)				特記事項
				必修	指定 科目	選択		1 年	2 年	3 年	4 年	
選択科目群	教養科目	文化史A	選択			2	講義	2～4後	○	○	○	複数開講、通年開講、集中科目等について特記 等
		文化史B	選択			2	講義	2～4後	○	○	○	
		心理学A				2	講義	2～4前	○	○	○	
		心理学B				2	講義	2～4後	○	○	○	
		深層芸術心理学A				2	講義	2・3前	○	○		
		深層芸術心理学B				2	講義	2・3後	○	○		
		考古学A	選択			2	講義	2～4後	○	○	○	
		考古学B	選択			2	講義	2～4後	○	○	○	
		美学A				2	講義	2～4前	○	○	○	
		美学B				2	講義	2～4前	○	○	○	
		人間関係実習A				1	実習	2～4前	○	○	○	
		人間関係実習B				1	実習	2～4前	○	○	○	
		健康体力論	選択			2	講義	1～4前	○	○	○	
		スポーツ実習A	選択			1	実習	1～4後	○	○	○	
		スポーツ実習B	選択			1	実習	1～4前	○	○	○	
		スポーツ実習C	選択			1	実習	1～4前	○	○	○	
		スポーツ実習D	選択			1	実習	1～4後	○	○	○	
		スポーツ実習E	選択			1	実習	1～4後	○	○	○	
選択科目群	外国語科目	英語入門Ⅰ				1	実習	1・2前	○	○		
		英語入門Ⅱ				1	実習	1・2後	○			
		英語A	選択			1	実習	1～4前	○	○	○	
		英語B	選択			1	実習	1～4後	○	○	○	
		英語C	選択			1	実習	1～4後	○	○	○	
		英語D	選択			1	実習	1～4前	○	○	○	
		英語E				1	実習	1～4前	○	○	○	
		英語F				1	実習	1～4後	○	○	○	
		英語G				1	実習	1～4後	○	○	○	
		英会話A	選択			1	実習	1～4前	○	○	○	
		英会話B	選択			1	実習	1～4前	○	○	○	
		英会話C	選択			1	実習	1～4後	○	○	○	
		英会話D	選択			1	実習	1～4後	○	○	○	
		英会話E				1	実習	1～4前	○	○	○	
		日本語A				1	実習	1前	○			
		日本語B				1	実習	1後	○			
選択科目群	地域貢献・プロジェクト科目	コミュニティデザイン概論			2	講義	2・3前	○	○	○		① コミュニティデザイン概論を修得のこと ② ①以外の科目を1科目2単位以上受講すること
		コミュニティデザイン論1				2	講義	2・3前	○	○		
		コミュニティデザイン論2				2	講義	2・3後	○	○		
		琵琶湖の民俗史	選択			2	講義	2・3後	○	○		
		近江学A				2	講義	2・3前後	○	○		
		近江学B				2	講義	2・3前後	○	○		
		プロジェクト演習1A～1E				2	演習	1前・後	○			
		プロジェクト演習2A～2E				2	演習	2前・後	○			
		プロジェクト演習3A～3E				2	演習	3前・後		○		
		プロジェクト演習4A～4E				2	演習	4前・後			○	
選択科目群	キャリアデザイン科目	キャリアデザイン概論1			1	講義	1前	○				① キャリアデザイン概論1及び2を修得のこと ② ①以外の科目を1科目2単位以上受講すること
		キャリアデザイン概論2			1	講義	1後	○				
		キャリアデザイン論A				2	講義	2・3前	○	○		
		キャリアデザイン論B				2	講義	2・3後	○	○		
		就業力育成論1				1	講義	2前	○			
		就業力育成論2				1	講義	2後	○			
		就業力育成論3				1	講義	3前		○		
		就業力育成論4				1	講義	3後		○		
		就業力育成演習A				2	演習	2前	○			
		就業力育成演習B				2	演習	2後	○			
		就業力育成演習C				2	演習	3前		○		
		就業力育成演習D				2	演習	3後		○		
		ポートフォリオ演習				2	演習	2・3前	○	○		
		インターンシップA				2	実習	2・3集中	○	○		
		インターンシップB				2	実習	2・3集中	○	○		
		コンピュータ実践講座A				1	実習	1～4通年	○	○	○	
		コンピュータ実践講座B				1	実習	1～4通年	○	○	○	
選択科目群	英語実践講座	英語実践講座A				1	実習	1～4通年	○	○	○	
		英語実践講座B				1	実習	1～4通年	○	○	○	
		英語実践講座C				1	実習	1～4通年	○	○	○	
		英語実践講座D				1	実習	1～4通年	○	○	○	
選択科目群	色彩実践講座	色彩実践講座A				1	実習	1～4通年	○	○	○	
		色彩実践講座B				1	実習	1～4通年	○	○	○	
		色彩実践講座C				1	実習	1～4通年	○	○	○	
		色彩実践講座D				1	実習	1～4通年	○	○	○	

平成26(2014)年度以降入学生

平成25(2013)年度以前入学生

平成26(2014)年度以降入学生

学芸員課程科目

教職課程科目

二級建築士受験資格講座科目

学部共通基本科目

平成25(2013)年度以前入学生

平成26(2014)年度にカリキュラム改訂を行い、学部共通基本科目(選択科目)を共通教育センター科目に変更しました。平成25(2013)年度以前の入学生は、共通教育センター科目を今までのカリキュラム同様、自由に履修することができ、学部共通基本科目(選択科目)として修得することができます。

学部共通基本科目（選択科目）

本学では卒業するまでの4年間で履修しなければならないいわゆる選択科目(60単位以上)を学部共通基本科目と呼び、共通教育センターの教員がその科目群をバックアップしています。学部共通基本科目(選択科目)は時間割上、原則として午前中の3時限目までの時間帯で開講され、一部学年指定や履修制限のある科目を除いて、1年生から4年生まで自由に選択することができます。自分のものづくりや将来の進路などを支える科目がたくさん準備されています。1・2年次で履修すべき基礎的な科目や3・4年次での履修が望ましい発展科目などがありますので、履修するみなさんは、十分シラバスを読んで計画的に履修することが大切です。履修するみなさんにわかりやすいように、学部共通基本科目の中に3つの枠組みをつけて以下に紹介しますので参考にしてください。

学部共通基本科目

1. 造形基本科目群(造形活動にかかわる専門家としての知識を深める科目群)

この科目群はみなさんの造形活動を支える科目です。1・2年次で履修する基礎科目と1年次から4年次までで履修する専門科目とがあります。

2. 教養科目群(学びの基礎・考え方の基礎・コミュニケーション力をふかめる科目群)

この科目群の中には学ぶにおいて必要な基礎的な能力を養成するために1・2年次で履修する大学基礎科目と、全学年が対象となる語学を中心としてコミュニケーション能力を育成する語学教養科目、自分の伸ばしたい学問分野について学ぶことができる全学年自由選択の一般教養科目が用意されています。

また、発展科目として大学コンソーシアム京都・環びわ湖大学連携による単位互換科目があります。(単位互換科目については別に登録用の冊子を参照してください)

3. 社会実践科目群(社会への貢献を実現する科目群)

自分の将来の姿を現実に近づけるための、キャリア支援科目と芸術による社会への貢献を実現するプロジェクトを単位化する造形プロデュース科目があります。

科目一覧		単位数			授業形態	学期	配当学年 (望ましい履修学年)				特記事項
		必修	選択必修	選択			1年	2年	3年	4年	
造形基礎科目	東洋・日本美術史概説A			2	講義		○	○			
	東洋・日本美術史概説B			2	講義		○	○			
造形基礎科目	日本美術史A			2	講義			○	○	○	前期集中
	日本美術史B			2	講義			○	○	○	
造形基礎科目	西洋美術史概説A			2	講義		○	○			
	西洋美術史概説B			2	講義		○	○			
造形基礎科目	西洋美術史A			2	講義			○	○	○	
	西洋美術史B			2	講義			○	○	○	
造形基礎科目	デザイン史概説A			2	講義		○	○			
	デザイン史概説B			2	講義		○	○			
造形基礎科目	現代デザイン論A			2	講義			○	○	○	
	現代デザイン論B			2	講義			○	○	○	
造形基礎科目	現代美術論A			2	講義			○	○	○	
	現代美術論B			2	講義			○	○	○	
造形基礎科目	美術理論			2	講義		○	○			
	美学A			2	講義			○	○	○	
造形基礎科目	美学B			2	講義			○	○	○	
	身体論			2	講義		○	○	○	○	
造形基礎科目	色彩演習			2	演習		○	○			前期1クラス 後期1クラス 開講
	図法演習			2	演習		○	○			
造形基礎科目	芸術鑑賞A			2	演習		○	○	○	○	不定期集中 キャンパスプラザ京都教室
	芸術鑑賞B			2	演習		○	○	○	○	不定期集中 キャンパスプラザ京都教室
造形基礎科目	コンピュータ基礎演習1(指定選択)			2	演習		○				各クラスの指定する時間を選択
	コンピュータ基礎演習2(指定選択)			2	演習		○				各クラスの指定する時間を選択
造形基礎科目	コンピュータ基礎演習3(指定選択)			2	演習			○			クラス指定選択科目 DTPルーム1ライセンス(MD領域2年前・後期)
	コンピュータ基礎演習4(指定選択)			2	演習			○			クラス指定選択科目 大型出力Fライセンス(空間デザイン2年後期)
造形基礎科目	彫刻演習(指定選択)(資)			2	演習			○	○	○	前期集中講義
	工芸演習(指定選択)(資)			2	演習			○	○	○	後期集中講義
造形基礎科目	舞台美術論			2	講義		○	○			前期集中講義
	工芸史			2	講義		○	○	○	○	
造形専門科目	オルタナティブ文化論			2	講義		○	○	○	○	
	メディアアート概論			2	講義			○	○		
造形専門科目	イラストレーション特別演習A			2	演習			○			
	イラストレーション特別演習B			2	演習				○		前期1クラス開講 後期1クラス開講
造形専門科目	イラストレーション特別演習C			2	演習				○		前後期不定期集中
	イラストレーション特別演習D			2	演習				○		前後期不定期集中
造形専門科目	日本建築史			2	講義		○	○	○	○	
	西洋建築史			2	講義		○	○	○	○	
造形専門科目	住居論			2	講義		○	○	○	○	
	住宅論			2	講義		○	○	○	○	
造形専門科目	都市論			2	講義		○	○	○	○	
	生産技術論			2	講義			○	○	○	
造形専門科目	デザインマーケティング論			2	講義			○	○	○	
	絵画材料学			2	講義		○	○	○		
造形専門科目	ファッションマーケティング論			2	講義			○	○		
	ユーザインタフェース論			2	講義			○	○	○	
造形専門科目	ファッションデザイン論			2	講義		○	○	○		
	ファッションデザイン史			2	講義			○	○		
造形専門科目	大型プリンタ特別実習			1	実習			○	○		不定期集中 大型出力Fライセンス
	版画特別実習			1	実習			○	○	○	前期集中講義
造形専門科目	住居と法律			1	講義					○	2級建築士指定科目(平成24年度4年～)
	建築施工			1	講義					○	2級建築士指定科目(平成24年度4年～)
造形専門科目	建築構造演習1			2	演習			○	○		2級建築士指定科目
	建築構造演習2			2	演習			○	○		2級建築士指定科目
一般教養科目	哲学A			2	講義		○	○	○	○	
	哲学B			2	講義		○	○	○	○	
一般教養科目	宗教学A			2	講義		○	○	○	○	
	宗教学B			2	講義		○	○	○	○	
一般教養科目	心理学A			2	講義		○	○	○	○	
	心理学B			2	講義		○	○	○	○	
一般教養科目	深層芸術心理学A			2	講義			○	○	○	
	深層芸術心理学B			2	講義			○	○	○	
一般教養科目	文化史A			2	講義		○	○	○	○	
	文化史B			2	講義		○	○	○	○	
一般教養科目	比較文化論A			2	講義		○	○	○	○	
	比較文化論B			2	講義		○	○	○	○	
一般教養科目	文化人類学A			2	講義		○	○	○	○	前期集中講義
	文化人類学B			2	講義		○	○	○	○	後期集中講義
一般教養科目	社会学A			2	講義		○	○	○	○	
	社会学B			2	講義		○	○	○	○	
一般教養科目	経済学			2	講義		○	○	○	○	
	経営学			2	講義		○	○	○	○	
一般教養科目	法学「日本国憲法」			2	講義		○	○	○	○	前期数中講義
	考古学A			2	講義		○	○	○	○	
一般教養科目	考古学B			2	講義		○	○	○	○	
	琵琶湖の民俗史			2	講義		○	○	○	○	
一般教養科目	近江学A			2	講義		○	○	○	○	*通年土曜
	近江学B			2	講義		○	○	○	○	平成26年度開講予定
一般教養科目	自然科学概論A			2	講義		○	○	○	○	
	自然科学概論B			2	講義		○	○	○	○	
一般教養科目	科学技術概論			2	講義		○	○	○	○	後期集中講義
	ボランティアワーク(指定選択)(資)			2	演習			教	教		教職 2年後期不定期土曜 3年介護体験全7日(通年)
一般教養科目	人権教育(指定選択)(資)			2	講義		教/○				
	地域文化論			2	講義		○	○	○	○	
一般教養科目	健康体力論			2	講義		○	○	○	○	前期集中講義
	スポーツ実習A			1	実習		○	○	○	○	後期1クラス開講
一般教養科目	スポーツ実習B			1	実習		○	○	○	○	前期1クラス開講 後期1クラス開講
	スポーツ実習C			1	実習		○	○	○	○	前期1クラス開講 後期1クラス開講
一般教養科目	スポーツ実習D			1	実習		○	○	○	○	前期1クラス開講
	スポーツ実習E			1	実習		○	○	○	○	後期集中講義

平成26(2014)年度以降入学生

平成25(2013)年度以前入学生

平成25(2013)年度以前入学生
共通教育センター科目

学芸員課程科目

教職課程科目

二級建築士受験資格講座科目

※配当学年の○は、望ましい履修学年として表記しています。科目の特性により下級学年が履修できる場合があります。

※他領域目を選択科目枠として受講希望する場合は、他領域開講科目履修希望を各学期の登録締切日までに教務に提出してください。

※専門科目の単位を修得した場合は、上限12単位まで選択科目単位として認められます。

プロジェクト演習について

「芸術による社会への貢献」を教育理念とする本学では、地域貢献活動を具現化するために「結ぶ、つなげる、広げる」をテーマに、「学生・教員の教育、研究に貢献していること」「連携先の社会活動に貢献していること」「大学を含む地域社会全体に貢献していること」という3つの貢献を包括する事業をプロジェクトとして展開しています。

その中でも、学生の教育や教員の研究に資する内容があるものについては、本学の教育カリキュラムの一環として「プロジェクト演習」という科目(2単位の認定科目)を設定して、単位認定を行っています。

科目名は、「(例)プロジェクト演習1A」と呼び、数字「1」の部分は受講時期に合わせた学修目標のレベルを示し、アルファベットはプロジェクトの内容に準じるカテゴリを意味します。(下記を参考にしてください)

プロジェクトの受講時期に合わせた学修目標のレベル表

	専門導入課程	専門基盤課程		専門研究課程
	1年生	2年生	3年生	4年生
	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
科目名	プロジェクト演習1A	プロジェクト演習2A	プロジェクト演習3A	プロジェクト演習4A
	プロジェクト演習1B	プロジェクト演習2B	プロジェクト演習3B	プロジェクト演習4B
	プロジェクト演習1C	プロジェクト演習2C	プロジェクト演習3C	プロジェクト演習4C
	プロジェクト演習1D	プロジェクト演習2D	プロジェクト演習3D	プロジェクト演習4D
	プロジェクト演習1E	プロジェクト演習2E	プロジェクト演習3E	プロジェクト演習4E

プロジェクトのカテゴリ

A:歴史・地域 B:デザイン C:文化・芸術 D:教育・福祉 E:プロデュース

学修目標のめやす

学修目標は学年ごとに設定された以下の学修目標と、カテゴリごとの開講目的への理解などから構成されます。以下の学修目標は一般的な一例です。プロジェクトによってその内容は変わります。

< 学 年 >

< 目 標 例 >

- 1年 …… 積極的にプロジェクトに参加し、共同作業を行う
- 2年 …… 与えられた役割を理解し、自らの意思で作業を行う
- 3年 …… 参加するプロジェクトの内容を理解し、企画・立案が出来る
- 4年 …… リーダーとしてプロジェクトを牽引する、またはフォロワーとしてプロジェクトを遂行する。
地域文化とその背景を理解し、自らの表現が社会と対峙できているかを理解できる

プロジェクト科目の履修登録から単位認定まで

プロジェクト科目は履修登録ガイダンス時に、開講するプロジェクトのシラバスを公開します。

⇒シラバスを確認して履修登録を行います。

⇒初回の授業で担当教員からガイダンスを受けます。

⇒ガイダンスでは、「プロジェクトレポート」の説明をうけます。

⇒「プロジェクトレポート」とは、そのプロジェクトにおける自分の目標や、進行状況や取り組み状況、プロジェクトの結果、まとめなどを写真や図表も交えてわかりやすくまとめるポートフォリオのようなものです。授業が開始すると同時にレポートの作成を始めます。

⇒プロジェクトが終了したら、担当教員の指示を受け、指定の期日までに「プロジェクトレポート」を教務課に提出します。

⇒担当教員がレポートを確認して到達目標を判断し、目標レベルに到達していると判断されれば「認定」となり、成績表には「N」と記され、2単位が取得単位として認定されます。

平成27年度に開講が予想されるプロジェクト

- ・近江里山フィールドワーク(担当:今森光彦客員教授監修)【A:歴史・地域】
- ・大津祭曳山連盟公式キャラクター「ちま吉」プロジェクト(担当:田中真一郎)【E:プロデュース】
- ・大津市歴史博物館おもちゃづくりワークショッププロジェクト(担当:宇野君平)【C:文化・芸術】
- ・実践デザインプロデュースプロジェクト(担当:大草真弓)【B:デザイン】、【E:プロデュース】

他、合計15科目程度のプロジェクト演習が開講される予定です。3月末の履修登録ガイダンスで募集を開始します。

■ 学芸員とは

博物館には、博物館法に基づき、資料の収集・保管・展示・調査・研究など、これらに関連する事業についての専門的事項をつかさどる職員として、学芸員をおかなければなりません。学芸員の有資格者には、博物館の事業に類する機関として、美術館、資料館、水族館、動物園、植物園などにおいて、専門職としての職域が開かれています。

■ 学芸員資格の取得条件

学芸員となる資格を得るためには「博物館法」第5条第1項および本学が定めた規定に基づき、以下の条件を満たしてください。

- 1) 学芸員課程履修届を提出し、所定の課程履修費を納めていること。
 - 2) 学士の学位を有すること(所属学部学科を卒業すること)。
 - 3) 学芸員課程で定めた科目の単位を修得していること。
- 以上、3つの条件を満たした者には、卒業時に「学芸員資格証明書」を授与します。

■ 学芸員の基礎資格・最低修得単位数

基礎資格	法定基準		本学における最低修得科目および単位数	
学士の学位を有する者	必修科目・単位	9科目 19単位	必修科目・単位	11科目 19単位
	選択科目・単位	2系列 4単位	選択科目・単位	2系列 2科目 4単位

資格課程科目（学芸員課程）

科 目 名		単 位 数		授 業 形 態	学 年	学 期	特記事項
		必 修	選 択				
必修科目	博物館概論	2		講義	学芸員課程1年生	後期	
	生涯学習概論	2		講義	学芸員課程1年生	後期集中	
	博物館展示論	2		講義	学芸員課程2年生	前期	
	博物館資料論	2		講義	学芸員課程2年生	後期	
	博物館情報・メディア論	2		講義	学芸員課程2年生	後期	
	博物館教育論	2		講義	学芸員課程2年生	後期集中	
	博物館資料保存論	2		講義	学芸員課程3年生	前期	
	博物館経営論	2		講義	学芸員課程3年生	前期集中	
	博物館実習1	1		実習	学芸員課程3年生	前期	
	博物館実習2	1		実習	学芸員課程3年生	後期	
博物館実習3	1		実習	学芸員課程4年生	集中	博物館実習1・2履修済要件	
選択科目	東洋・日本美術史概説A		2	講義	美術史系列		2系列以上より 2科目4単位以上を 選択必修
	東洋・日本美術史概説B		2	講義			
	西洋美術史概説A		2	講義			
	西洋美術史概説B		2	講義			
	デザイン史概説A		2	講義			
	デザイン史概説B		2	講義			
	工芸史		2	講義	文化史系列		
	文化史A		2	講義			
	文化史B		2	講義			
	比較文化論A ※		2	講義			
	比較文化論B ※		2	講義	考古学系列		
	考古学A		2	講義			
	考古学B		2	講義			
	琵琶湖の民俗史		2	講義	民俗学系列		
文化人類学A		2	講義				
文化人類学B		2	講義				

※ 平成26(2014)年度以降入学生は除く

学芸員課程4年間の予定

1年次	4月 9月	履修計画に基づき、【前期】選択科目を履修登録 履修ガイダンス(学芸員課程概要・履修方法を説明)に必ず参加 履修計画に基づき、【後期】必修科目・選択科目を履修登録 学芸員課程履修届提出、学芸員課程履修費(10,000円)を納付
2年次	(3月)～4月 9月	履修計画に基づき、【前期】必修科目・選択科目を履修登録 学芸員課程履修費(10,000円)を納付 履修計画に基づき、【後期】必修科目・選択科目を履修登録
3年次	(3月)～4月 7月頃 夏期休暇中 9月	履修計画に基づき、【前期】必修科目・選択科目を履修登録 学芸員課程履修費(10,000円)を納付 現地美術研修(1泊2日)・3,000円程度の個人負担有 館務実習先の開拓・調査・研究 履修計画に基づき、【後期】必修科目・選択科目を履修登録 館務実習先希望調査票の提出(学生支援部門)
4年次	(3月)～4月 5月～11月 6月～12月 9月 2月 3月	履修ガイダンス(館務実習先の発表、注意事項など) 履修計画に基づき、【前期】必修科目・選択科目を履修登録 学芸員課程履修費(10,000円)及び館務実習保険料(340円)を納付 館務実習実施(各館 1 週間から 2 週間程度) 館務実習終了後、実習ノート・レポート・データを提出(学生支援部門) 履修計画に基づき、【後期】必修科目・選択科目を履修登録 学芸員資格証明書授与判定 学芸員資格証明書授与

注意

- 1) 日程は予定であり、学年暦・各種行事等により変更される場合があります。
- 2) 学芸員課程履修費は改訂される場合があります。
- 3) 他、必要な情報は、成安情報サービスにてお知らせをしますので、定期的に確認をするようにしてください。

教職課程科目

本学の芸術学部教職課程は、平成22(2010)年度からの適用規定をあらため、平成26(2014)年度以降入学生より次のとおりとします。
 尚、平成24(2012)年度第3年次編入学生からは、条件つきですが途中からの教職課程履修を認めることになっています。

■ 教職課程の履修のしかた

近年、新規の教員採用は年々減少しており、国立の教員養成大学の統廃合が検討されるなど、教員を志望する学生にとってはますます厳しい状況となっています。また、教育現場では「学級崩壊」「いじめ問題」など教員の指導力・資質を問うさまざまな問題も生じています。このような状況の中、将来教員を志望する熱意ある学生を対象に教職課程を開設します。成安造形大学で教職課程を履修するためには、

1. 将来、教育職につくという強固な意志をもつ。
2. 制作・研究活動と両立させる。

という心構えが、必要不可欠です。特に、制作・研究活動との両立は、精神的にもまた、体力的にも相当の覚悟を必要とします。「友人が誘うから」「両親が勧めるから」「免許だけでも取っておこう」といった安易な気持ちで履修すると、教員免許を取得することはおろか、卒業すらできなくなることにになりかねません。

以上のことから、本学では非常に厳しい履修上の条件を独自に設定しています。教職課程の履修を希望する学生は、1年生前期で十分に考えをまとめて7月末の履修ガイダンスに出席し、そこで配布される詳細な履修要項を十分理解した上で、履修を決定してください。

■ 本学で取得できる教育職員免許状

- (1) 本学で取得できる教育職員免許状の種類は次のとおりです。

学部・学科	免許状の種類
芸術学部 芸術学科	中学校教諭1種免許状(美術)
	高等学校教諭1種免許状(美術)

ただし、本学では中学校・高等学校免許状の同時取得(両方取得する)を原則とし、カリキュラムを構成しています。

- (2) 教育職員免許状の授与要件

「教育職員免許法」ならびに「同法施行規則」で定められている免許状授与のための要件は以下のとおりです。

- ① 基礎資格 学士の学位を有すること。
- ② 大学において修得することを必要とする最低単位数(法定基準)

「教科に関する科目」	20単位	
「教職に関する科目」	中1種免:31単位	高1種免:23単位
「教科又は教職に関する科目」	中1種免:8単位	高1種免:16単位
「日本国憲法」	2単位	
「体育」	2単位	
「外国語コミュニケーション」	2単位	
「情報機器の操作」	2単位	
- ③ 中学校教諭1種免許状を取得するためには、7日間以上の「介護等体験」が必要。(免許申請時に証明書が必要)
 以上の要件は、国が定める最低条件であり、本学では教職課程履修案内で詳細を掲載しています。

■ 教職インターンシップについて

教育実習や介護等体験支援校実習など教育現場での体験実習に加えて教職の「インターンシップ」制度があります。社会実践科目群「インターンシップA・B」の中の一つに教育現場実務体験も含まれていて単位認定がされます。受講対象・履修要件としては教職課程履修者4年生となっています。近隣の中学校で10日間、教育実習では十分に体験しきれない教育現場での児童生徒の指導をはじめ校内の様々な学校業務(授業は含みません)を追体験して、より一層教育現場の理解と自己課題の発見に努めることを目的としています。将来教職に就くことが概ね固まった人に対して4年生の5、6月に個別に履修推奨を行います。シラバスの「インターンシップA・B」とは授業計画が異なりますので、質問や詳細は教職課程合同研究室に確認してください。

資格課程科目(教職課程) ※平成26(2014)年度以降入学生

科目名			単位数		授業形態	学期	学 年	特記事項
			必修	選択				
教職課程	教職入門		2		講義	後期	教職課程1年生	
	教育制度論		2		講義	後期	教職課程1年生	
	教育原理		2		講義	前期	教職課程2年生	
	人権教育		2		講義	前期	教職課程2年生	
	教育課程・特別活動論		2		講義	前期	教職課程2年生	
	美術科教育法1		2		講義	後期	教職課程2年生	
	美術科教育法2		2		講義	後期	教職課程2年生	原則「美術科教育法1」履修済要件
	道德教育の研究		2		講義	後期	教職課程2年生	
	教育方法の研究		2		講義	後期	教職課程2年生	
	ボランティアワーク1		1		演習	後期不定期	教職課程2年生	事前講義
	ボランティアワーク2		1		実習	不定期	教職課程3年生	介護等体験、事後指導
	生徒指導の研究		2		講義	前期	教職課程3年生	
	教育心理学		2		講義	前期	教職課程3年生	
	教育相談		2		講義	後期	教職課程3年生	
	美術科教育法3		2		講義	前期	教職課程3年生	原則「美術科教育法1、2」履修済要件
	美術科教育法4		2		講義	後期	教職課程3年生	原則「美術科教育法1、2、3」履修済要件
	教育実習事前事後指導		1		講義	不定期	教職課程4年生	4年生不定期開講
	教育実習A		2		実習	不定期集中	教職課程4年生	
	教育実習B		2		実習	不定期集中	教職課程4年生	
	教職実践演習		2		演習	後期	教職課程4年生	教育実習履修要件

教職課程の履修科目については、入学年度別の「教職課程履修案内」で確認してください

資格課程科目(教職課程) ※平成25(2013)年度以前入学生

科目名			単位数		授業形態	学期	学 年	特記事項
			必修	選択				
教職課程	教職入門		2		講義	前期	教職課程1年生	
	教育原理		2		講義	前期	教職課程1年生	
	教育心理学		2		講義	後期	教職課程1年生	
	教育制度論		2		講義	後期	教職課程1年生	
	人権教育		2		講義	前期	教職課程1年生	
	教育課程・特別活動論		2		講義	前期	教職課程2年生	
	美術科教育法1		2		講義	前期	教職課程2年生	
	美術科教育法2		2		講義	後期	教職課程2年生	原則「美術科教育法1」履修済要件
	道德教育の研究		2		講義	後期	教職課程2年生	
	生徒指導の研究		2		講義	後期	教職課程2年生	
	教育方法の研究		2		講義	前期	教職課程2年生	
	ボランティアワーク		2		演習	不定期	教職課程2、3年生	2年生後期講義、3年生介護等体験 事後指導
	教育相談		2		講義	前期	教職課程3年生	
	美術科教育法3		2		講義	前期	教職課程3年生	原則「美術科教育法1、2」履修済要件
	美術科教育法4		2		講義	後期	教職課程3年生	原則「美術科教育法1、2、3」履修済要件
	教育実習事前事後指導		1		講義	不定期	教職課程4年生	4年生不定期開講
	教育実習A		2		実習	前集中	教職課程4年生	
	教育実習B		2		実習	後集中	教職課程4年生	
	教職実践演習		2		演習	不定期	教職課程4年生	教育実習履修要件

二級建築士受験資格講座

二級建築士受験資格講座は平成26(2014)年度以降入学生から適用されています。
※平成25(2013)年度以前の入学生は、指定科目が違いますので、領域担当教員に確認して下さい。

二級建築士受験資格講座

二級建築士、木造建築士の受験資格を得るために必要な、本学が指定する科目(下記表※印科目)を履修するために開講する講座です。※印科目を授業するためには二級建築士受験資格講座に登録する必要があります。

二級建築士とは

都道府県知事の免許を受け、二級建築士の名称を用いて、設計、工事監理等の業務を行う者

木造建築士とは

都道府県知事の免許を受け、木造建築士の名称を用いて、木造の建築物に関し、設計、工事監理等の業務を行う者

二級建築士受験資格

本学の指定する以下の科目(国土交通大臣の指定する建築に関する科目)を修めて卒業した者に対して受験資格を取得することが出来ます。ただし取得した単位数によっては建築実務の経験年数が必要になる場合があります。

資格課程科目(二級建築士受験資格) ※平成26(2014)年度以降入学生

指定科目の分類	科目名	授業形態	単位数	配当学年				受験資格取得必要単位数	特記事項
				1年	2年	3年	4年		
①建築設計製図	空間デザイン演習2-a	演習	2		○			5単位以上	
	空間デザイン演習4-a	演習	2		○				
	空間デザイン演習6-a	演習	2			○			
②～④建築計画、建築環境工学又は建築設備	西洋建築史	講義	2		○	○	○	7単位以上	
	日本建築史	講義	2		○	○	○		
	住居・住宅論 ※	講義	3		○	○	○		
⑤～⑦構造力学、建築一般構造又は建築材料	建築構造演習1 ※	演習	2			○	○	6単位以上	
	住宅一般構造 ※	講義	2			○	○		
	建築構造演習2 ※	演習	2			○	○		
⑧建築生産	建築施工 ※	講義	1			○	○	1単位以上	
⑨建築法規	住居と法律 ※	講義	1			○	○	1単位以上	
⑩その他	空間デザイン基礎演習2	演習	2	○				適宜	
	空間デザイン演習3-a	演習	2		○				
	空間デザイン演習8-a	演習	2			○			
	基礎造形実習2A	実習	2	○					
	空間デザイン実習1-a	実習	2		○				
	空間デザイン実習3-a	実習	2		○				
	空間デザイン実習4-a b	実習	2		○				
	空間デザイン実習5-a	実習	2			○			
	空間デザイン実習7-a	実習	2			○			
	図法演習	演習	2		○	○	○		
				必要な実務経験年数0年				40単位以上	
				必要な実務経験年数1年				30単位以上	
				必要な実務経験年数2年				20単位以上	

※印の科目を履修するには、二級建築士受験資格講座の登録が必要になります。

造形学部の目的

「芸術による社会への貢献」という大学の理念の下、幅広い教養とデザイン・造形美術に関する専門技能を体得させ、社会の即戦力となる人材の養成を目指し、専門分野にも特化しながらも広い視野で大きな事象が把握できるように指導し、バランス感覚の取れた質の高いクリエーターの育成を目指す。

科目の種別

卒業するためには、必修の群別専門科目64単位と選択科目60単位以上の合計124単位以上を修得しなければなりません。選択科目については、以下の各項にあげた各種の選択科目から自由に履修することができます。科目内容や年次ごとの履修科目数などをよく考えたうえで在学中の履修計画をたててください（平成18（2006）年度以前の入学生、並びに平成20（2008）年度以前の3年次編入生には別途、卒業要件ならびに履修方法を指示します）。

【カリキュラム一覧】 平成19年度以降の 1 年次入学生対象

種 別		履修対象	単位	
群別専門科目	必修科目	群に所属する学生	64単位	
学部共通基本科目	造形基本科目群	選択科目	全学の学生	60単位以上
	教養科目群			
	社会実践科目群			
	単位互換事業科目			
卒業するためには…				124単位以上

1. 群別専門科目

群別専門科目とは、各群がその群に所属する学生に対して提供する科目で、必修科目として各群・各クラスの専攻分野を修めるために必要不可欠な科目です。各学年・各学期に配当され、各群・各クラスとも4学年（8学期）で合計64単位となります。原則として、所定の学年・学期に履修します。なお、群・クラスにより、「選択必修科目」があります。この科目は、一定の科目群の中から一定の科目を必ず選択して履修しなければならない科目です。

本学では、より専門分野を追究させる為に所属する群・クラスの必修群別専門科目に加えて、他学科・他群・他クラスの群別専門科目を最大12単位まで履修できる制度を設けています。希望者は、履修登録時に学生支援部門に申し出てください。なお、希望者には履修希望理由に関するレポートが課せられます。ただし、受講学年の制限・前提科目の受講・受講定員などの関係で登録が認められない場合がありますので事前に学生支援部門で確認をしてください。なお、修得単位は選択科目単位となります。

2. 学部共通基本科目・造形基本科目群

造形活動にかかわる専門家としての知識を深める科目群
この科目群はみなさんの造形活動を支える科目です。1・2年次で履修する基礎科目と1年次から4年次までで履修する専門科目があります。

3. 学部共通基本科目・教養科目群

学びの基礎・考え方の基礎・コミュニケーション力をふかめる科目群

この科目群の中には学ぶにおいて必要な基礎的な能力を養成するために1・2年次で履修する大学基礎科目と、全学年が対象となる語学を中心としてコミュニケーション能力を育成する語学教養科目、自分が伸ばしたい学問分野について学ぶことができる全学年自由選択の一般教養科目が用意されています。

また、発展科目として大学コンソーシアム京都・環びわ湖大学連携による単位互換科目があります。（単位互換科目については別に登録用の冊子を参照してください。）

4. 学部共通基本科目・社会実践科目群

社会への貢献を実現する科目群

自分の将来の姿を現実近づけるための、キャリア支援科目と芸術による社会への貢献を実現するプロジェクトを単位化する造形プロデュース科目があります。

5. 学芸員資格取得に関する科目

学芸員資格取得に関する科目は、必修科目と選択科目に分かれます。必修科目は、博物館法をはじめとする関連諸法規にもとづいて開講されています。また、選択科目は、指定された科目を指します。

「学芸員課程履修届」を提出した学生しか履修することはできません。また、これらの必修科目を卒業に必要な単位として算入することはできません。

6. 教員免許状取得に関する科目

教員免許状取得に関する科目は、必修科目と選択科目に分かれます。必修科目は、教育職員免許法をはじめとする関連諸法規にもとづいて開講されます。また、選択科目は、基本科目・基礎専門科目・群別専門科目において指定された科目を指します。

教員免許状取得に関する科目は、「教職課程履修届」を提出して教員免許状取得を希望する学生以外は履修できない科目が多いので、注意が必要です。また、教員免許状取得に関する科目は、卒業のために必要な単位に算入することができない科目が多いことにも注意してください。

なお、本課程は、平成13（2001）年度以前の入学生並びに平成14（2002）年度及び平成15（2003）年度3年次編入学生には適用されません。

7. 二級建築士・木造建築士の受験資格

環境デザイン群及び住環境デザイン群の学生は、必修の群別専門科目（64単位）に加え、群別専門科目の中の指定された選択科目を履修することで、二級建築士および木造建築士の受験資格（実務経験0年）を得ることができます。

デザイン科

■ デザイン科の人材育成目的

今日の社会の変化は、かつて人類が経験しなかった加速度を持っている。多様な変化の予想される21世紀の社会において、自らの尺度を持ち、柔軟な発想、思考、感性に基づき、自ら判断し、「ものづくり」「ことおこし」のできる人材を育成する。

■ デザイン科の特色

21世紀の生活はどのように変わるのでしょうか。いざ21世紀に変わってみると、そのイメージはあまりありません。子どもの頃から思い描いていた「鉄腕アトム」や「2001年宇宙の旅」の中の未来的な家電、乗り物は20世紀の発想であったように思われます。私たちは長い間、「モノ」を手に入れることでの豊かな社会を思い描いてきました。しかし、その結果はどうだったでしょうか。モノは溢れ、人と人のコミュニケーションは寸断されて、さまざまな社会問題を生んでいます。21世紀はもっと「人間が人間らしい生活」を手にすることができる時代なのだと確信します。情報に流されることなく、自分自身のライフスタイルをはっきりと持つことが大切になるでしょう。日本の平均寿命は現在80歳を超え、2020年には日本のおよそ $\frac{1}{4}$ が65歳以上になると予想されています。このような社会の人口構成の変化の過渡期にある現在、年齢、体型、障害にかかわらず、誰もが、快適で、生きられる歓びに充ちた生活が求められはじめています。近年、アメリカの建築家ロナルド・メイスが提唱したのが「ユニバーサル」（「普遍的な、万人の」の意）です。メイスはユニバーサルデザイン7原則を挙げていますが、1）公平な利用、2）利用における柔軟性、3）単純で直感的な利用、4）わかりやすい情報、5）間違いに対する寛大さ、6）身体的負担は少なく、7）接近や利用に際する大きさと広さを満たすこと。この考え方は21世紀のデザインの理念として広がって行くでしょう。

今日の社会の変化は、かつて人類が経験しなかった加速度をもっています。多様な変化の予想される21世紀の社会においては、自らの尺度をもち、柔軟な発想、思考、感性に基づき、自ら判断し、「ものづくり」「ことおこし」のできる人材の育成が問われています。

そのためには「造形知」を発揮して、自分で総合的に思考を組み立て、課題を解決できることが重要です。デザイン科ではひとつの専門分野に固守することなく多様化し拡大するデザインの領域を総合的に把握し、学べるようカリキュラムが組まれています。また、開学以来、地域の文化・産業と連携しながらフィールドワークやプロジェクトなどの教育研究を進めるなど、積極的にデザインと社会の融合を押し進めているのもデザイン科の特色となっています。こうした特色は、次の4点にまとめることができます。

1) 「デザイン」を科学・技術と人間との「調和」のためのメディアとして積極的にとらえ、地球環境の保全と豊かで快適な人間社会実現のための方法論を探究します。

2) 今、社会は大きな転換期を迎えています。豊かな「もの」を必要とする時代から、豊かな「心」、生きる力を育てる時代に変わりつつある中で、「デザイン」の新しい価値が問われています。「デザイン」にはものづくりだけでなく、創造し、エンジョイし、社会とコミュニケーションしようとする「造形知」の役割が重要になっています。

3) デザイン科は、ジャンルやメディアを超え、総合的な視点で捉えることを教育の柱としています。

4) 地域の文化・産業と連携しながら、教育研究を進めるなど、社会に開かれた実践を通して「デザイン」の在り方を推し進めています。

造形学部デザイン科は、ビジュアルメディア群、映像デザイン群、イラストレーション群、環境デザイン群、ファッションデザイン群、芸術文化デザイン群の6群より構成されています。それぞれの群の特色は、以下のとおりです。

■ ディプロマポリシー（学位授与方針）

デザイン科

「デザイン」を科学・技術と人間との調和のためのメディアとして積極的に捉え、自らが柔軟な発想、思考、感性に基づき「ものづくり」「ことおこし」のできる人材育成を教育目標とした、一つの専門分野に固守することなく多様化し拡大するデザインの領域を総合的に把握、学べるようなカリキュラムを編成し、卒業までに所定の単位を修めた学生に対し卒業を認定し、学位（芸術学士）を授与する。

■ カリキュラムポリシー（教育課程編成方針）

1年生から専門教育を行い4年間で社会に出る技量を身に付けさせ、少人数教育、人間性の重視、コラボレーション、フィールドワーク、情報教育の重視、生涯学習、国際交流、クラスを超えた教育環境づくりなどを行いながら、専門教育での必修科目を体系的に修得できる教育課程を編成。選択科目は学部共通基本科目として、造形基本科目群、教養科目群、社会实践科目群に分割し、学生に自由選択させることにより、学生が地域社会における実体験を積み、芸術と社会の有様を具体的に模索する機会を充実させ、実践していく。

（１）造形基本科目群

1．2年次で履修した基礎科目、1～4年次で履修する専門科目を通じて、造形活動にかかわる専門家としての知識を深めていく。

（２）教養科目群

大学において必要な基礎的な能力を養成するために、大学基礎科目、語学教養科目、一般教養科目を設け、学びの基礎・考え方の基礎・コミュニケーション力などを深めていく。

（３）社会实践科目群

自分の将来の姿を現実近づけるため、キャリア支援の実践的なプログラムを展開し、また芸術による社会への貢献を実現する造形プロデュース科目を設け、社会貢献における幅広い知識を修得する。

（４）群別専門科目

必修科目を学ぶにあたって、より専門分野を追求し、ものづくりの根幹や歴史など、各群・各クラスの専攻分野を深く掘り起こし、幅広い知識を修得する。

芸術学科
デザイン科 ビジュアルメディア群
造形美術科 造形表現群
造形基本科目群
教養科目群
社会実践科目群
学芸員課程科目
教職課程科目

ビジュアルメディア群

■ ビジュアルメディア群

めまぐるしく進化しているメディアテクノロジーの中で、情報を発信する側と受信する側をつなぐ境界線を、いかに感性豊かで創造的なものとして提案できるか。また広い意味でのビジュアルメディアのデザインのあり方を模索できるか。そうした現代社会におけるデザインの課題に的確に応えられる人材を育成する。

■ ビジュアルメディア群の教育方針

人間は多様なメディア（情報媒体）によってコミュニケーションを行い、社会や文化を育んできました。それは、最も古くかつ強力なメディアである言語の使用を例にしてみれば明らかでしょう。互いに情報を受け取り、編集し、発信しあう他者とのコミュニケーションにおいても、常に言語が基盤になっているのです。人間とメディアは、相互に関係しながら切り離すことのできない密接な関係を形成しており、人々の精神や社会の構造に多大な影響を与えているのです。その意味で人間や社会は一定不変のものではなく、メディア環境との相互関係によって変化します。この点にこそメディアの本質があると考えます。

現在めまぐるしく進行しているメディアテクノロジーの進化は、これまでのコミュニケーションのあり方を変革する情報ネットワーク社会への移行を促すとともに、人々の精神にも多大な影響を及ぼしています。そのような状況下において、デザインが取り組むべき役割とは、情報を発信する側と受信する側をつなぐ境界面を、いかに感性豊かで創造的なものとして提案できるかという課題であり、広い意味でのビジュアルメディアのデザインのあり方を模索することなのです。本群は、そのような現代社会におけるデザインの課題に的確に応えることのできる人材を育成するために、次のような教育方針を挙げています。

- 1) メディアの理解と批判精神：人間との関係からメディアの本質を理解するとともに、無反省で盲目的なテクノロジー礼賛に陥ることを避け、メディアに対する批評精神を育てます。
- 2) 問題解決能力：情報の集積と編集、そして対話を繰り返しながら、状況分析や問題発見を行うとともに、創造的な問題解決を実践するための情報デザインやデザインマネジメントの手法を身につけます。
- 3) 高度な専門性と諸メディアの統合能力：各種メディアにおけるデザインの形式を基礎としながら高い専門性を身につけるとともに、必要に応じて多様なメディアを統合し有効利用できる技術力や発想力を育成します。

■ ビジュアルメディア群の教育内容

1) 講義・演習・実習授業：ビジュアルメディア群の専門授業は以下の段階を踏まえて設定しています。第1段階（1年次）では、メディアを利用してデザインする基礎として、写真・印刷・映像の3つの分野に注目し、すべての分野のデザイン形式について学ぶとともに、その差異についての理解を促します。また作品制作に関わる、プランニングとプレゼンテーションのプロセスを重視しつつ、メディアを社会に活かすためのデザインマネジメントの基礎的手法を獲得します。第2段階（2年次）においては、写真・グラフィックデザインいずれかを選択し、各分野における専門知識や制作能力を学び、特化した専門分野で学年を重ねることで、より高いレベルの研究・制作を行います。またそれぞれの学生が個々にテーマを持ち、社会に発信・提案しうるビジュアルメディアをデザインする能力を獲得します。そして以下のことをそれぞれの専攻で達成します。

写真クラス（専攻）では、個々が培った力でメディアや機材・設備など知識などを幅広く活かし、展覧や個展などを通じて自己表現を追求し、社会への発信力を身につけます。そのために、2年次に写真を深く学ぶための基礎を身につけ、個々のテーマの発見することを目標とし、表現に必要な歴史や、様々な写真の手法や技術を身につけます。更に表現の可能性を広げるためにグラフィックデザインと映像表現についても学びます。3年次には自己表現をより深く追求し、考え方と技術をバランスよく学びつつ、個々のテーマを明確にして社会に向けて発表します。4年次には作品制作を通して、ものの考え方や技術を高めて、表現することやデザイン力を発展させて社会に通していき、将来の職業に活かすことができる実力をつけます。

またグラフィックデザインクラス（専攻）では、ビジュアルコミュニケーションデザインの役割を理解し、社会に向けてメッセージを伝達するための幅広い知識と表現力、統合力を修得します。そのために、2年次にグラフィックデザインの領域の理解と基礎力を修得。3年次は、広告クリエイティブコース・パッケージデザインコース・インタラクティブデザインコースの3コースから1コースを選択し、グラフィックデザイン領域の専門知識、表現能力をより深めます。4年次には、それぞれのコースにおいて、そのデザイン領域での実践研究として、トータルデザインワークを通してディレクション能力を高め、プロ意識の確立を目指します。

2) 特別講義とワークショップ：IT（情報技術）の進展によって、メディアに関わる状況はめまぐるしく変化しています。ビジュアルメディア群では、そのような時代の潮流をいち早く掴み取るために、また各メディア分野における多様な問題意識を育むため、通常の授業とは別の教育プログラムを設定しています。実社会で活躍する第一線のデザイナーやアーティスト、またディレクターやプロデューサーなどを招き、特別講義やワークショップを開催することで、最先端の知見やノウハウを提供していただきます。

3) プロジェクト：メディアを使ってデザインをする教育実践は、大学内における教育プログラムのみで完結するものではありません。むしろ広く社会と関わりながら育まれるべきでしょう。ビジュアルメディア群では、地域・社会に対する文化貢献のためのプロジェクトや、多様な産業との連携による実験的なプロジェクトを組織することで、より実践的なビジュアルメディア教育を推進しています。またこれらは、学年やクラスの壁を越えた横断的なプロジェクトとして位置づけられます。

ビジュアルメディア群（写真クラス）平成19（2007）年度以降入学生

2012年度4年生		単位数			授業形態	開講期・年次				特記事項	特許可能ライセンス	群別専門科目卒業要件
		必修	クラス必修	特別選択		1年	2年	3年	4年			
	基礎造形実習1	2			実習	○						
	基礎造形実習2	2			実習	○						
	基礎造形実習3	2			実習	○						
	基礎造形実習4	2			実習	○						
	デザイン総合実習A			2	実習				○	この科目の開講については、 クラス担当より個別に指示がある。		
	デザイン総合実習B			2	実習				○			
	メディアデザイン演習A	2			演習	○						*必修の学科共通・群別専門科目64単位以上修得のこと
	メディアデザイン演習B	2			演習	○						
	デザインマネジメント演習	2			演習	○						
	写真基礎演習	2			演習	○						
	印刷基礎演習	2			演習	○						
	映像基礎演習	2			演習	○						
	ビジュアルメディア史A（写真）	2			講義		○					
	メディアデザイン論A	2			講義		○					
	メディアデザイン論B	2			講義		○					
	メディアデザイン論C	2			講義			○				
	メディアデザイン論D	2			講義			○				
	卒業制作	6			実習				○			
	写真演習1		2		演習		○					
	写真演習2		2		演習		○					
	写真実習1		2		実習		○					
	写真実習2		2		実習		○					
	写真実習3		2		実習		○					
	写真実習4		2		実習		○					
	フォトメディア演習1		2		演習			○				
	フォトメディア演習2		2		演習			○				
	フォトメディア実習1		2		実習			○			写真B(スタジオ撮影系、暗室系、写真コンピュータルーム)、多目的暗室	
	フォトメディア実習2		2		実習			○			写真B(スタジオ撮影系、暗室系、写真コンピュータルーム)、多目的暗室	
	フォトメディア実習3		2		実習			○				
	フォトメディア実習4		2		実習			○				
	フォトメディア実習5		2		実習				○			
	フォトメディア実習6		2		実習				○		写真B(スタジオ撮影系、暗室系、写真コンピュータルーム)、多目的暗室	

指定選択科目一覧

造形基本科目群の中で、下記の科目を指定選択科目とします。※写真Aライセンスは、特定の授業はありません。随時発行されます。
コンピュータ基礎演習1、2、3、4

推奨科目一覧

造形基本科目群の中で、下記の科目を推奨します。但し、科目の特性により受講要件が提示されることもあります。
詳細はシラバスで確認してください。
造形基礎科目、オルタナティブ文化論

芸術学科	デザイン科	造形美術科	造形基本科目群	教養科目群	社会実践科目群	学生員課程科目	教職課程科目
------	-------	-------	---------	-------	---------	---------	--------

芸術学科
デザイン科 ビジュアルメディア群
造形美術科 造形表現群
造形基本科目群
教養科目群
社会実践科目群
学生会員課程科目
教職課程科目

ビジュアルメディア群（グラフィックデザインクラス）平成19（2007）年度以降入学生

2012年度4年生			単位数			授業形態	開講期・年次				特記事項	取得可能ライセンス	群別専門科目卒業要件
			必修	クラス必修	特別選択		1年	2年	3年	4年			
		基礎造形実習1	2			実習	○						*必修の学科共通・群別専門科目64単位以上修得のこと
		基礎造形実習2	2			実習	○						
		基礎造形実習3	2			実習	○						
		基礎造形実習4	2			実習	○						
		デザイン総合実習A			2	実習				○	この科目の開講については、 クラス担当より個別に指示がある。		
		デザイン総合実習B			2	実習				○			
		メディアデザイン演習A	2			演習	○						
		メディアデザイン演習B	2			演習	○						
		デザインマネジメント演習	2			演習	○						
		写真基礎演習	2			演習	○						
		印刷基礎演習	2			演習	○						
		映像基礎演習	2			演習	○						
		ビジュアルメディア史B（グラフィックデザイン）	2			講義		○					
		メディアデザイン論A	2			講義		○					
		メディアデザイン論B	2			講義		○					
		メディアデザイン論C	2			講義			○				
		メディアデザイン論D	2			講義			○				
		卒業制作	6			実習				○			
		印刷演習1		2		演習		○					
		印刷演習2		2		演習		○					
		印刷実習1		2		実習		○					
		印刷実習2		2		実習		○					
		印刷実習3		2		実習		○					
		印刷実習4		2		実習		○					
		グラフィックデザイン演習1		2		演習			○			DTPルーム2ライセンス	
		グラフィックデザイン演習2		2		演習			○			DTPルーム2ライセンス	
		グラフィックデザイン実習1		2		実習			○			DTPルーム2ライセンス	
		グラフィックデザイン実習2		2		実習			○			DTPルーム1ライセンス	
		グラフィックデザイン実習3		2		実習			○			DTPルーム1ライセンス	
		グラフィックデザイン実習4		2		実習			○			DTPルーム1ライセンス	
		グラフィックデザイン実習5		2		実習				○		DTPルーム1，2ライセンス	
		グラフィックデザイン実習6		2		実習				○			

指定選択科目一覧

造形基本科目群の中で、下記の科目を指定選択科目とします。
 コンピュータ基礎演習1、2、3、4

推奨科目一覧

造形基本科目群の中で、下記の科目を推奨します。但し、科目の特性により受講要件が提示されることもあります。
 詳細はシラバスで確認してください。
 造形基礎科目、オルタナティブ文化論

映像デザイン群

映像デザイン群

メディアを使ったコミュニケーションは、人々が生活するうえで必要不可欠なものになっており、中でも映像はその中心軸としてさまざまな形で社会に浸透している。そうしたメディアとしての映像について、他のメディアとも関連付けながら現代社会の要求に応えられるデザイン力を養成し、アニメーションクリエイターやメディアクリエイターなどの人材を育成する。

映像デザイン群の教育方針・教育内容

メディアを使ったコミュニケーションは、いまや人々が生活するうえで必要不可欠なものになっています。中でも映像はその中心軸としてさまざまなかたちで社会に浸透し役立っています。映像デザイン群は、そうしたメディアとしての映像について他のメディアとも関連づけながら学び、現代社会の要求に応えられる広い意味でのデザイン力を育成します。

実際の社会の中で映像は、映画やテレビから、インターネット、CG、ゲーム、携帯電話など、さまざまな分野で用いられています。この幅広い映像メディアを総合的に学ぶにあたって、映像デザイン群では3つのクラスを設けています。

「CG・アニメーションクラス」は、アニメーションを軸にして、様々な映像メディアに精通した次世代のアニメーションクリエイターを育成することを目標としています。アナログからデジタル（CG）アニメーション、2D（平面）から3D（立体）アニメーション、商業からアートまで、制作技術はもちろん、コンテンツの構成員、Webをはじめとする多彩な映像メディアへの展開力を養います。今や芸術、文化、産業として国内外から注目されている日本のアニメーションの次世代を担う人材を育成します。

「映像・放送クラス」は、身の回りに溢れているさまざまな事柄についての問題意識を映像化することのできる力を養います。社会に対して自分の考えを投げかけていく映像表現のバリエーションとして、ドキュメンタリー、ドラマ、実験映画、TV番組制作などの表現を学びます。さらに自分の作品の制作を通じて企画立案、情報収集、シナリオや絵コンテの制作、対外的な交渉、カメラワーク、編集、ときには役者と、さまざまなことを体験します。これによって映像をトータルに制作し、マネジメントしていけるだけの力を身につけます。

映像デザイン群（CG・アニメーションクラス）平成19（2007）年度以降入学生

2012年度4年生		単位数			授業形態	開講期・年次				特記事項	特許取得可能ライセンス	群別専門科目卒業要件
		必修	クラス必修	特別選択		1年	2年	3年	4年			
	基礎造形実習1	2			実習	○						*必修の学科共通・群別専門科目64単位以上修得のこと
	基礎造形実習2	2			実習	○						
	基礎造形実習3	2			実習	○						
	基礎造形実習4	2			実習	○						
	デザイン総合実習A			2	実習				○	この科目の開講については、クラス担当より個別に指示がある。		
	デザイン総合実習B			2	実習				○			
	メディアデザイン演習A	2			演習	○						
	メディアデザイン演習B	2			演習	○						
	プロデュース演習	2			演習			○			DTP1ルームライセンス(映像放送3年・CGアニメ3年)	
	写真基礎演習	2			演習	○						
	印刷基礎演習	2			演習	○						
	映像基礎演習1	2			演習	○						
	映像基礎演習2	2			演習	○						
	メディアデザイン論A	2			講義		○					
	メディアデザイン論B	2			講義		○					
	メディアデザイン論C	2			講義			○				
	メディアデザイン論D	2			講義			○				
	卒業制作	6			実習				○			
	映像デザイン実習A		2		実習		○	○		映像デザイン実習1～9 から3科目6単位以上選択のこと 2年生又は3年生で修得のこと		
	映像デザイン実習B		2		実習		○	○				
	映像デザイン実習C		2		実習		○	○				
	映像デザイン実習D		2		実習		○	○				
	映像デザイン実習E		2		実習		○	○				
	映像デザイン実習F		2		実習		○	○				
	映像デザイン実習G		2		実習			○			コンピュータスタジオBライセンス	
	映像デザイン実習H		2		実習			○			コンピュータスタジオAライセンス	
	映像デザイン実習I		2		実習			○				
	CG・アニメーション演習1		2		演習		○					
	CG・アニメーション演習2		2		演習		○					
	CG・アニメーション演習3		2		演習			○			アニメーションスタジオAライセンス	
	CG・アニメーション演習4		2		演習			○			コンピュータスタジオBライセンス	
	CG・アニメーション実習1		2		実習		○					
	CG・アニメーション実習2		2		実習		○					
	CG・アニメーション実習3		2		実習			○				
	CG・アニメーション実習4		2		実習			○			コンピュータスタジオAライセンス	
	CG・アニメーション実習5		2		実習			○			コンピュータスタジオBライセンス	
	CG・アニメーション実習6		2		実習				○			
	CG・アニメーション実習7		2		実習				○			

指定選択科目一覧

造形基本科目群の中で、下記の科目を指定選択科目とします。
コンピュータ基礎演習1、2、3、4

推奨科目一覧

造形基本科目群の中で、下記の科目を推奨します。但し、科目の特性により受講要件が提示されることもあります。詳細はシラバスで確認してください。
造形基礎科目、映画史（H23～メディアデザイン史Cで開講）
アニメーション・映像論（H23～メディアデザイン史Dで開講）、オルタナティブ文化論

映像デザイン群（映像・放送クラス）平成19（2007）年度以降入学生

2012年度4年生		単位数			授業形態	開講期・年次				特記事項	取得可能ライセンス	群別専門科目 卒業要件	
		必修	クラス必修	特別選択		1年	2年	3年	4年				
	基礎造形実習1	2			実習	○						*必修の学科共通・群別 専門科目64単位以上 修得のこと	
	基礎造形実習2	2			実習	○							
	基礎造形実習3	2			実習	○							
	基礎造形実習4	2			実習	○							
	デザイン総合実習A			2	実習				○	この科目の開講については、 クラス担当より個別に指示がある。			
	デザイン総合実習B			2	実習				○				
	メディアデザイン演習A	2			演習	○							
	メディアデザイン演習B	2			演習	○							
	プロデュース演習	2			演習			○		DTP1ルームライセンス(映像放送3年・CGアニメ3年)			
	写真基礎演習	2			演習	○							
	印刷基礎演習	2			演習	○							
	映像基礎演習1	2			演習	○							
	映像基礎演習2	2			演習	○							
	メディアデザイン論A	2			講義		○						
	メディアデザイン論B	2			講義		○						
	メディアデザイン論C	2			講義			○					
	メディアデザイン論D	2			講義			○					
	卒業制作	6			実習				○				
	映像デザイン実習A		2		実習		○	○		映像デザイン実習 A～Iから3科目6単位以上選択 のこと 2年生又は3年生で修得のこと			
	映像デザイン実習B		2		実習		○	○					
	映像デザイン実習C		2		実習		○	○					
	映像デザイン実習D		2		実習		○	○					
	映像デザイン実習E		2		実習		○	○					
	映像デザイン実習F		2		実習		○	○					
	映像デザイン実習G		2		実習			○					
	映像デザイン実習H		2		実習			○					
	映像デザイン実習I		2		実習			○					
	映像・放送演習1		2		演習		○						
	映像・放送演習2		2		演習		○						
	映像・放送演習3		2		演習			○					
	映像・放送演習4		2		演習			○					
	映像・放送実習1		2		実習		○						
	映像・放送実習2		2		実習		○						
	映像・放送実習3		2		実習			○					
	映像・放送実習4		2		実習			○					
	映像・放送実習5		2		実習			○					
	映像・放送実習6		2		実習				○				
	映像・放送実習7		2		実習				○				

指定選択科目一覧

造形基本科目群の中で、下記の科目を指定選択科目とします。
コンピュータ基礎演習1、2、3、4

推奨科目一覧

造形基本科目群の中で、下記の科目を推奨します。但し、科目の特性により受講要件が提示されることもあります。
詳細はシラバスで確認してください。
造形基礎科目、映画史（H23～メディアデザイン史Cで開講）
アニメーション・映像論（H23～メディアデザイン史Dで開講）、オルタナティブ文化論

芸術学科
映像デザイン群
造形美術科
造形基本科目群
教養科目群
社会実践科目群
学生員課程科目
教職課程科目

芸術学科
デザイン科 イラストレーション群
造形美術科 造形表現群
造形基本科目群
教養科目群
社会実践科目群
学芸員課程科目
教職課程科目

イラストレーション群

■ イラストレーション群

ハンドドローイングを創作の原点として「原画力」を高め、各種メディアの特性・目的を知り、自分の原画をどうメディアへ展開していくのか、またどのようにビジュアルを描き、構成するかを模索していきながら、グラフィックデザイン的なアプローチとスキルを学んだ上で、デザイン工程までをきちんと理解したイラストレーターなどの人材を育成する。

■ イラストレーション群の特色・開講科目

近代的なポスターを生んだロートレックやミュシャはもちろん、中世ヨーロッパの宗教絵画や日本の絵巻物・浮世絵など、古くからその時代の「絵」が人々の情報伝達を担ってきました。

今日では、広告や書籍、雑誌、WEBから絵本・マンガ・ゲーム・アニメーションなど、各メディアにとって「絵」が不可欠な存在になっています。このように、絵＝イラストレーションは、言語にたよらず情報を伝達する『コミュニケーションアート』である、ととらえて欲しいと思います。

また、作品に触発されて、「笑い」や「遊び」「和み」「親しみ」「楽しさ」「懐かしさ」など、何か湧き上がってくる想いに満たされることがあります。写真や解説文だけでは伝わりにくい、ニュアンス、情感やメッセージが、平易なカタチ、的確なカタチで多くの人々の中にダイレクトに響き、見る人の感情を動かす、イラストレーションは『エンターテインメントアート』として、私たちの暮らしを豊かにし、支えているのです。

描くことによって、楽しみ、理解し、学べることはたくさんあります。イラストレーション群では、「想いや情報をビジュアル表現として伝える」ために、制作の基礎から順を追ってステップアップしていきます。

デジタル・アナログ両面からの実践的なカリキュラムを通して、視野を広げ、基礎的な力をバランスよく身につけていきます。まずは「人が描ける」「空間が描ける」ことから。それに演出を加え「情景を描く」ステップへ。さらに、これらを構成して「コンテンツとして組み立てられる」力を修得します。

あなたの「可能性を専門性に」、「好きをライフワークへ」と広げるカリキュラムなのです。

系統立てて学んでいくための5つの柱を以下に示します。

1. 「原画力」を高める
ハンドドローイングを創作の原点とし、まず描画の基礎から。よく見ること、描写力を高めること、造形的に表現することから始めます。基礎力と感じる心をしっかりと磨いて、ステップアップしていきます。

2. メディアへの展開
各種メディアの特性を知り、自分の原画をどう活かすかまでを考えます。表現技法のひとつとしての版表現、映像（アニメーションやインタラクティブ表現）、Web、さまざまな印刷物への活用、絵本やキャラクターグッズなど商品化の試作やプレゼンテーションなど、さまざまなメディアへの展開やそのための描画技法を実際の制作を通して学びます。

3. デザインする力
DTP（Desk Top Publishing）を学ぶことにより、グラフィックデザイン的なアプローチとスキルを学びます。よりよいデザインによってイラストレーションとタイポグラフィが効果的に統合され、より明確な伝達機能を発揮します。デザイン工程までをきちんと理解したイラストレーターを育成します。これにより、グラフィックデザイン分野の職業へ進む卒業生もたくさんいます。

4. コンテンツとして演出・構成する
それぞれのメディアの目的を考え、それに沿ったビジュアルを描き、構成する中で、より強いメッセージ性が生まれます。1枚だけでは伝えきれなかったものが、シリーズ展開することで、明確な伝達力や感動力へと昇華していきます。

5. 社会への発信
4年生の卒業制作までに、進級制作展やグループ展、個展、Webサイトなど、さまざまな機会を通して、社会への発信を積極的に行っていきます。また、社会の第一線で活躍されているイラストレーター、クリエイター、編集者の方をお招きして、特別講義なども行います。

私たち絵を描く者は、言葉で思考するのと同様に、描くことで思考しています。ここであらためて絵の力を信じ「自分の目で見て、実感し、イメージして、手で描くこと」を大切にし、ハンドドローイングの豊かな味わいと、そこから生まれる喜びを感じていきたいと思います。自分が描いたもので、人々がポジティブな気持ちになり、喜び、役に立つ。人が喜び、人の役に立つことを自分の喜びとする。そんな、人の心を動かす「想いを伝えるイラストレーション」を発信していきましょう。

イラストレーション群（イラストレーションクラス）平成19（2007）年度以降入学生

2012年度4年生		単位数			授業 形態	開講期・年次				特記事項	取得可能ライセンス	群別専門科目卒業要件
		必修	クラス 必修	特別 選択		1 年	2 年	3 年	4 年			
	基礎造形実習1	2			実習	○						*必修の学科共通・群別専門科目 64単位以上修得のこと
	基礎造形実習2	2			実習	○						
	基礎造形実習3	2			実習	○						
	基礎造形実習4	2			実習	○						
	デザイン総合実習A			2	実習				○	この科目の開講については、 クラス担当より個別に指示がある。		
	デザイン総合実習B			2	実習				○			
	ビジュアルデザイン演習	2			演習	○						
	イラストレーション基礎演習A	2			演習		○					
	イラストレーション基礎演習B	2			演習		○					
	デザイン技法演習1	2			演習	○						
	デザイン技法演習2	2			演習	○						
	表現技法演習1	2			演習	○						
	表現技法演習2	2			演習	○						
	ビジュアルデザイン論A	2			講義		○					
	ビジュアルデザイン論B	2			講義		○					
	ビジュアルデザイン論C	2			講義			○				
	ビジュアルデザイン論D	2			講義			○				
	イラストレーション演習1	2			演習		○					
	イラストレーション演習2	2			演習		○					
	イラストレーション演習3		2		演習			○			イラストコンピュータルーム1ライセンス	
	イラストレーション演習4		2		演習			○			イラストコンピュータルーム2ライセンス	
	イラストレーション実習1	2			実習		○					
	イラストレーション実習2	2			実習		○					
	イラストレーション実習3	2			実習		○					
	イラストレーション実習4	2			実習		○					
	イラストレーション実習5	2			実習			○				
	イラストレーション実習6	2			実習			○				
	イラストレーション実習7	2			実習			○				
	イラストレーション実習8	2			実習			○				
	イラストレーション実習9	2			実習				○		イラストコンピュータルーム1、2ライセンス	
	イラストレーション実習10	2			実習				○		イラストコンピュータルーム1、2ライセンス	
	卒業制作	6			実習				○			

- 指定選択科目一覧
- 造形基本科目群の中で、下記の科目を指定選択科目とします。
- コンピュータ基礎演習1、2
- 推奨科目一覧
- 造形基本科目群の中で、下記の科目を推奨します。但し、科目の特性により受講要件が提示されることもあります。
- 詳細はシラバスで確認してください。
- イラストレーション特別演習A、イラストレーション特別演習B、絵画材料学
- アニメーション映像論（H23～メディアデザイン史Dで開講）

芸術学科	デザイン科 イラストレーション群	造形美術科 造形表現群	造形基本科目群	教養科目群	社会実践科目群	学芸員課程科目	教職課程科目
------	---------------------	----------------	---------	-------	---------	---------	--------

環境デザイン群

環境デザイン群（旧住環境デザイン群）の特色・開講科目

環境デザインは「人と物と空間」の関係を探求し、表現する分野です。立体デザインであること、スケールデザインであること、機能や用途を満たすこと、材質を重視すること、かたさ・重さ・強さや手触り、時には匂いさえも表現の対象となること、などがその特色です。私達を取り巻く生活環境を総合的にデザインし、時代のさまざまな動向に対応できる人材育成を目指しています。

1. 環境デザインクラス

環境デザインクラスでは、家具・照明・道具・器物からインテリア、建築、さらには庭園・街路・風景といったスケールの大きなものまで、「住に関わる環境を総合的にデザインする環境デザイナー」という職能をイメージしたカリキュラムを組み立てています。環境を構成する要素には二つの特性があります。一つは「空間」としての側面です。目には見えないが、場を支配する雰囲気のようなものです。もう一つは「もの」としての側面で、形とも深い関わりがあります。以上二つの側面から対象を見ることが、当クラスの基本的な姿勢です。実習では、家具・照明等は原寸制作、インテリア、建築、ランドスケープは立体模型制作によって造形力と表現力を鍛えますが、その一方で、「もの・こと」を「原点に立ち返って考える能力を身につける」ことも目指しています。「フィールドワーク」と「発想法」を使って実習課題に取り組む方法を導入しているのはそのためです。言葉がイメージと結びつく時、本当の意味での個性を花開かせることができるからです。また当クラスでは、滋賀県の大学という特色を生かした三つの教育上の柱を掲げています。一つ目は地域の素材、例えば里山の間伐材や琵琶湖の水辺に生育するヨシを使った造形表現です。二つ目は、自然と人工物（建築）の関係を重視し、地域に根ざした新しい風景を表現していくことです。三つ目に、この大津には比叡山という聖地がありますが、そのような精神的背景を考慮し、「魂に立脚したデザイン」を修得することです。以上の視点が、21世紀のデザインを切り開く最良の方法と考えています。

2. プロダクトデザインクラス

プロダクトデザインは、社会と実際のなつながりが深く、また非常に幅広い素養を必要とします。そのため、このクラスではカリキュラムの柱を以下のように定め、「総合的な人格づくり」に取り組んでいます。

- 1) 基礎力：ものづくりを行う上で欠かせない造形力や発想力、観察力などの基礎的な技術をしっかりと身に付けます
- 2) 生活研究：人々の生活や感情、社会の成り立ちや仕組みを研究し、個々の学生が明確な考え方（＝デザイン哲学）を持てるように導きます
- 3) 産官学：通常のカリキュラムを平行して、実社会の企業との共同開発プロジェクトをすすめる常設に社会とつながった学びの場を多数設けています
- 4) 環境ビジネスデザイン：環境先進国「滋賀県」の地の利を活かして、水・自然・環境問題に取り組み環境ビジネスにつながるカリキュラムを導入します
- 5) 先端デザイン研究：ロボットや医療、認知工学といった将来有望な分野に対するデザイン研究をすすめる、先端技術の様々な動向に対応できる人材を育成します

これらの柱をもとに、1年次の「基礎造形実習」にて4年間の学びに対する基礎力を修得、2年次からの「プロダクトデザイン実習」においては様々なアプローチによるトータルデザインワークに取り組み、ものごとを発見し、構想し、実現する能力とそのための思想的なバックボーンを手に入れます。各学年の演習科目と専門講義科目はモデリングや、インターフェイス、生産技術など、実習に取り組むために必要な専門技能と知識を習得するための科目です。

芸術学科	デザイン科 環境デザイン群	造形美術科 造形表現群	造形基本科目群	教養科目群	社会実践科目群	学生員課程科目	教職課程科目
------	------------------	----------------	---------	-------	---------	---------	--------

芸術学科
デザイン科
造形美術科
造形基本科目群
教養科目群
社会実践科目群
学芸員課程科目
教職課程科目

環境デザイン群（環境デザインクラス）平成20（2008）年度以降入学生

2012年度4年生		単位数			授業形態	開講期・年次				特記事項	取得可能ライセンス	群別専門科目卒業要件
		必修	クラス必修	特別選択		1年	2年	3年	4年			
	基礎造形実習	基礎造形実習1	2		実習	○						
		基礎造形実習2	2		実習	○						
		基礎造形実習3	2		実習	○						
		基礎造形実習4	2		実習	○						
		デザイン総合実習A		2	実習				○	この科目の開講については、 クラス担当より個別に指示がある。		
		デザイン総合実習B		2	実習				○			
		卒業制作		6	実習				○		ゼミを選択	
		環境デザイン概論1		2	講義	○						*必修の学科共通・群別専門科目 64単位以上修得のこと
		環境デザイン概論2		2	講義	○						
		環境デザイン基礎演習1		2	演習	○						
		環境デザイン基礎演習2		2	演習	○						
		表現法演習1		2	演習		○					
		表現法演習2		2	演習		○					
		表現法演習3		2	演習			○				
		表現法演習4		2	演習			○				
		建築構造演習1		2	演習		○					
		建築構造演習2		2	演習		○					
		環境デザイン実習1		2	実習		○					
		環境デザイン実習2		2	実習		○					
		環境デザイン実習3		2	実習		○					
		環境デザイン実習4		2	実習		○					
		環境デザイン実習5		2	実習			○				
		環境デザイン実習6		2	実習			○				
		環境デザイン実習7		2	実習			○				
		環境デザイン実習8		2	実習			○				
		環境デザイン論1		2	講義			○				
		環境デザイン論2		2	講義			○				
		環境デザイン論3		2	講義				○			
		環境デザイン論4		2	講義				○			
		環境デザイン演習1		2	演習				○			
		環境デザイン演習2		2	演習				○	ゼミを選択		
		環境設計		2	演習				○			

指定選択科目一覧
造形基本科目群の中で、下記の科目を指定選択科目とします。
コンピュータ基礎演習1、2
推奨科目一覧
造形基本科目群の中で、下記の科目を推奨します。但し、科目の特性により受講要件が提示されることもあります。
詳細はシラバスで確認してください。
造形基礎科目、日本建築史、西洋建築史、住居論、住宅論、都市論
<二級建築士・木造建築士受験資格科目>
クラス別ガイダンスで確認すること

環境デザイン群（プロダクトデザインクラス）平成19（2007）年度以降入学生

環境デザイン群 プロダクトデザインクラス 平成19（2007）年度以降入学生		単位数			授業形態	開講期・年次				特記事項	取得可能ライセンス	群別専門科目卒業要件
		必修	クラス必修	特別選択		1年	2年	3年	4年			
2012年度4年生												
	基礎造形実習	基礎造形実習1	2		実習	○						*必修の学科共通・群別専門科目 64単位以上修得のこと
		基礎造形実習2	2		実習	○						
		基礎造形実習3	2		実習	○						
		基礎造形実習4	2		実習	○						
		デザイン総合実習A		2	実習				○	この科目の開講については、 クラス担当より個別に指示がある。		
		デザイン総合実習B		2	実習				○			
		卒業制作		6	実習				○			
		デザイン基礎演習1		2	演習	○						
		デザイン基礎演習2		2	演習	○						
		製図基礎演習1		2	演習	○						
		製図基礎演習2		2	演習	○						
		設計演習1		2	演習		○			設計演習1,2 又は デザイン表現法演習1,2を 選択のこと		
		設計演習2		2	演習		○					
		デザイン表現法演習1		2	演習		○					
		デザイン表現法演習2		2	演習		○					
		デザイン表現法演習3		2	演習		○					
		デザイン表現法演習4		2	演習			○				
		プロダクトデザイン演習1		2	演習		○					
		プロダクトデザイン演習2		2	演習		○					
		プロダクトデザイン演習3		2	演習			○				
		プロダクトデザイン演習4		2	演習			○				
		プロダクトデザイン演習5		2	演習				○			
		プロダクトデザイン演習6		2	演習				○			
		プロダクトデザイン演習7		2	演習				○			
		プロダクトデザイン実習1		2	実習		○					
		プロダクトデザイン実習2		2	実習		○					
		プロダクトデザイン実習3		2	実習		○					
		プロダクトデザイン実習4		2	実習		○					
		プロダクトデザイン実習5		2	実習			○				
		プロダクトデザイン実習6		2	実習			○				
		プロダクトデザイン実習7		2	実習			○				
		プロダクトデザイン実習8		2	実習			○				
		プロダクトデザイン実習9		2	実習				○			
		プロダクトデザイン実習10		2	実習				○			

指定選択科目一覧
造形基本科目群の中で、下記の科目を指定選択科目とします。
コンピュータ基礎演習1、2
群推奨科目一覧
造形基本科目群の中で、下記の科目を推奨します。但し、科目の特性により受講要件が提示されることもあります。
詳細はシラバスで確認してください。
造形基礎科目、プロダクトデザイン論、ユーザインタフェース論、生産技術論、デザインマーケティング論

ファッションデザイン群

■ ファッションデザイン群の特色・開講科目

時代の中でのファッションの価値を見出し、創造的な表現力を身につけ、新しいファッション表現を開拓していき、またファッションマーケティング・ショップ企画運営・業態クリエーション等を学んだ上で、空間表現者としてプロデュース、マネージメントできる人材を育成する。

ファッションデザイン群の教育方針

造形芸術をベースに衣服づくりが出来る人材を育成します。
今やファッションがもつ創造性が文化を形成し、デザイナーとしての感性、創造力、表現力が求められる社会へ移り変わりつつあります。意識の変容や社会との振動、そしてその構造を捉えようとするとき、「自己の世界観＝違い」をもつ者こそがファッションデザインの新しい地平に立てるのです。本学のファッション教育は理論に陥ることなく、ものづくりを通して、時代をみつめ、ファッション界をリードし得る人材を育成したいと考えています。

特色のある授業の具体化
時代の表現者を育成する教育
「自己の世界観」を構築する為には、感性が必要です。感性は知識と情報・技術の積み重ねで養われます。ファッションだけでは表現できない世界観を、本学では様々な行動と体験を通して、感性を磨き「自己の世界観＝違い」を表現しうる学生を育成します。

1) 身体表現をキーワードに、
今日のファッションは時代性や思想を伝える行動のスタイルとして新たな祖点を与えるものとなりつつあります。社会において、ファッションメディアなどにおける身体の捉え方やその身体表現なども検証していきます。

2) ファッションデザインでは、
ファッションに関わる技法、理論を学び時代の中でファッションの価値を見出し、創造的な表現力を身につけ、新しいファッション表現を開拓していきます。

3) 芸術を重視したコスチュームデザインでは、
様々な空間における衣装や舞台芸術を学ぶことにより、時代の中でのファッションの価値を見出し、創造的な表現能力を身につけ、素材開発から新しいコスチュームを表現していきます。

4) ファッションマーケティングでは、
ブランディング・業態クリエーション・ショップ企画運営・ビジュアルマーチャンドライジング・プレス等を学び、ファッションの世界での表現空間者としてのプロデュース、マネージメント能力を養います。

芸術学科	ファッションデザイン群	造形美術科	造形基本科目群	教養科目群	社会実践科目群	学生員課程科目	教職課程科目
------	-------------	-------	---------	-------	---------	---------	--------

芸術学科
ファッションデザイン群
造形美術科
造形基本科目群
教養科目群
社会実践科目群
学芸員課程科目
教職課程科目

ファッションデザイン群（ファッションデザインクラス）平成19（2007）年度以降入学生

2012年度4年生		単位数			授業形態	開講期・年次				科目番号	特記事項	取得可能ライセンス	群別専門科目卒業要件
		必修	クラス必修	特別選択		1年	2年	3年	4年				
	基礎造形実習1	2			実習	○				R01			*必修の学科共通・群別専門科目 64単位以上修得のこと
	基礎造形実習2	2			実習	○				R02			
	基礎造形実習3	2			実習	○				R03			
	基礎造形実習4	2			実習	○				R04			
	デザイン総合実習A			2	実習				○	R59	この科目の開講については、 クラス担当より個別に指示がある。		
	デザイン総合実習B			2	実習				○	R60			
	服飾概論	2			講義	○				T01			
	服飾制作論	2			講義	○				T02			
	ファッションデザイン論	2			講義		○			T03			
	現代モード論	2			講義		○			T04			
	ファッション産業マネジメント論	2			講義			○		T06			
	ファッションリテール論	2			講義			○		T07			
	地域産業論	2			講義				○	T08			
	ファッション造形演習1	2			演習	○				T10			
	ファッション造形演習2	2			演習	○				T11			
	ファッションデザイン演習1	2			演習		○			T12			
	ファッションデザイン演習2	2			演習			○		T13			
	ファッションデザイン演習3	2			演習				○	T14			
	ファッションデザイン演習4	2			演習				○	T15			
	ファッションデザイン演習5	2			演習				○	T16			
	ファッションデザイン演習6	2			演習				○	T17			
	ファッションデザイン実習1	2			実習		○			T18			
	ファッションデザイン実習2	2			実習			○		T19			
	ファッションデザイン実習3	2			実習			○		T20			
	ファッションデザイン実習4	2			実習			○		T21			
	ファッションデザイン実習5	2			実習				○	T22			
	ファッションデザイン実習6	2			実習				○	T23			
	ファッションデザイン実習7	2			実習				○	T24			
	ファッションデザイン実習8	2			実習				○	T25			
	ファッションデザイン実習9	2			実習					○	T26		
	ファッションデザイン実習10	2			実習					○	T27		
	卒業研究	6			実習					○	T32		

指定選択科目一覧
 造形基本科目群の中で、下記の科目を指定選択科目とします。
 コンピュータ基礎演習1、2、3、4
 推奨科目一覧
 造形基本科目群の中で、下記の科目を推奨します。但し、科目の特性により受講要件が提示されることもあります。
 詳細はシラバスで確認してください。
 造形基礎科目、コンピュータ実践講座CD、日本服飾史、服飾心理学

■ 芸術文化デザイン群の特色・開講科目

芸術文化デザイン群は、本学が目指す「芸術による社会への貢献」という考え方を、具体的に実践していきます。芸術や文化に関する研究はこれまでも様々な方法で行われてきましたが、それらが実践の文化活動の現場（文化施設）などで十分に活かされてきたとはいえません。現在、美術や文化の現場では、めまぐるしい環境の変化が起きています。今までのように文化を享受するだけでなく、文化そのものを市民と共に育成していくことが強く求められています。そしてそれによって、文化施設や文化政策の面では実に多様なことが求められています。ここでは芸術文化の研究だけにとどまらず、積極的な提案や具体的な編集、デザインする能力が常に求められているのです。このクラスではこうした多角的な視点から文化に親しんで理解し、そして多くの人々にその楽しさを伝えていける、文化のコーディネーターを育成することを目指しています。

＜教育の内容＞

芸術文化デザインクラスでは「文化のコーディネーター」を育成することを目指して、次のような教育方針で授業を進めます。

クラスの授業では大きく二つの流れがあります。その一つ目は「芸術文化を知ること」です。この分野では京都、滋賀の芸術文化を基礎から広く学んでいきます。学内の講義だけでなく、実際の文化の現場に出かけて自分の目で確認・体験し、個人の文化の視点を見つけて行きます。さらにこうした体験から日本文化の背景であるその心を追求していくことを目指します。そうした基本的な文化の研究をふまえて、様々な文化施設や文化遺産の現場で研究を深め、提案やデザインの実践をおこなって行きます。

もうひとつの流れは「デザイン能力を養うこと」です。この分野ではまず言語を使って、自分の考え方を他者に伝えるコミュニケーション能力を身につけることから始めます。そのためには、自分の思考をまとめる訓練も必要となります。さらにそれを多くの人に伝えるために、印刷媒体の制作を意識したコミュニケーションの技術を学びます。さらにコミュニケーションの世界を広げて、ウェブデザインまで学んでいきます。こうしたデザイン能力を獲得するには、同時にコンピュータはもちろんその他デジタル機器の技術の習得が必要なのはいうまでもありません。一方で文化の現場の動向を把握しつつ、こうした知識と技術を総合して、編集、デザインしたものを実際の社会に向けて発信、提案することでその目標を達成していきます。

大学周辺の豊かな自然環境とそれぞれの目的をもった個性的な仲間たちと、共に学びあえる環境があります。本科ではクラス横断的なコラボレーションはもちろん、さまざまなアーティストとの直接的な出会いを設定。専門性を深めて切磋琢磨しあいながら、様々な形で芸術による社会への貢献をテーマに取り組んでいます。

そのために、科目開講や教育方法の検討を毎年、各クラスと協力して行っています。

3年次には、造形表現演習の科目として、造形美術科の各クラスの教員による講義や展覧会鑑賞、特別講師による写真講座や特別講師との対談、講演等、制作現場から社会へのかかわりをテーマに方法論や発想法などを交えた内容で開講しています。毎年、内容を精査してよりよいものを提供することを常に検討しています。

各クラスの少人数によるきめ細かな指導と迅速な連携により、日頃の課題制作の習作の発表機会である3年生進級制作展や4年間の学びの成果を発表する卒業制作展の企画と実施を行っています。更に、在学生、卒業生の活動の支援の一環として本学ギャラリーアートサイトを使用して企画展を随時開催してきました。

描く、彫る、染める、構想するというものづくりの継続した持続性と信念と知識を学び、社会で活躍してゆける人材の育成に努めています。ひたむきに学ぶ姿勢と作品制作の原動力を培って行きます。

芸術学科	芸術文化デザイン科 デザイン群	造形美術科 造形表現群	造形基本科目群	教養科目群	社会実践科目群	学生員課程科目	教職課程科目

芸術学科
芸術文化デザイン科
造形美術科
造形基本科目群
教養科目群
社会実践科目群
学芸員課程科目
教職課程科目

芸術文化デザイン群（芸術文化デザインクラス）平成20（2008）年度以降入学生

2012年度4年生		単位数			授業 形態	開講期・年次				特記事項	取得可能ライセンス	群別専門科目卒業要件
		必修	選択 必修	特別 選択		1 年	2 年	3 年	4 年			
	デザイン総合実習A			2	実習				○	この科目の開講については、 クラス担当より個別に指示がある。		*必修の学科共通・群別専門科目 64単位以上修得のこと
	デザイン総合実習B			2	実習				○			
	芸術文化特論1	2			講義	○						
	芸術文化特論2	2			講義	○						
	芸術文化特論3	2			講義	○						
	芸術文化特論4	2			講義		○					
	芸術文化特論5	2			講義		○					
	芸術文化特論6	2			講義			○				
	芸術文化特論7	2			講義			○				
	デジタルメディア演習1	2			演習	○						
	デジタルメディア演習2	2			演習		○					
	芸術文化演習1	2			演習	○						
	芸術文化演習2	2			演習	○						
	芸術文化演習3	2			演習	○						
	芸術文化演習4	2			演習	○						
	芸術文化演習5	2			演習		○					
	芸術文化演習6	2			演習		○					
	芸術文化演習7	2			演習			○				
	芸術文化デザイン演習1	2			演習		○					
	芸術文化デザイン演習2	2			演習		○					
	芸術文化デザイン演習3	2			演習		○					
	芸術文化デザイン演習4	2			演習			○				
	芸術文化デザイン研究1	2			演習			○				
	芸術文化デザイン研究2	2			演習			○				
	芸術文化デザイン研究3	2			演習				○			
	芸術文化デザイン研究4	2			演習				○			
	芸術文化デザイン研究5	2			演習				○			
	文化インターンシップ1	2			実習			○				
	文化インターンシップ2	2			実習			○				
	文化インターンシップ3	2			実習				○			
	文化インターンシップ4	2			実習				○			
	卒業研究	6			実習				○			

指定選択科目一覧

造形基本科目群の中で、下記の科目を指定選択科目とします。
コンピュータ基礎演習1、2、3、4

推奨科目一覧

造形基本科目群の中で、下記の科目を推奨します。但し、科目の特性により受講要件が提示されることもあります。
詳細はシラバスで確認してください。
東洋日本美術史概説、近江学、考古学、アートマネージメント論

造形美術科の人材育成目的

クラス横断的なコラボレーション、またさまざまなアーティストとの直接的な出会いなどを通じて、専門性を深めていき、「描く」「彫る」「染める」「構想する」という「ものづくり」の継続した持続性と信念と知識を学び、社会で活躍してゆける人材を育成する。

造形美術科造形表現群の特色

大学周辺の豊かな自然環境とそれぞれの目的をもった個性的な仲間たちと、共に学びあえる環境があります。本科ではクラス横断的なコラボレーションはもちろん、さまざまなアーティストとの直接的な出会いを設定。専門性を深めて切磋琢磨しあいながら、様々な形で芸術による社会への貢献をテーマに取り組んでいます。

そのために、科目開講や教育方法の検討を毎年、各クラスと協力して行っています。

3年次には、造形表現演習の科目として、造形美術科の各クラスの教員による講義や展覧会鑑賞、特別講師による写真講座や特別講師との対談、講演等、制作現場から社会へのかかわりをテーマに方法論や発想法などを交えた内容で開講しています。毎年、内容を精査してよりよいものを提供することを常に検討しています。

各クラスの少人数によるきめ細かな指導と迅速な連携により、日頃の課題制作の習作の発表機会である3年生進級制作展や4年間の学びの成果を発表する卒業制作展の企画と実施を行っています。更に、在学生、卒業生の活動の支援の一環として本学ギャラリーアートサイトを使用して企画展を随時開催してきました。

描く、彫る、染める、構想するというものづくりの継続した持続性と信念と知識を学び、社会で活躍してゆける人材の育成に努めています。ひたむきに学ぶ姿勢と作品制作の原動力を培って行きます。

ディプロマポリシー（学位授与方針）

造形美術科
美術表現が、常に時代と不可分に共存しているという認識に立ち、その歴史的展開と発展過程を学習・研究する。現代日本社会が求め、世界が期待する日本独自の表現の可能性を追求する一方で、芸術文化の「良き鑑賞者」「良き享受者」の育成を教育目標とした、各専門科目の必修科目において基礎から応用、展開への技術と方法、思考、発想などを学べるカリキュラムを編成し、卒業までに所定の単位を修めた学生に対し卒業を認定し、学位（芸術学士）を授与する。

カリキュラムポリシー（教育課程編成方針）

1 年生から専門教育を行い4 年間で社会に出る技量を身に付けさせ、少人数教育、人間性の重視、コラボレーション、フィールドワーク、情報教育の重視、生涯学習、国際交流、クラスを超えた教育環境づくりなどを行いながら、専門教育での必修科目を体系的に修得できる教育課程を編成。選択科目は学部共通基本科目として、造形基本科目群、教養科目群、社会実践科目群に分割し、学生に自由選択させることにより、学生が地域社会における実体験を積み、芸術と社会の有様を具体的に模索する機会を充実させ、実践していく。

- (1) 造形基本科目群

1. 2 年次で履修した基礎科目、1 ～ 4 年次で履修する専門科目を通じて、造形活動にかかわる専門家としての知識を深めていく。
- (2) 教養科目群

学において必要な基礎的な能力を養成するために、大学基礎科目、語学教養科目、一般教養科目を設け、学びの基礎・考え方の基礎・コミュニケーション力などを深めていく。
- (3) 社会実践科目群

自分の将来の姿を現実になづけるため、キャリア支援の実践的なプログラムを展開し、また芸術による社会への貢献を実現する造形プロデュース科目を設け、社会貢献における幅広い知識を修得する。
- (4) 群別専門科目

必修科目を学ぶにあたって、より専門分野を追求し、ものづくりの根幹や歴史など、各群・各クラスの専攻分野を深く掘り起こし、幅広い知識を修得する。

芸術学科	デザイン科	造形美術科 造形表現群	造形基本科目群	教養科目群	社会実践科目群	学生員課程科目	教職課程科目
------	-------	----------------	---------	-------	---------	---------	--------

芸術学科
デザイン科
造形美術科 造形表現群
造形基本科目群
教養科目群
社会実践科目群
学生会員課程科目
教職課程科目

造形表現群（日本画クラス）平成14（2002）年度以降入学生

2012年度4年生		単位数			授業形態	開講期・年次				特記事項	取得可能ライセンス	群別専門科目卒業要件
		必修	選択必修	選択		1年	2年	3年	4年			
	造形表現基礎演習1〔絵画〕	2			演習	○						*必修の学科共通・群別専門（クラス）科目64単位以上修得のこと
	造形表現基礎演習2〔彫刻〕	2			演習	○						
	造形表現基礎演習3〔デザイン〕	2			演習	○						
	造形表現基礎演習4〔工芸〕	2			演習	○						
	造形表現総合実習A			2	実習				○	この科目の開講については、クラス担当より個別に指示がある。		
	造形表現総合実習B			2	実習				○			
	造形表現基礎実習1	2			実習	○						
	造形表現基礎実習2	2			実習	○						
	造形表現基礎実習3	2			実習	○						
	造形表現基礎実習4	2			実習	○						
	造形表現演習1	2			演習		○					
	造形表現演習2	2			演習		○					
	造形表現演習3	2			演習			○				
	造形表現演習4	2			演習			○				
	造形論1	2			講義				○			
	造形論2	2			講義				○			
	卒業制作		6		実習				○			
	日本画演習1		2		演習		○					
	日本画演習2		2		演習		○					
	日本画演習3		2		演習			○				
	日本画演習4		2		演習			○				
	日本画演習5		2		演習				○			
	日本画実習1		2		実習		○					
	日本画実習2		2		実習		○					
	日本画実習3		2		実習		○					
	日本画実習4		2		実習		○					
	日本画実習5		2		実習			○				
	日本画実習6		2		実習			○				
	日本画実習7		2		実習			○				
	日本画実習8		2		実習			○				
	日本画実習9		2		実習				○			
	日本画実習10		2		実習				○			

指定選択科目一覧

造形基本科目群の中で、下記の科目を指定選択科目とします。
コンピュータ基礎演習1、2

推奨科目一覧

造形基本科目群の中で、下記の科目を推奨します。但し、科目の特性により受講要件が提示されることもあります。
詳細はシラバスで確認してください。
造形基礎科目、イラストレーション特別演習B、絵画材料学

造形表現群（洋画クラス）平成14（2002）年度以降入学生

2012年度4年生		単位数			授業形態	開講期・年次				特記事項	取得可能ライセンス	群別専門科目卒業要件
		必修	選択必修	選択		1年	2年	3年	4年			
	造形表現基礎演習1〔絵画〕	2			演習	○						*必修の学科共通・群別専門（クラス）科目64単位以上修得のこと
	造形表現基礎演習2〔彫刻〕	2			演習	○						
	造形表現基礎演習3〔デザイン〕	2			演習	○						
	造形表現基礎演習4〔工芸〕	2			演習	○						
	造形表現総合実習A			2	実習				○	この科目の開講については、 クラス担当より個別に指示がある。		
	造形表現総合実習B			2	実習				○			
	造形表現基礎実習1	2			実習	○						
	造形表現基礎実習2	2			実習	○						
	造形表現基礎実習3	2			実習	○						
	造形表現基礎実習4	2			実習	○						
	造形表現演習1	2			演習		○					
	造形表現演習2	2			演習		○					
	造形表現演習3	2			演習			○				
	造形表現演習4	2			演習			○				
	造形論1	2			講義				○			
	造形論2	2			講義				○			
	卒業制作		6		実習				○			
	洋画演習1		2		演習		○					
	洋画演習2		2		演習		○					
	洋画演習3		2		演習			○				
	洋画演習4		2		演習			○				
	洋画演習5		2		演習				○			
	洋画実習1		2		実習		○					
	洋画実習2		2		実習		○					
	洋画実習3		2		実習		○					
	洋画実習4		2		実習		○					
	洋画実習5		2		実習			○				
	洋画実習6		2		実習			○				
	洋画実習7		2		実習			○				
	洋画実習8		2		実習			○				
	洋画実習9		2		実習				○			
	洋画実習10		2		実習				○			

指定選択科目一覧

造形基本科目群の中で、下記の科目を指定選択科目とします。
コンピュータ基礎演習1、2

推奨科目一覧

造形基本科目群の中で、下記の科目を推奨します。但し、科目の特性により受講要件が提示されることもあります。
詳細はシラバスで確認してください。
造形基礎科目、絵画材料学

芸術学科
デザイン科
造形美術科 造形表現群
造形基本科目群
教養科目群
社会実践科目群
学生自治課程科目
教職課程科目

芸術学科
デザイン科
造形美術科 造形表現群
造形基本科目群
教養科目群
社会実践科目群
学芸員課程科目
教職課程科目

造形表現群（テキスタイルアートクラス）平成15（2003）年度以降入学生

2012年度4年生		単位数			授業形態	開講期・年次				特記事項	取得可能ライセンス	群別専門科目卒業要件
		必修	選択必修	選択		1年	2年	3年	4年			
	造形表現基礎演習1〔絵画〕	2			演習	○						*必修の学科共通・群別専門(クラス)科目64単位以上修得のこと
	造形表現基礎演習2〔彫刻〕	2			演習	○						
	造形表現基礎演習3〔デザイン〕	2			演習	○						
	造形表現基礎演習4〔工芸〕	2			演習	○						
	造形表現総合実習A			2	実習				○	この科目の開講については、 クラス担当より個別に指示がある。		
	造形表現総合実習B			2	実習				○			
	造形表現基礎実習1	2			実習	○						
	造形表現基礎実習2	2			実習	○						
	造形表現基礎実習3	2			実習	○						
	造形表現基礎実習4	2			実習	○						
	造形表現演習1	2			演習		○					
	造形表現演習2	2			演習		○					
	造形表現演習3	2			演習			○				
	造形表現演習4	2			演習			○				
	造形論1	2			講義				○			
	造形論2	2			講義				○			
	卒業制作		6		実習				○			
	テキスタイルアート演習1		2		演習		○					
	テキスタイルアート演習2		2		演習		○					
	テキスタイルアート演習3		2		演習			○				
	テキスタイルアート演習4		2		演習			○				
	テキスタイルアート演習5		2		演習				○			
	テキスタイルアート実習1		2		実習		○					
	テキスタイルアート実習2		2		実習		○					
	テキスタイルアート実習3		2		実習		○					
	テキスタイルアート実習4		2		実習		○					
	テキスタイルアート実習5		2		実習			○				
	テキスタイルアート実習6		2		実習			○				
	テキスタイルアート実習7		2		実習			○				
	テキスタイルアート実習8		2		実習			○				
	テキスタイルアート実習9		2		実習				○			
	テキスタイルアート実習10		2		実習				○			

指定選択科目一覧

造形基本科目群の中で、下記の科目を指定選択科目とします。
コンピュータ基礎演習1、2

推奨科目一覧

造形基本科目群の中で、下記の科目を推奨します。但し、科目の特性により受講要件が提示されることもあります。
詳細はシラバスで確認してください。
造形基礎科目

造形表現群（彫刻クラス）平成15（2003）年度以降入学生

2012年度4年生		単位数			授業形態	開講期・年次				特記事項	取得可能ライセンス	群別専門科目卒業要件
		必修	選択必修	選択		1年	2年	3年	4年			
	造形表現基礎演習1〔絵画〕	2			演習	○						*必修の学科共通・群別専門(クラス)科目64単位以上修得のこと
	造形表現基礎演習2〔彫刻〕	2			演習	○						
	造形表現基礎演習3〔デザイン〕	2			演習	○						
	造形表現基礎演習4〔工芸〕	2			演習	○						
	造形表現総合実習A			2	実習				○	この科目の開講については、 クラス担当より個別に指示がある。		
	造形表現総合実習B			2	実習				○			
	造形表現基礎実習1	2			実習	○						
	造形表現基礎実習2	2			実習	○						
	造形表現基礎実習3	2			実習	○						
	造形表現基礎実習4	2			実習	○						
	造形表現演習1	2			演習		○					
	造形表現演習2	2			演習		○					
	造形表現演習3	2			演習			○				
	造形表現演習4	2			演習			○				
	造形論1	2			講義				○			
	造形論2	2			講義				○			
	卒業制作		6		実習				○			
	立体造形演習1		2		演習		○					
	立体造形演習2		2		演習		○					
	立体造形演習3		2		演習			○				
	立体造形演習4		2		演習			○				
	立体造形演習5		2		演習				○			
	立体造形実習1		2		実習		○					
	立体造形実習2		2		実習		○					
	立体造形実習3		2		実習		○					
	立体造形実習4		2		実習		○					
	立体造形実習5		2		実習			○				
	立体造形実習6		2		実習			○				
	立体造形実習7		2		実習			○				
	立体造形実習8		2		実習			○				
	立体造形実習9		2		実習				○			
	立体造形実習10		2		実習				○			

指定選択科目一覧
造形基本科目群の中で、下記の科目を指定選択科目とします。
コンピュータ基礎演習1、2

推奨科目一覧
造形基本科目群の中で、下記の科目を推奨します。但し、科目の特性により受講要件が提示されることもあります。
詳細はシラバスで確認してください。
造形基礎科目

芸術学科
デザイン科
造形美術科 造形表現群
造形基本科目群
教養科目群
社会実践科目群
学生員課程科目
教職課程科目

芸術学科
デザイン科
造形美術科 造形表現群
造形基本科目群
教養科目群
社会実践科目群
学生員課程科目
教職課程科目

造形表現群（構想表現クラス）平成15（2003）年度以降入学生

2012年度4年生		単位数			授業形態	開講期・年次				特記事項	取得可能ライセンス	群別専門科目卒業要件
		必修	選択必修	選択		1年	2年	3年	4年			
	造形表現基礎演習1〔絵画〕	2			演習	○						*必修の学科共通・群別専門（クラス）科目64単位以上修得のこと
	造形表現基礎演習2〔彫刻〕	2			演習	○						
	造形表現基礎演習3〔デザイン〕	2			演習	○						
	造形表現基礎演習4〔工芸〕	2			演習	○						
	造形表現総合実習A			2	実習				○	この科目の開講については、 クラス担当より個別に指示がある。		
	造形表現総合実習B			2	実習				○			
	造形表現基礎実習1	2			実習	○						
	造形表現基礎実習2	2			実習	○						
	造形表現基礎実習3	2			実習	○						
	造形表現基礎実習4	2			実習	○						
	造形表現演習1	2			演習		○					
	造形表現演習2	2			演習		○					
	造形表現演習3	2			演習			○				
	造形表現演習4	2			演習			○				
	造形論1	2			講義				○			
	造形論2	2			講義				○			
	卒業制作		6		実習				○			
	構想表現演習1		2		演習		○					
	構想表現演習2		2		演習		○					
	構想表現演習3		2		演習			○				
	構想表現演習4		2		演習			○				
	構想表現演習5		2		演習				○			
	構想表現実習1		2		実習		○					
	構想表現実習2		2		実習		○					
	構想表現実習3		2		実習		○					
	構想表現実習4		2		実習		○					
	構想表現実習5		2		実習			○				
	構想表現実習6		2		実習			○				
	構想表現実習7		2		実習				○			
	構想表現実習8		2		実習				○			
	構想表現実習9		2		実習				○			
	構想表現実習10		2		実習				○			

指定選択科目一覧

造形基本科目群の中で、下記の科目を指定選択科目とします。
コンピュータ基礎演習1、2

推奨科目一覧

造形基本科目群の中で、下記の科目を推奨します。但し、科目の特性により受講要件が提示されることもあります。
詳細はシラバスで確認してください。
造形基礎科目、造形特別実習A

学部共通基本科目の履修のしかた・開講科目

学部共通基本科目は、各領域や群が全学に提供する選択科目です。原則として、在学中、学びたいときに自由に履修することができます。
※受講希望者が受講定員を超えた場合、科目を提供する領域や群の学生が優先となります。

学部共通基本科目（選択科目）

本学では卒業するまでの4年間で履修しなければならないいわゆる選択科目（60単位以上）を学部共通基本科目と呼び、人間学講座担当の教員がその科目群をバックアップしています。学部共通基本科目（選択科目）は時間割上、原則として午前中の3時限目までの時間帯で開講され、一部学年指定や履修制限のある科目を除いて、1年生から4年生まで自由に選択することができます。自分のものづくりや将来の進路などを支える科目がたくさん準備されています。1・2年次で履修すべき基礎的な科目や3・4年次での履修が望ましい発展科目などがありますので、履修するみなさんは、十分シラバスを読んで計画的に履修することが大切です。履修するみなさんにわかりやすいように、学部共通基本科目の中に3つの枠組みをつけて以下に紹介しますので参考にしてください。

学部共通基本科目

1. 造形基本科目群（造形活動にかかわる専門家としての知識を深める科目群）

この科目群はみなさんの造形活動を支える科目です。1・2年次で履修する基礎科目と1年次から4年次までで履修する専門科目とがあります。

2. 教養科目群（学びの基礎・考え方の基礎・コミュニケーション力をふかめる科目群）

この科目群の中には学ぶにおいて必要な基礎的な能力を養成するために1・2年次で履修する大学基礎科目と、全学年が対象となる語学を中心としてコミュニケーション能力を育成する語学教養科目、自分の伸ばしたい学問分野について学ぶことができる全学年自由選択の一般教養科目が用意されています。

また、発展科目として大学コンソーシアム京都・環びわ湖大学連携による単位互換科目があります。（単位互換科目については別に登録用の冊子を参照してください）

3. 社会実践科目群（社会への貢献を実現する科目群）

自分の将来の姿を現実近づけるための、キャリア支援科目と芸術による社会への貢献を実現するプロジェクトを単位化する造形プロデュース科目があります。

教職課程科目

教職課程科目

大学基礎科目	教養科目群	教養演習A-Ⅰ		2	演習	○	○			
		教養演習A-Ⅱ		2	演習	○	○			
		教養演習B-Ⅰ		2	演習	○	○			
		教養演習B-Ⅱ		2	演習	○	○			
		教養演習C-Ⅰ		2	演習	○	○		前期1クラス	後期1クラス開講
		教養演習C-Ⅱ		2	演習	○	○			
		教養演習D-Ⅰ		2	演習	○	○			
		教養演習D-Ⅱ		2	演習	○	○			
		教養演習E-Ⅰ		2	演習	○	○			
		教養演習E-Ⅱ		2	演習	○	○			
		教養演習F-Ⅰ		2	演習	○	○			
		教養演習F-Ⅱ		2	演習	○	○			
		教養演習G-Ⅰ		2	演習	○	○			
		教養演習G-Ⅱ		2	演習	○	○			
		教養演習H-Ⅰ		2	演習	○	○			
		教養演習H-Ⅱ		2	演習	○	○			
		教養演習I-Ⅰ		2	演習	○	○			
		教養演習I-Ⅱ		2	演習	○	○			
		教養演習J-Ⅰ		2	演習	○	○			
		教養演習J-Ⅱ		2	演習	○	○			
		教養演習K-Ⅰ		2	演習	○	○			
		教養演習K-Ⅱ		2	演習	○	○			
	語学教養科目	基礎英語A		2	演習	○	○	○	前期4クラス開講	
		基礎英語B		2	演習	○	○	○	後期4クラス開講	
		基礎英語C		2	演習	○	○	○		
		基礎英語D		2	演習	○	○	○		
		中級英語A		2	演習	○	○	○	前期2クラス開講	
		中級英語B		2	演習	○	○	○	後期2クラス開講	
		中級英語C		2	演習	○	○	○		
		中級英語D		2	演習	○	○	○		
		中級英語E		2	演習		○	○	○	
		中級英語G		2	演習		○	○	○	
		中級英語H		2	演習		○	○	○	
		中級英語I		2	演習		○	○	○	
		中級英語K		2	演習		○	○	○	前期2クラス開講
		中級英語L		2	演習		○	○	○	後期2クラス開講
		上級英語A		2	演習	○	○	○	○	
		上級英語B		2	演習	○	○	○	○	
		上級英語C		2	演習	○	○	○	○	
		上級英語D		2	演習	○	○	○	○	
		上級英語E		2	演習	○	○	○	○	
		上級英語F		2	演習	○	○	○	○	
		上級英語G		2	演習	○	○	○	○	
		上級英語H		2	演習	○	○	○	○	
		フランス語A		2	演習	○	○	○	○	前期2クラス開講
		フランス語B		2	演習	○	○	○	○	後期2クラス開講
	キャリアデザイン科目	キャリアデザイン特講1		2	講義	○			通年開講	
		キャリアデザイン特講2		2	講義		○		通年開講	
		キャリアデザイン特講3		2	講義			○	通年開講	
		キャリアデザイン演習A		2	演習			○		
		キャリアデザイン演習B		2	演習			○		
		キャリアデザイン演習C		2	演習			○		
		キャリアデザイン演習D		2	演習	○	○		2クラス開講	
		インターンシップA		2	実習		○	○	○	
		インターンシップB		2	実習		○	○	○	運用はキャリアセンターで確認のこと
		インターンシップC		2	実習	○				
		コンピュータ実践講座A		1	演習	○	○	○	○	
		コンピュータ実践講座B		1	演習	○	○	○	○	
		英語実践講座A		1	演習	○	○	○	○	
		英語実践講座B		1	演習	○	○	○	○	
		英語実践講座C		1	演習	○	○	○	○	
		色彩実践講座1		1	演習	○	○	○	○	
		色彩実践講座2		1	演習	○	○	○	○	
	社会実践科目群	展示学A		2	講義		○	○	○	
		展示学B		2	講義		○	○	○	
		創作における権利と倫理		2	講義		○	○	○	
		流通論		2	講義	○	○	○	○	
		企業文化論		2	講義		○	○	○	
		アートマネージメント論A		2	講義		○	○	○	
		アートマネージメント論B		2	講義		○	○	○	
		プロデュース論A		2	講義	○	○	○	○	
		プロデュース論B		2	講義		○	○	○	
		プロデュース論C		2	講義		○	○	○	
		プロジェクト演習A1		2	演習		○	○	○	地域連携
		プロジェクト演習A3		2	演習		○	○	○	地域連携
		プロジェクト演習A4		2	演習		○	○	○	地域連携
		プロジェクト演習B1		2	演習	○	○	○	○	社会貢献系
		プロジェクト演習B2		2	演習	○	○	○	○	社会貢献系
		プロジェクト演習B3		2	演習		○	○	○	社会貢献系
		プロジェクト演習B4		2	演習		○	○	○	社会貢献系
		プロジェクト演習C1		2	演習	○	○	○	○	研究系
		プロジェクト演習C2		2	演習	○	○	○	○	研究系
		プロジェクト演習C3		2	演習		○	○	○	研究系
		プロジェクト演習C4		2	演習		○	○	○	研究系
		プロジェクト演習D1		2	演習		○	○	○	産官学系
		プロジェクト演習D2		2	演習		○	○	○	産官学系
		プロジェクト演習D3		2	演習		○	○	○	産官学系
		プロジェクト演習D4		2	演習		○	○	○	産官学系
		プロジェクト特別実習A1～A5		1	実習		○	○	○	
		プロジェクト特別実習B1～B5		1	実習		○	○	○	
		プロジェクト特別実習C1～C5		1	実習		○	○	○	イベント発信系/社会貢献系/研究系/産官学系
		プロジェクト特別実習D1～D5		1	実習		○	○	○	

* 配当学年の○は、望ましい履修学年として表記しています。科目の特性により下級学年が履修できる場合があります。
 * 他領域目を選択科目枠として受講希望する場合は、他領域開講科目履修希望願を各学期の登録締切日までに教務に提出してください。
 * 専門科目の単位を修得した場合は、上限12単位まで選択科目単位として認められます。